

豊平学園第2校舎屋上防水等改修工事

[illegible]

[illegible]

③

降雨等に対する養生方法

②

既存防水の処理

④

既存下地の処置

4

アスファルト防水

※ 改修標準仕様書3.1.3(5) (7)～(9)による。
・

既存保護層の撤去 ・ 行う (範囲 ※ 図示 ・) 〔3.1.4〕〔3.2.3、4、6〕
・ 行わない
既存防水層の撤去 ○ 行う (範囲 ※ 図示 ・)
・ 行わない
既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去
(・ M4AS ・ M4ASI ・ M4C ・ M4DI ・ L4X)

既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等 ※ 図示 ・ 〔3.2.6〕
POS工法及びPDSI工法 (機械的固定工法) の既存保護層を撤去した立上り部等の処置 ※ 改修標準仕様書3.2.6(4) (9) (g) ①～③による ・
設備機器架台、配管受部、パラベト、貫通パイプ回り、手すり・丸現の取付け部、塔屋出入口部等の欠損部及び防水層末端部の納まり部の処理
※ 図示。ただし、図示が無いものは監督職員と協議する ・

屋根保護防水 〔3.3.2～5〕
防水層の種類

工法	種別	施工箇所	断熱材	絶縁用シート	立上り部の保護
・ P2A	・ A-1 ※ A-2 ・ A-3			※ポリエチレンフィルム 厚さ 0.15mm以上 又はフラットヤーンクロス 70g/㎡程度	・ 乾式保護材 ・ コンクリート押え ※れんが押え ※JIS R 1250
	・ B-1 ※ B-2				
・ P1B	・ A-1-1 ※ A-1-2 ・ A-1-3		(材質) JISA9521Iに基づく押出法 ポリスチレンフォーム断熱材3種 b A (スキン層付き) (厚さ) (mm) ※25 ・ 50	※フラットヤーンクロス 70g/㎡程度	
	・ B-1-1 ※ B-1-2				

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※ 改修標準仕様書3.3.3から表3.3.6による
・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料構成による区分 ※ R種
厚さ (mm以上)

部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※ 改修標準仕様書3.3.3から表3.3.4による
・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料構成による区分 ※ R種
厚さ (mm以上)

平場の保護コンクリートの厚さこて仕上げ
こて仕上げ ※ 水下 80mm以上
床タイル張り ※ 水下 60mm以上

乾式保護材
窯業系パネル：無石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形シートクレープ養生したもの。
金属複合板：金属板と樹脂を積層一体化したもの。

(品質・性能)

分類・規格		・ 窯業系パネル I 類	・ 金属複合板
寸法 (mm)	厚さ (mm)		
	幅 (mm)		
寸法の許容差	厚さ：+10%、-5%、幅：±1%		
出荷時の含水率	出荷時において10%以下	—	
曲げ強さ・曲げモーメント (N・cm)	標準時 300以上 凍結融解完了時 400以上 (300)	300以上 250以上 (300)	
(スパン40cmにおける単位幅1cmあたりの曲げモーメント)	(試験サイクル数)		
吸水率 (%)	20以下	1以下	
吸水による長さ変化率 (%)	0.01以下	0.01以下	
難燃性	不燃	表面材は不燃	
耐凍結融解性能	3000サイクル後、著しい割れ、剥離がなく、外観上の異常がないこと。外観上の異常がないこと。	3000サイクル後、著しい割れ、剥離がなく、外観上の異常がないこと。(明らかに吸水しないと認められるものは耐凍結融解試験を省略できる。)	
耐衝撃性能	質量500g (窯業系パネル I 類は1,000g) のなす形おもりを高さ1.0mから試験体の弱点部に落とすとき、表面に達する穴があかないこと。残留変形量1/100以下。	質量500gのなす形おもりを高さ1.0mから試験体の弱点部に落とすとき、表面に達する穴があかないこと。残留変形量1/100以下。	
剛性 (E×I) (スパン40cm幅30cmの中央曲げ時に荷重720Nの時の、たわみ4mm以下となる剛性)	—	80,000N・cm2以上	

(試験方法)
(1) 寸法の測定方法
(厚さ) 供試体の周辺から20mm以上内側の四隅を0.05mmまで測定できる測定器で測り、4点の平均値を求めてパネルの厚さとする。
(幅) 供試体を平らな台に置き、供試体のほぼ中央1箇所の幅寸法を、JIS B 7512「鋼製巻尺」に規定する目量が1mmの1級コンベックスルール又は、JIS B 7516「金属性直尺」に規定する目量が1mmの1級直尺を用いて測定する。
(2) 曲げ強度試験は、JIS A 1408「建築物ボード類の曲げ及び衝撃試験方法」による。試験体は3号試験体とする。幅及び厚さは製品寸法とし、支持スパン長さは400mmとする。試験方法は試験体の表面からスパン中央全幅に集中荷重を載荷し、試験体が破壊した時の最大荷重を測定する。同時に破壊時の中央部のたわみ量について、変位計を用いて測定する。測定項目については、凍結融解試験前、同試験100、200、300サイクル完了後の合計4項目に亘って測定する。(窯業系パネルⅡ類は200サイクルまでとする。) なお、荷重を加える時の平均速度は、1～3分間で予想最大荷重に達する程度とする。
(3) 吸水率試験は、JIS A 5430「繊維強化セメント板」に準じて行う。
(4) 難燃性試験は、JIS A 1321「建築物の内装材料及び工法の難燃性試験方法」に準じて行う。

改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※ 改修標準仕様書3.4.1から表3.4.3による
・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料構成による区分 ※ R種
厚さ (mm以上)

粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※ 改修標準仕様書3.4.1から表3.4.3による
・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料構成による区分 ※ R種
厚さ (mm以上)

部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※ 改修標準仕様書3.4.1から表3.4.3による
・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料構成による区分 ※ R種
厚さ (mm以上)

脱気装置の種類 ※ 改質アスファルトシートの製造所の指定
脱気装置の設置数量 ※ 改質アスファルトシートの製造所の指定 (個)

立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法
※ アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度
・ 設置する
・ 設置しない

〔3.5.2～4〕 [表3.5.1～3]

工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	高日射反射率の防水	備考
・ POS ・ S4S	・ S-F1			※製造所の仕様	・ 適用する	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない 改修用ドレン ・ 設ける ・ 設けない
	・ S-F2 ・ S-M1					
	・ S-M2			※製造所の仕様	・ 適用する	
	・ S-F1					
・ S3S ・ S4S1 ・ S4S4 ・ M4S1	・ S-F1			※製造所の仕様	・ 適用する	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない
	・ S-F2 ・ S-M1					
	・ S-M2			※製造所の仕様	・ 適用する	
	・ S1-F1					
・ POS1 ・ S3S1 ・ S4S1 ・ M4S1	・ S1-F1		改修標準仕様書3.5.2 (3) (a) (b)による (種類) ※硬質ウレタンフォーム断熱材2種2号 ・ (厚さ) (mm) ・ (厚さ) (mm)	※製造所の仕様	・ 適用する	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない 改修用ドレン ・ 設ける ・ 設けない
	・ S1-F2 ・ S1-M1					
	・ S1-M2			※製造所の仕様	・ 適用する	
	・ S1-F2 ・ S1-M1					
	・ S1-M2			※製造所の仕様	・ 適用する	
	・ S1-F2 ・ S1-M1					
	・ S1-M2			※製造所の仕様	・ 適用する	
	・ S1-F2 ・ S1-M1					
	・ S1-M2			※製造所の仕様	・ 適用する	
	・ S1-F2 ・ S1-M1					
	・ S1-M2			※製造所の仕様	・ 適用する	
	・ S1-F2 ・ S1-M1					
	・ S1-M2			※製造所の仕様	・ 適用する	
	・ S1-F2 ・ S1-M1					
	・ S1-M2			※製造所の仕様	・ 適用する	
	・ S1-F2 ・ S1-M1					
	・ S1-M2			※製造所の仕様	・ 適用する	
	・ S1-F2 ・ S1-M1					
	・ S1-M2			※製造所の仕様	・ 適用する	
	・ S1-F2 ・ S1-M1					
	・ S1-M2			※製造所の仕様	・ 適用する	
	・ S1-F2 ・ S1-M1					
	・ S1-M2			※製造所の仕様	・ 適用する	
	・ S1-F2 ・ S1-M1					
	・ S1-M2			※製造所の仕様	・ 適用する	
	・ S1-F2 ・ S1-M1					
	・ S1-M2			※製造所の仕様	・ 適用する	
	・ S1-F2 ・ S1-M1					
	・ S1-M2			※製造所の仕様	・ 適用する	
	・ S1-F2 ・ S1-M1					
	・ S1-M2			※製造所の仕様	・ 適用する	
	・ S1-F2 ・ S1-M1					
	・ S1-M2			※製造所の仕様	・ 適用する	
	・ S1-F2 ・ S1-M1					
	・ S1-M2			※製造所の仕様	・ 適用する	
	・ S1-F2 ・ S1-M1					
	・ S1-M2			※製造所の仕様	・ 適用する	
	・ S1-F2 ・ S1-M1					
	・ S1-M2			※製造所の仕様	・ 適用する	
	・ S1-F2 ・ S1-M1					
	・ S1-M2			※製造所の仕様	・ 適用する	
	・ S1-F2 ・ S1-M1					
	・ S1-M2			※製造所の仕様	・ 適用する	
	・ S1-F2 ・ S1-M1					
	・ S1-M2			※製造所の仕様	・ 適用する	
	・ S1-F2 ・ S1-M1					
	・ S1-M2			※製造所の仕様	・ 適用する	
	・ S1-F2 ・ S1-M1					
	・ S1-M2			※製造所の仕様	・ 適用する	
	・ S1-F2 ・ S1-M1					
	・ S1-M2			※製造所の仕様	・ 適用する	
	・ S1-F2 ・ S1-M1					
	・ S1-M2			※製造所の仕様	・ 適用する	
	・ S1-F2 ・ S1-M1					
	・ S1-M2			※製造所の仕様	・ 適用する	
	・ S1-F2 ・ S1-M1					
	・ S1-M2			※製造所の仕様	・ 適用する	
	・ S1-F2 ・ S1-M1					
	・ S1-M2			※製造所の仕様	・ 適用する	
	・ S1-F2 ・ S1-M1					
	・ S1-M2			※製造所の仕様	・ 適用する	
	・ S1-F2 ・ S1-M1					
	・ S1-M2			※製造所の仕様	・ 適用する	
	・ S1-F2 ・ S1-M1					
	・ S1-M2			※製造所の仕様	・ 適用する	
	・ S1-F2 ・ S1-M1					
	・ S1-M2			※製造所の仕様	・ 適用する	
	・ S1-F2 ・ S1-M1					
	・ S1-M2			※製造所の仕様	・ 適用する	

5
建具
改修工事

1

改修工法

[5 . 1 . 3] [5 . 1 . 6]

既存建具の種類		かぶせ工法	撤去工法	適用箇所
・アルミ製建具	・外部	・	・	※ 建具表による ・
		・	・	※ 建具表による ・
・樹脂製建具	・内部	・	・	※ 建具表による ・
		・	・	※ 建具表による ・
・鋼製軽量建具	・内部	・	・	※ 建具表による ・
		・	・	※ 建具表による ・

新規に建具を設ける場合
壁部分の開口の開け方 ※ 図示 ・
新規建具周囲の補修工法及び範囲 ※ 図示 ・
建具周囲のシーリングは、改修特記仕様書 3 章 防水改修工事による。
・再使用（・ブラインドボックス）
・適用する 指定箇所（※ 建具表による ・）
防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸とヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動 ※連動させる 適用箇所（・建具表による ・）
・連動させない
建具見本の製作 ・行う（建具符号： ） ・行わない
特殊な建具の仮組 ・行う（建具符号： ） ・行わない

2

防火戸

[5 . 1 . 4]
・適用する 指定箇所（※ 建具表による ・）
防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸とヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動 ※連動させる 適用箇所（・建具表による ・）
・連動させない

3

見本の製作等

[5 . 1 . 5]
建具見本の製作 ・行う（建具符号： ） ・行わない
特殊な建具の仮組 ・行う（建具符号： ） ・行わない

4

防犯建物部品

[5 . 1 . 7]
・適用する 適用箇所（※ 建具表による ・）

5

アルミニウム製建具

性能値等 [5 . 2 . 2 ～ 5] [表 5 . 2 . 2]
・耐風圧性の等級（ ）、気密性の等級（ ）、水密性の等級（ ）
※ 改修標準仕様書表 5.2.1 による種別
外部に面する建具の種類
・ A 種（建具符号： ・ 全て ・ 建具表による ・
・ B 種（建具符号： ・ 全て ・ 建具表による ・
・ C 種（建具符号： ・ 全て ・ 建具表による ・
防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級（ ）
断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級（ ）
（建具符号： ・ 建具表による ・）
耐震性能
建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による
ステンレス鋼板の材料 ※ SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 ・
形状及び仕上げ
枠の見込み寸法 ※ 建具表による ・
表面処理
外部に面する建具 種類 ・ BB-1種 ・ BB-2種 ・
色合等 ※ 標準色（ ） ・ 特注色（ ）
屋内の建具 種類 ・ BC-1種 ・ BC-2種 ・
色合等 ※ 標準色（ ） ・ 特注色（ ）
結露水の処理方法 ※ 図示 ・
取付工法
水切り板、ぜん板 ※ 図示 ・
木下地の場合の内付け建具 ・適用しない ・適用する

6

網戸等

[5 . 2 . 3] [5 . 3 . 3]

種類	材質	線径	網目
・防虫網	※ 合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス（SUS316）製	※ 0.25mm以上 ・	※ 16～18メッシュ ・
・防鳥網	ステンレス（SUS304）線材	1.5mm	網目寸法15mm

7

樹脂製建具

[5 . 2 . 2] [5 . 3 . 2 ～ 5]
性能値等
・耐風圧性の等級（ ）、気密性の等級（ ）、水密性の等級（ ）
※ 改修標準仕様書表 5.3.1 による種別
外部に面する建具
・ A 種（建具符号： ・ 全て ・ 建具表による ・
・ B 種（建具符号： ・ 全て ・ 建具表による ・
・ C 種（建具符号： ・ 全て ・ 建具表による ・
防音ドア、防音サッシの遮音性の等級 ・ T-1 ・ T-2 ・
（建具符号： ・ 建具表による ・）
断熱ドア、断熱サッシの断熱性の等級 ・ H-4 ・ H-5 ・ H-6 ・ H-7 ・ H-8 （建具符号： ・ 建具表による ・）
外部に面する建具の日射熱取得性の等級
形状及び仕上げ
枠の見込み寸法 ※ 建具表による ・
表面色 ※標準色 ・ 特注色
取付工法
水切り板、ぜん板 ※ 図示 ・
木下地の場合の内付け建具 ・適用しない ・適用する
ガラス ※ 複層ガラス

8

鋼製建具

[5 . 2 . 2] [5 . 4 . 2 ～ 4] [表 5 . 4 . 2]
性能値等（建具符号： ・ 建具表による ・）
簡易気密型ドアセット 気密性の等級 ・ A-3
水密性の等級 ・ W-4
外部に面する面する建具の耐風圧性
・ S-5
・ S-6
防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級（ ）
断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級（ ）
耐震ドア 面内変形追従性の等級（ ）
耐震性能
建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による
ステンレス鋼板の材料 ※ SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 ・
くつずりの仕上げ ステンレス鋼板を用いる場合 ※ HL以上
形状及び仕上げ 鋼板類の厚さ ※ 改修標準仕様書表 5.4.2 による ・
使用箇所（ ）
標準型钢製建具の形状及び寸法 ※建具表による

9

鋼製軽量建具

性能値等（建具符号： ・ 建具表による ・） [5 . 2 . 2] [5 . 5 . 2 ～ 4]
簡易気密型ドアセット ・適用する
防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級（ ）
断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級（ ）
耐震ドア 面内変形追従性の等級（ ）
耐震性能
建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による
鋼板の材料 ※ 亜鉛めっき鋼板 ・ビニル被覆鋼板 ・カラー鋼板 ・ステンレス鋼板
ステンレス鋼板の材料 ※ SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 ・
形状及び仕上げ
鋼板類の厚さ ※ 改修標準仕様書表 5.5.1 による ・
使用箇所（ ）
・防音性能を求める戸（建具表による。）
防音充填材（グラスウール又はロックウール）
召合せ、縦小口包み板の材質 ※ 鋼板
標準型钢製建具の形状及び寸法 ※建具表による

10

ステンレス製建具

[5 . 2 . 2] [5 . 4 . 2] [5 . 6 . 2 ～ 5]
性能値等（建具符号： ・ 建具表による ・） [5 . 7 . 2 . 3]
簡易気密型ドアセット ・適用する
外部に面する面する建具の耐風圧性
・ S-4
・ S-5
・ S-6
防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級（ ）
断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級（ ）
耐震ドア 面内変形追従性の等級（ ）
耐震性能
建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による
ステンレス鋼板の材料 ※ SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 ・
くつずりの仕上げ ステンレス鋼板を用いる場合 ※ HL以上
形状及び仕上げ 鋼板類の厚さ ※ 改修標準仕様書表 5.5.1 による ・
使用箇所（ ）
・防音性能を求める戸（建具表による。）
防音充填材（グラスウール又はロックウール）
召合せ、縦小口包み板の材質 ※ 鋼板
標準型钢製建具の形状及び寸法 ※建具表による

11

建具用金物

鋭角類
【シリング箱錠及びシリング本締まり錠】
（品質）
デッドボルトの出寸法は17mm以上とする。鍵付きのものはマスターキー、グランドマスターキー、コンストラクションキーなどのキーステムが構築できるものとする。
（性能）
＜使用頻度による性能＞
1)（シリング箱錠のみ）ラッチボルトの開閉繰り返し試験（40万回）を行った後、ハンドルでの開閉操作力及びラッチング力が試験前の2倍未満であり、かつ、ハンドルでの開扉操作およびラッチング動作に支障がない。
2) キーによるデッドボルトの施錠解錠繰り返し試験（10万回）を行った後、試験前の回転トルクの2倍未満であり、施錠解錠操作に支障がなく、かつ、確実に施錠状態が維持されている。
3) キーによる施錠機構の施錠解錠繰り返し試験（10万回）を行なった後、試験前の回転トルクの2倍未満であり、施錠解錠操作に支障がない。
4) キーの抜き差し繰り返し試験（10万回）を行なった後、キーの抜き差しに要する荷重は10N以下である。また、未使用の全錠でシリングが回転でき、かつ、1箇所1段差浅い刻みをもつ異なるキーでは、シリングが回転しないこと。（キーに加えるトルクは、150N・cmとする）
＜外力に対する性能＞
1) デッドボルトの押込み強度試験（10KN）を行なった後、荷重を除いたときのデッドボルトの出寸法は8mm以上であること。
2) デッドボルトの側圧強度試験（10KN）を行なった際、加圧板がデッドボルトを通過しない。
3) デッドボルトの押込み強度（衝撃荷重）試験（58.8J）の衝撃荷重を加えたとき、解錠状態（デッドボルトの突出量が8mm未満）にならないこと。
4) デッドボルトの側圧強度（衝撃荷重）試験（58.5J）の衝撃荷重を加えたとき、解錠状態（加圧板がデッドボルトを通過した状態）にならないこと。
5)（シリング本締り錠はグレード3以上の彫込錠の場合）ストライクプレートの厚さ1.5mm以下のステンレス鋼製とし、トロロケは厚さ1.6mm以上の鋼製の一体絞りとする。又はストライクの強度と同等以上の強度をもつものとする。
＜使用原の質量に対する性能＞
（シリング箱錠のみ）
ラッチボルトの側圧強度試験（4KN）を行い、荷重を除いたとき、ハンドル操作及びラッチングに支障がない。
＜ハンドルの強度（シリング箱錠のみ）＞
1) レバーハンドルのねじり強度試験（3.5KN・cm）を行なった後、トルクを除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施錠解錠操作に支障がない。
2) 握り玉のねじり強度試験（3KN・cm）を行なった後、トルクを除いたとき、握り玉が正常に作動していること。また、施錠時握り玉が固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施錠解錠操作に支障がない。
3) ハンドルの引張強度試験（2KN）を行い、荷重を除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施錠解錠操作に支障がない。
4) ハンドルの垂直荷重強度試験（2KN）を行い、荷重を除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施錠解錠操作に支障がない。
＜鍵違い＞
1) 鍵違い数は、1.5万以上とする。ただし、異なるキーウェイ形状であっても、共通のキーセクションが存在する場合は、有効かぎ（鍵）違い数とみなさないものとする。
2) 同一タンブラーの使用数は、60%以下とする。また、6本タンブラーにおいては、キーの同一刻みは、最大2連続までとしていること。
試験方法は、JIS A 1541-1（建築金物—錠—第1部：試験方法）による。

12

鍵

[5 . 8 . 4]
マスターキー ※ 製作する（ 組） ・ 製作しない ・ 既存に組込む
錠の製作本数 ※ 各室3本1組（室名礼付き）
鍵箱 ・ 設ける（ 個用 組） ・ 設けない

13

自動ドア開閉装置

[5 . 9 . 2 . 3]
引き戸用駆動装置
性能
・
※ 改修標準仕様書表 5.9.1 による
種類 ・ SSLD-1 ・ SSLD-2 ・ DSLD-1 ・ DSLD-2
車椅子使用者用便房出入口引き戸用駆動装置
性能
※ 改修標準仕様書表 5.9.2 による
引き戸用検出装置の種類及び必要性能項目

14

自閉式上吊り引戸装置

性能値等 ※ 標準仕様書表 5.10.1 による [5 . 1 0 . 3]
（試験方法）
（1）耐久性（開閉繰り返し）試験
閉については外力によらず、試験体の自閉装置及び制動装置のみにより戸を開閉位置から開端位置までの作動を確認できる試験を行う。同試験に用いる試験体は片引戸とし、開口内法有効高さ2,000mm、幅は最大寸法とする。適用戸総質量の区分毎に試験を行う。自閉装置、制動装置は10万回以上の時点で1回のみ調整を行えるものとし、また、その他の制動装置についてはメーカーの耐久性能試験成績書において2万回以上の耐久性能を確認することで、試験に代えることができるものとする。
（2）耐衝撃性試験
落下高さ17cmにて、ドアの中央部にドアが外れる方向に衝撃を与える。
耐衝撃性試験に用いる試験体は片引戸、開口内法有効寸法は高さ2,000mm、幅900mmとする。適用戸総質量の区分毎に試験を行う。
（3）気密性試験
JIS A 1516「建具の気密性試験方法」による。

15

重量シャッター

[5 . 1 . 1 . 2 . 3]
シャッターの種類
・管理用シャッター
・外壁用防火シャッター
・屋内用防火シャッター
・防煙シャッター
外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度（ ）Pa
開閉方式の種類 ※ 電動式（手動併用） ・ 手動式
安全装置
電動式シャッターの急降下制動装置、急降下停止装置
（設置箇所 ・ 建具表による ・）
電動式シャッターの障害物感知装置
（設置箇所 ・ 建具表による ・）
屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止装置
（設置箇所 ・ 建具表による ・）
管理用シャッター—シャッターケース
・設置する ・ 設けない
スラット及びシャッターケース用鋼板
鋼板の種類
・ JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
・ JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき及び鋼帯）
めっきの付着量 ※ Z12又はF12を満足するもの ・
ガイドレール、まぐさ、雨掛りに用いる座板及び座板のカバー、雨掛りに用いるスイッチボックス類のふたの材質
ステンレス鋼板の材料 ※ SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 ・

16

軽量シャッター

[5 . 1 . 2 . 2 ～ 4]
開閉方式の種類 ※ 手動式 ・ 電動式（手動併用）
耐風圧強度（ ）Pa
安全装置（電動シャッター）
・急降下停止装置
（設置箇所 ・ 建具表による ・）
※障害物感知装置
（設置箇所 ・ 建具表による ・）
スラットの材質の種類
・ JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
めっきの付着量 ※ Z06又はF06
・ JIS G 3312（塗装溶融 5.5%アルミニウム—亜鉛合金めっき鋼板及び鋼板）
めっきの付着量 ※ AZ90
スラットの形状
・インターロックング形
・オーバーラッピング形

17

オーバーヘッドドア

[5 . 1 . 3 . 2 . 3]

セクション材料による区分	耐風圧性能区分	開閉方式による区分	収納方式による区分	ガイドレールの材料
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	・ 125 ・ 100 ・ 75 ・ 50	※バラン式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形	※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板

18

木製建具

[5 . 7 . 2 ～ 4]
建具材の加工、組立時の含水率 ※ A 種 ・
建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放数量
※ F☆☆☆☆
・フラッシュ戸
表面材のホルムアルデヒド放数量等 ※標準仕様書表 16.7.2(2) (4) (a) による
表面材の合板の品質等

合板の種類	規格等	備考
・普通合板	表面の仕様 生地、透明塗料塗リ（※ラワン合板程度 ・） 不透明塗料塗リ（※しな合板程度 ・） 板面の品質（※広葉樹1等 ・） 接着の程度（・1種 ・2種）	
・天然木化粧合板	樹種名（ ） 接着の程度（・1種 ・2種）	
・特殊加工化粧合板	化粧加工の方法（・オーバレイ ・プリント ・塗装） 表面性能（ ）タイプ 接着の程度（・1種 ・2種）	
・ミディアムデンシティファイバーボード（MDF）	表裏面の状態による区分（ ） 曲げ強さによる区分（ ） 接着剤による区分（ ） 難燃性による区分（ ）	

表面板の厚さ ※改修標準仕様書表 5.7.6 による ・
引戸の召合せかまちのいんろう付きの適用 ・ 適用する ・ 適用しない
・かまち戸
かまち樹種（ ） 鏡板樹種（ ）
見込み寸法 ※建具表による ・
・ふすま
張りの種別（・I 型 ・II 型）
上張り（押入等の表側以外） ・ 鳥の子 ・ 新鳥の子又はビニル紙程度
縁仕上げ ・ 塗り縁 ・ 生地縁（素地） ・ 生地縁（ワレタンクリヤー塗装）
見込み寸法 ※ 建具表による ・
・戸ぶすま 見込み寸法 ※ 建具表による ・
・紙張り障子 見込み寸法 ※ 建具表による ・
枠の材料 ※ 木製枠（6 室内装改修工事による）
・ 鋼製枠（※亜鉛めっき鋼板 ・ビニル被覆鋼板 ・カラー鋼板 ・ステンレス鋼板）
くつずりの材料 ・ ステンレス鋼板 ・ 木製

5 建築 改修 工事	19	ガラス	(3. 7. 5. 14. 2~4) (図5. 14. 1) 下記のガラス以外の品種、厚さの呼びによる種類等 ※建具表による 合わせガラスの材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ及び特性による種類 ※ 下記以外は建具表による 材料板ガラスの種類、組合せ ・フロート板、フロート板合わせガラス 強化ガラスの形状による種類、材料板ガラスの種類による名称及び特性による種類 ※ 下記以外は建具表による 材料板ガラスによる種類による名称 ・フロート強化ガラス 熱線吸収板ガラスの板ガラスによる種類、厚さによる種類及び性能による種類 ※ 下記以外は建具表による 材料板ガラスによる種類 ・熱線吸収フロート板ガラス ・熱線吸収網入り磨き板ガラス 複層ガラスの材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ ※ 下記以外は建具表による 断熱性による区分 封入気体の種類 ・空気 ・アルゴン 日射取得性、日射遮蔽性による区分 熱線放射ガラスの材料板ガラスの種類及び厚さによる種類 ※ 下記以外は建具表による 材料板ガラスによる種類 色調 反射皮膜面 映像調整 ガラスの留め材及び溝の大きさ 建具の種類 アルミニウム製 鋼製及び鋼製軽量 ステンレス製 樹脂製 耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による 表面形状 呼び寸法 (mm) 厚さ (mm) 色調 目地幅 (mm) 伸縮調整目地位置 (mm) 耐火性能 壁用金属枠及び補強材の材質・形状 カサ 材質 寸法 形状 化粧目地モルタルの色 シーリングの種類 金属製化粧カバー 木下地の場合のアンカー等の取付け間隔 工法 1章 適用区分による風圧力の (・Ⅰ ・Ⅰ.15 ・Ⅰ.3) 倍の風圧力に対応した工法 目地部の横カサの納まり ※ガラスブロック製造所の仕様による	6 内装 改修 工事	1 他の部位との取り 合い等	既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁面及び床の改修範囲 ※ 壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲 ※ 壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う 既存天井の撤去に伴う取り合い部の壁面の改修 ※ 既存のまま ビニル床シート等の撤去 ※ 仕上材のみ (接着剤とも) 下地モルタルとも (・図示の範囲 ・撤去範囲全て) 合成樹脂塗床材の除去工法 機械的除去工法 目荒し工法 既存のコンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4章外装改修工事による。 間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 ※ 改修標準仕様書4.3.10によるモルタル塗り (仕上げ厚又は全塗厚25mmを超える場合の処理 ※ 図示) 見え係り面の表面仕上げの程度 ※ブレンダー加工仕上げ 適用部位 (部分) (施工箇所:) 超自動機械かな 適用部位 (部分) (施工箇所:) サンダー 適用部位 (部分) (施工箇所:) ホルムアルデヒド放射量 ※標準仕様書12.2.1(1) (ウ)による JAS 1083-5 に基づく下地用製材 施工箇所 樹種名 寸法 (mm) 等級 (材面の品質) 含水率 保存処理 JAS 1083-2 に基づく造作用製材 施工箇所 樹種名 寸法 (mm) 等級 (材面の品質) 含水率 保存処理 見え掛り面 見え掛り面以外 JAS 1083-6 に基づく広葉樹製材 施工箇所 樹種名 寸法 (mm) 等級 (材面の品質) 含水率 保存処理 JAS 1083 (製材) 以外の製材 施工箇所 樹種名 寸法 (mm) 材面の品質 防虫処理の適用 含水率 造作用集成材 施工箇所 品名 樹種名 寸法 (mm) 見付け材面 (面数) 見付け材面の品質 JAS 1152 に基づく造作用集成材 施工箇所 品名 樹種名 寸法 (mm) 化粧薄板の厚さ (mm) 見付け材面 (面数) 見付け材面の品質 JAS 1152 以外の造作用集成材 施工箇所 樹種名 寸法 (mm) 見付け材面の品質 含水率 JAS 1152 以外の化粧ばり造作用集成材 施工箇所 樹種名 寸法 (mm) 化粧薄板の厚さ (mm) 見付け材面の品質 含水率	2 既存床の撤去及び 下地補修	3 既存壁の撤去及び 下地補修	4 木下地等の表面 仕上げ	5 施工一般	6 製材	8 造作用単板積層材	ホルムアルデヒド放射量 ※ F☆☆☆☆又は標準仕様書6.5.2(1) (g) (h)による JAS 0701 に基づく造作用単板積層材 施工箇所 品名 寸法 (mm) 表面の化粧加工 防虫処理の適用 JAS 0701 以外の造作用単板積層材 施工箇所 寸法 (mm) 表面の化粧加工 防虫処理の適用 含水率 JAS 3079 に基づく直交集成材 施工箇所 品名 強度等級 (曲げ性能) 種別 接着性能 (使用環境) 樹種名 寸法 (mm) JAS 0233 に基づく普通合板 施工箇所 厚さ (mm) 単板の樹種名 接着の程度 板面の品質 防虫処理の適用 JAS 0233 に基づく構造用合板 施工箇所 等級 単板の樹種名 接着の程度 板面の品質 厚さ (mm) 防虫処理 曲げ強度 (強度等級) 保存処理 ※屋外又は常時湿潤常態となる場所には使用する場合は、接着の程度を特類とする。 JAS 0233 に基づく化粧ばり構造用合板 施工箇所 厚さ (mm) 単板の樹種名 接着の程度 防虫処理の適用 ※屋外又は常時湿潤常態となる場所には使用する場合は、接着の程度を特類とする。 JAS 0233 に基づく天然木化粧合板 施工箇所 化粧板に使用する単板の樹種名 厚さ (mm) 接着の程度 防虫処理の適用 JAS 0233 に基づく特殊加工化粧合板 施工箇所 厚さ (mm) 接着の程度 表面性能 化粧加工の方法 防虫処理の適用 JUS A 5908 に基づくパーティクルボード 施工箇所 種類 表裏面の状態 曲げ強さ 耐水性 厚さ (mm) JAS 0360I に基づく構造用パネル 施工箇所 曲げ性能 (等級) (・常態曲げ試験 ・湿潤曲げ試験) 寸法 (mm) JUS A 5905 に基づくMDF 施工箇所 厚さ (mm) 表裏面の状態 曲げ強さによる区分 耐水性による区分 難燃性による区分 造作材の化粧面の釘打ち ※隠し釘打ち ・釘頭埋め木 ・つづし頭釘打ち ・釘頭現し 諸金物の形状、寸法及び材質 ※かすがい ※改修標準仕様書6.5.3に示す程度の市販品 座金 ※改修標準仕様書6.5.4に示す程度の市販品 箱金物、短冊金物 ※改修標準仕様書6.5.5に示す程度の市販品 接着剤 接着剤のホルムアルデヒド放射量 ※F☆☆☆☆ 工場における薬剤の加圧注入等 改修標準仕様書6.5.5(a) ①による加圧注入 適用部材 (部位) 保存処理性能区分 K Ⅱ ・K Ⅲ ・K Ⅳ K Ⅱ ・K Ⅲ ・K Ⅳ 改修標準仕様書6.5.5(1) (a) ②による加圧注入 保存処理の性能 () インサイジング 適用する 薬剤の塗布等による防腐、防蟻処理 薬剤の種類 ※改修標準仕様書6.5.5(1) (b) ①による 附属書A (規定) に基づく表面処理用木材保存材による 適用部材 (部位) 図示 処理方法 ※改修標準仕様書6.5.5(1) (b) ②による 薬剤の接着剤材への混入による防腐、防蟻処理 適用部材 (部位) 図示 合板、集成材、単板積層材の薬剤の加圧注入等によるK3防腐、防蟻処理 適用部材 (部位) 図示 不燃材料 適用部位 (部位) 図示 準不燃材料 適用部位 (部位) 図示 難燃材料 適用部位 (部位) 図示 内部間仕切り軸及び床組み ※杉又は松 床組みに用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合) ※杉又は松 床組みに用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合) ※杉又は松 土間スラブの類の場合の土台、転ばし大引き及び転ばし根太 ※ひのき又は保存処理木材 窓、出入口その他に用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合)	9 合板等	15 床板張り	16 壁及び天井下地	17 軽量鉄骨天井下地	18 軽量鉄骨壁下地	19 ビニル床シート	20 ビニル床タイル	21 接着剤	22 ビニル幅木	23 ゴム床タイル	24 カーペット敷き
		20	ガラスブロック積み	[5. 14. 5] 表面形状 呼び寸法 (mm) 厚さ (mm) 色調 目地幅 (mm) 伸縮調整目地位置 (mm) 耐火性能 壁用金属枠及び補強材の材質・形状 カサ 材質 寸法 形状 化粧目地モルタルの色 シーリングの種類 金属製化粧カバー 木下地の場合のアンカー等の取付け間隔 工法 1章 適用区分による風圧力の (・Ⅰ ・Ⅰ.15 ・Ⅰ.3) 倍の風圧力に対応した工法 目地部の横カサの納まり ※ガラスブロック製造所の仕様による	7 造作用集成材	10 接合具等	11 防腐・防蟻・防虫 処理等	12 不燃処理木材	13 内部間仕切り軸及び 床組み	14 窓、出入口その他	15 床板張り	16 壁及び天井下地	17 軽量鉄骨天井下地	18 軽量鉄骨壁下地	19 ビニル床シート	20 ビニル床タイル	21 接着剤	22 ビニル幅木	23 ゴム床タイル	24 カーペット敷き				
21	ガラス用フィルム	種 類 記号 その他性能等 ・日射調整フィルム ・SC-Ⅰ ・SC-Ⅱ 日射遮へい性能による区分 ・A ・B ・C ・D ・E ・低放射フィルム LE 熱伝流率による区分 ・A ・B ・C ・D ・衝撃破壊対応ガラス 飛散防止フィルム ・GI-Ⅰ ・GI-Ⅱ ・相関変位破壊対応ガラス 飛散防止フィルム ・GD-Ⅰ ・GD-Ⅱ ・ガラス貫通防止フィルム SF ガラスの貫通防止性能による区分 ・A ・B 品質 JIS A5759による	12 不燃処理木材	13 内部間仕切り軸及び 床組み	14 窓、出入口その他																			

内装改修工事	25	合成樹脂塗床	〔6.10.2.3〕 <table><tr><th>種別</th><th>施工箇所</th><th>工法</th><th>仕上げの種類</th></tr><tr><td>・厚膜型塗床材</td><td></td><td></td><td>※ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ</td></tr><tr><td>・弾性ウレタン樹脂塗床</td><td></td><td></td><td>・ つや消し仕上げ</td></tr><tr><td>・厚膜型塗床材</td><td></td><td>・ 薄膜流しのべ工法</td><td>・ 平滑仕上げ</td></tr><tr><td>・エポキシ樹脂塗床</td><td></td><td>・ 厚膜流しのべ工法</td><td>・ 防滑仕上げ</td></tr><tr><td>・ 薄膜型塗床材</td><td></td><td>・ 樹脂モルタル工法</td><td>※ 平滑仕上げ</td></tr></table> 塗料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 材料 水性アクリル系樹脂塗材とし、製造所の指定する製品とする 工法 製造所の指定する工法とする なお、上塗りは2回塗りとし、総塗布量は0.25kg/㎡2以上とする 仕上げの種類（※ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ）（※ 標準色） JIS K 5970に基づく塗料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆	種別	施工箇所	工法	仕上げの種類	・厚膜型塗床材			※ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ	・弾性ウレタン樹脂塗床			・ つや消し仕上げ	・厚膜型塗床材		・ 薄膜流しのべ工法	・ 平滑仕上げ	・エポキシ樹脂塗床		・ 厚膜流しのべ工法	・ 防滑仕上げ	・ 薄膜型塗床材		・ 樹脂モルタル工法	※ 平滑仕上げ	26	防じん用塗床		27	フローリング張り	〔6.11.2～6〕 <table><tr><th>種類</th><th>工法</th><th>樹種</th><th>厚さ (mm)</th><th>間伐材等の適用</th></tr><tr><td>・フローリングボード1等</td><td>・釘留め工法（根太張り） ・釘留め工法（直張り） ・接着工法</td><td>※ なら ※ なら ※ なら</td><td>・ 15 ・ 12 ・ 8</td><td>・ ・ ・</td></tr><tr><td>・フローリングブロック1等</td><td>・接着工法</td><td>※ なら</td><td>・ 15</td><td>・</td></tr></table> 単層フローリング <table><tr><th>種類</th><th>工法</th><th>樹種</th><th>種類</th><th>厚さ (mm)</th><th>間伐材等の適用</th></tr><tr><td>・天然木化粧複合フローリング</td><td>・釘留め工法（根太張り） ・釘留め工法（直張り） ・接着工法</td><td>※ なら ※ なら ※ なら</td><td>・A種 ・B種 ※C種</td><td>・ 15 ・ 12 ・ 12</td><td>・ ・ ・</td></tr></table> フローリング及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※改修標準仕様書6.11.2(2)による 各工法に使用する接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 接着工法の場合の裏面紙継材 ※合成樹脂発泡シート 現場塗装仕上げ ・ 行う ※ウレタン樹脂ワニス塗り ・オイルステインの上、ワックス塗り ・生地そのままワックス塗り ・行わない	種類	工法	樹種	厚さ (mm)	間伐材等の適用	・フローリングボード1等	・釘留め工法（根太張り） ・釘留め工法（直張り） ・接着工法	※ なら ※ なら ※ なら	・ 15 ・ 12 ・ 8	・ ・ ・	・フローリングブロック1等	・接着工法	※ なら	・ 15	・	種類	工法	樹種	種類	厚さ (mm)	間伐材等の適用	・天然木化粧複合フローリング	・釘留め工法（根太張り） ・釘留め工法（直張り） ・接着工法	※ なら ※ なら ※ なら	・A種 ・B種 ※C種	・ 15 ・ 12 ・ 12	・ ・ ・	28	畳敷き	〔6.12.2〕 <table><tr><td>種別</td><td>・A種（畳表：・JS ・J1） ・C種（畳床：・PS-C20 ・PS-C25 ・PS-C30） ※D種（畳床：・KT-I ・KT-II ・KT-III ・KT-K ・KT-N）</td><td>・B種 ・C種 ・D種</td></tr></table> 下地の種類 ・ 標準仕様書表12.6.1による床組 ・ポリスチレンフォーム床下地（ノンフロン） 畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びビスチレンを発生しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。 衝撃緩和型畳（畳表：・C1 ・C2） MDF、パーティクルボード及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ※標準仕様書19.7.2(2)(f)の(a)～(d)のいずれか 合板の防虫処理の適用 ・ 行う	種別	・A種（畳表：・JS ・J1） ・C種（畳床：・PS-C20 ・PS-C25 ・PS-C30） ※D種（畳床：・KT-I ・KT-II ・KT-III ・KT-K ・KT-N）	・B種 ・C種 ・D種	29	せっこうボードその他ボード及び合板張り	〔6.13.2.3〕 <table><tr><th>種類</th><th>JISの記号</th><th>厚さ (mm)、規格等</th></tr><tr><td>・硬質毛セメント板</td><td>HM</td><td>・ 15 ・ 20 ・ 25</td></tr><tr><td>・中質毛セメント板</td><td>MW</td><td>・ 15 ・ 20 ・ 25</td></tr><tr><td>・普通毛セメント板</td><td>NW</td><td>・ 15 ・ 20 ・ 25</td></tr><tr><td>・硬質薄片セメント板</td><td>HF</td><td>・ 12 ・ 15 ・ 18 ・ 21</td></tr><tr><td>・普通薄片セメント板</td><td>NF</td><td>・ 30</td></tr><tr><td>・けい酸カルシウム板</td><td>0.8FK 1.0FK</td><td>タイプ2（無石綿） ・ 6 ・ 8</td></tr><tr><td>・化粧けい酸カルシウム板</td><td>0.8FK 1.0FK</td><td>タイプ2（無石綿） ・ 6 ・ 8 表面への化粧張り等の加工 ・ アクリル樹脂系系統付け</td></tr><tr><td>・ロックウール化粧吸音板</td><td>DR</td><td>※フラットタイプ（ ・ 9（不燃） ・ 12（不燃） ） ※凹凸タイプ（ ・ 12（不燃） ・ 15（不燃） ）</td></tr><tr><td>・ロックウール吸音ボード1号</td><td>RW-B</td><td>・ 25</td></tr><tr><td>・グラスウール吸音ボード32K</td><td>GW-B</td><td>・ 25（ガラスクロス色）</td></tr><tr><td>・せっこうボード</td><td>GB-R</td><td>※12.5（不燃） ・ 15（不燃）</td></tr><tr><td>・不燃層併せっこうボード</td><td>GB-NC</td><td>9.5（不燃） 化粧無（下地張り用） 化粧有（トラバーチン模様）</td></tr><tr><td>・シージングせっこうボード</td><td>GB-S</td><td>12.5（※不燃 ・ 準不燃）</td></tr><tr><td>・強化せっこうボード</td><td>GB-F</td><td>・ 12.5（不燃） ・ 15（不燃）</td></tr><tr><td>・せっこうラスボード</td><td>GB-L</td><td>9.5</td></tr><tr><td>・化粧せっこうボード（トラバーチン模様）</td><td>GB-D</td><td>9.5（準不燃）</td></tr><tr><td>・普通合板</td><td></td><td>単板の樹種名： 生地、透明塗料塗り（※ラワン程度） 不透明塗料塗り（※しな程度） 板面の品質（ ） 厚さ（mm）（ ） 接着の程度（ ・ 1類 ・ 2類 ） 防虫処理（ ・ 行う ・ 行わない）</td></tr><tr><td>・天然木化粧合板</td><td></td><td>樹種名（ ） 接着の程度（ ・ 1類 ・ 2類 ） 厚さ（mm）（ ） 防虫処理（ ・ 行う ・ 行わない）</td></tr><tr><td>・特殊加工化粧合板</td><td></td><td>化粧加工の方法（ ・オーバーレイ ・プリント ・塗装） 表面性能（ ）タイプ 接着の程度（ ・ 1類 ・ 2類 ） 厚さ（mm）（ ） 防虫処理（ ・ 行う ・ 行わない）</td></tr><tr><td>・メラミン樹脂化粧板</td><td></td><td>JIS K 6903 による厚さ（※1.2）</td></tr><tr><td>・ポリエステル樹脂化粧板</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ミディアムデンシティファイバーボード</td><td>MDF</td><td>・ 3 ・ 7 ・ 9 ・ 12</td></tr><tr><td>・単板張りパーティクルボード</td><td></td><td>・無研磨板 V N ・研磨板 V S ・ 10 ・ 12 ・ 15 ・ 18</td></tr></table>	種類	JISの記号	厚さ (mm)、規格等	・硬質毛セメント板	HM	・ 15 ・ 20 ・ 25	・中質毛セメント板	MW	・ 15 ・ 20 ・ 25	・普通毛セメント板	NW	・ 15 ・ 20 ・ 25	・硬質薄片セメント板	HF	・ 12 ・ 15 ・ 18 ・ 21	・普通薄片セメント板	NF	・ 30	・けい酸カルシウム板	0.8FK 1.0FK	タイプ2（無石綿） ・ 6 ・ 8	・化粧けい酸カルシウム板	0.8FK 1.0FK	タイプ2（無石綿） ・ 6 ・ 8 表面への化粧張り等の加工 ・ アクリル樹脂系系統付け	・ロックウール化粧吸音板	DR	※フラットタイプ（ ・ 9（不燃） ・ 12（不燃） ） ※凹凸タイプ（ ・ 12（不燃） ・ 15（不燃） ）	・ロックウール吸音ボード1号	RW-B	・ 25	・グラスウール吸音ボード32K	GW-B	・ 25（ガラスクロス色）	・せっこうボード	GB-R	※12.5（不燃） ・ 15（不燃）	・不燃層併せっこうボード	GB-NC	9.5（不燃） 化粧無（下地張り用） 化粧有（トラバーチン模様）	・シージングせっこうボード	GB-S	12.5（※不燃 ・ 準不燃）	・強化せっこうボード	GB-F	・ 12.5（不燃） ・ 15（不燃）	・せっこうラスボード	GB-L	9.5	・化粧せっこうボード（トラバーチン模様）	GB-D	9.5（準不燃）	・普通合板		単板の樹種名： 生地、透明塗料塗り（※ラワン程度） 不透明塗料塗り（※しな程度） 板面の品質（ ） 厚さ（mm）（ ） 接着の程度（ ・ 1類 ・ 2類 ） 防虫処理（ ・ 行う ・ 行わない）	・天然木化粧合板		樹種名（ ） 接着の程度（ ・ 1類 ・ 2類 ） 厚さ（mm）（ ） 防虫処理（ ・ 行う ・ 行わない）	・特殊加工化粧合板		化粧加工の方法（ ・オーバーレイ ・プリント ・塗装） 表面性能（ ）タイプ 接着の程度（ ・ 1類 ・ 2類 ） 厚さ（mm）（ ） 防虫処理（ ・ 行う ・ 行わない）	・メラミン樹脂化粧板		JIS K 6903 による厚さ（※1.2）	・ポリエステル樹脂化粧板			・ミディアムデンシティファイバーボード	MDF	・ 3 ・ 7 ・ 9 ・ 12	・単板張りパーティクルボード		・無研磨板 V N ・研磨板 V S ・ 10 ・ 12 ・ 15 ・ 18
種別	施工箇所	工法	仕上げの種類																																																																																																																																										
・厚膜型塗床材			※ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ																																																																																																																																										
・弾性ウレタン樹脂塗床			・ つや消し仕上げ																																																																																																																																										
・厚膜型塗床材		・ 薄膜流しのべ工法	・ 平滑仕上げ																																																																																																																																										
・エポキシ樹脂塗床		・ 厚膜流しのべ工法	・ 防滑仕上げ																																																																																																																																										
・ 薄膜型塗床材		・ 樹脂モルタル工法	※ 平滑仕上げ																																																																																																																																										
種類	工法	樹種	厚さ (mm)	間伐材等の適用																																																																																																																																									
・フローリングボード1等	・釘留め工法（根太張り） ・釘留め工法（直張り） ・接着工法	※ なら ※ なら ※ なら	・ 15 ・ 12 ・ 8	・ ・ ・																																																																																																																																									
・フローリングブロック1等	・接着工法	※ なら	・ 15	・																																																																																																																																									
種類	工法	樹種	種類	厚さ (mm)	間伐材等の適用																																																																																																																																								
・天然木化粧複合フローリング	・釘留め工法（根太張り） ・釘留め工法（直張り） ・接着工法	※ なら ※ なら ※ なら	・A種 ・B種 ※C種	・ 15 ・ 12 ・ 12	・ ・ ・																																																																																																																																								
種別	・A種（畳表：・JS ・J1） ・C種（畳床：・PS-C20 ・PS-C25 ・PS-C30） ※D種（畳床：・KT-I ・KT-II ・KT-III ・KT-K ・KT-N）	・B種 ・C種 ・D種																																																																																																																																											
種類	JISの記号	厚さ (mm)、規格等																																																																																																																																											
・硬質毛セメント板	HM	・ 15 ・ 20 ・ 25																																																																																																																																											
・中質毛セメント板	MW	・ 15 ・ 20 ・ 25																																																																																																																																											
・普通毛セメント板	NW	・ 15 ・ 20 ・ 25																																																																																																																																											
・硬質薄片セメント板	HF	・ 12 ・ 15 ・ 18 ・ 21																																																																																																																																											
・普通薄片セメント板	NF	・ 30																																																																																																																																											
・けい酸カルシウム板	0.8FK 1.0FK	タイプ2（無石綿） ・ 6 ・ 8																																																																																																																																											
・化粧けい酸カルシウム板	0.8FK 1.0FK	タイプ2（無石綿） ・ 6 ・ 8 表面への化粧張り等の加工 ・ アクリル樹脂系系統付け																																																																																																																																											
・ロックウール化粧吸音板	DR	※フラットタイプ（ ・ 9（不燃） ・ 12（不燃） ） ※凹凸タイプ（ ・ 12（不燃） ・ 15（不燃） ）																																																																																																																																											
・ロックウール吸音ボード1号	RW-B	・ 25																																																																																																																																											
・グラスウール吸音ボード32K	GW-B	・ 25（ガラスクロス色）																																																																																																																																											
・せっこうボード	GB-R	※12.5（不燃） ・ 15（不燃）																																																																																																																																											
・不燃層併せっこうボード	GB-NC	9.5（不燃） 化粧無（下地張り用） 化粧有（トラバーチン模様）																																																																																																																																											
・シージングせっこうボード	GB-S	12.5（※不燃 ・ 準不燃）																																																																																																																																											
・強化せっこうボード	GB-F	・ 12.5（不燃） ・ 15（不燃）																																																																																																																																											
・せっこうラスボード	GB-L	9.5																																																																																																																																											
・化粧せっこうボード（トラバーチン模様）	GB-D	9.5（準不燃）																																																																																																																																											
・普通合板		単板の樹種名： 生地、透明塗料塗り（※ラワン程度） 不透明塗料塗り（※しな程度） 板面の品質（ ） 厚さ（mm）（ ） 接着の程度（ ・ 1類 ・ 2類 ） 防虫処理（ ・ 行う ・ 行わない）																																																																																																																																											
・天然木化粧合板		樹種名（ ） 接着の程度（ ・ 1類 ・ 2類 ） 厚さ（mm）（ ） 防虫処理（ ・ 行う ・ 行わない）																																																																																																																																											
・特殊加工化粧合板		化粧加工の方法（ ・オーバーレイ ・プリント ・塗装） 表面性能（ ）タイプ 接着の程度（ ・ 1類 ・ 2類 ） 厚さ（mm）（ ） 防虫処理（ ・ 行う ・ 行わない）																																																																																																																																											
・メラミン樹脂化粧板		JIS K 6903 による厚さ（※1.2）																																																																																																																																											
・ポリエステル樹脂化粧板																																																																																																																																													
・ミディアムデンシティファイバーボード	MDF	・ 3 ・ 7 ・ 9 ・ 12																																																																																																																																											
・単板張りパーティクルボード		・無研磨板 V N ・研磨板 V S ・ 10 ・ 12 ・ 15 ・ 18																																																																																																																																											
30	壁紙張り	〔6.14.2.3〕 <table><tr><th>施工箇所</th><th>紙</th><th>繊維</th><th>塩化ビニルチック</th><th>無機質</th><th>その他</th><th>防火性能</th><th>備考</th></tr><tr><td></td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・不燃 ・ 準不燃 ・ 難燃</td><td></td></tr></table> モルタル・せっこうプラスター面の素地ごしえの種類 ※B種 コンクリート面の素地ごしえの種類 ※B種 せっこうボード面及びケイ酸カルシウム板面の素地ごしえの種類 ※B種 ・A種	施工箇所	紙	繊維	塩化ビニルチック	無機質	その他	防火性能	備考		・	・	・	・	・	・不燃 ・ 準不燃 ・ 難燃		31	モルタル塗り	〔6.15.3、5、6〕 モルタル ※現場調合材料 ・既調合材料（材料） 既製目地材 ・ 設ける 施工箇所（ ） 形状（※ 図示） ・ 設けない 床の母地 ・ 設ける（目地割り ※2㎡程度（最大目地間隔3㎡程度）（種類 ※押し目地） ・ 設けない 外装タイル張り下地等の下地モルタル塗り及び下地調整材塗りの接着力試験 ・ 適用する ・ 適用しない 壁面の仕上げ厚又は全塗り厚が25mmを超える場合の下地処理 ・ 図示による 建具回り等の充填モルタルに使用する防水剤（品質・性能） （試験方法）JIS A1404「建築用セメント防水剤の試験方法」による <table><tr><th>項目</th><th>品質・性能</th></tr><tr><td>防水剤の種類</td><td>建築用のモルタルに用いるセメント防水剤</td></tr><tr><td>混合割合</td><td>セメント重量の5%以下</td></tr><tr><td>凝結及び安定性</td><td>（凝結時間）始発：1時間以上 終結：10時間以内 （安定性）収縮性、膨張性のひび割れ及びそのの有無について確認する</td></tr><tr><td>曲げ及び圧縮強度比</td><td>防水剤を混入したもの、しないものの曲げ強度比及び圧縮強度比 70%以上</td></tr><tr><td>吸水比</td><td>防水剤を混入したもの、しないものの吸水比 95%以下</td></tr><tr><td>透水比</td><td>防水剤を混入したもの、しないものの透水比 80%以下 ただし、透水試験における水圧は、3.0×10⁵ Paと1時間行う</td></tr></table>	項目	品質・性能	防水剤の種類	建築用のモルタルに用いるセメント防水剤	混合割合	セメント重量の5%以下	凝結及び安定性	（凝結時間）始発：1時間以上 終結：10時間以内 （安定性）収縮性、膨張性のひび割れ及びそのの有無について確認する	曲げ及び圧縮強度比	防水剤を混入したもの、しないものの曲げ強度比及び圧縮強度比 70%以上	吸水比	防水剤を混入したもの、しないものの吸水比 95%以下	透水比	防水剤を混入したもの、しないものの透水比 80%以下 ただし、透水試験における水圧は、3.0×10 ⁵ Paと1時間行う	32	タイル張り	〔6.16.2～4〕 伸縮調整目地の位置 床タイル（※縦、横とも4m以内ごと ・ 図示） 床タイル以外（※ 図示） ・セメントモルタルによるタイル（セラミックタイル）張り <table><tr><th>施工箇所</th><th>形状/寸法</th><th>再生材料の適用</th><th>吸水率による区分</th><th>うわぐすり</th><th>役物</th><th>色</th><th>耐滑定性</th><th>耐汚性</th><th>備考</th></tr><tr><td></td><td>（mm）</td><td></td><td>Ⅰ類 Ⅱ類 Ⅲ類 Ⅳ類</td><td>Ⅰ類 Ⅱ類 Ⅲ類 Ⅳ類</td><td>有 無</td><td>標準 特注</td><td>有 無</td><td>有 無</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td></td></tr></table> 耐滑り性：JIS A 1509-12（セラミックタイル試験方法―第12部：耐滑り性試験方法）で規定する0.5.R値は0.4～1.0とする。 標準的な曲がり役物は一体成形とする 試験張り ・ 行う ※行わない 見本焼き ・ 行う ※行わない 壁タイル張りの工法 内装タイル ・ 密着張り ・ 改良圧着張り 内装タイル以外のユニットタイル ・ マスク張り ・ モザイクタイル張り 既調合モルタル モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。 <table><tr><th>項目</th><th>品質・性能</th><th>項目</th><th>品質・性能</th></tr><tr><td>保水率</td><td>70.0%以上</td><td>長さ変化率</td><td>0.20%以下</td></tr><tr><td>単位容積質量</td><td>1.80kg/L以上</td><td>曲げ強さ</td><td>4.0N/mm2以上</td></tr><tr><td>接着強さ</td><td>標準時 0.60N/mm2以上 温冷繰り返し後 0.40N/mm2以上</td><td></td><td></td></tr></table> （試験方法） （1）試料の調製 製造業者の定める、正味質量と標準繰り上がり量より換算して、所定量の試料を繰り上げるに必要とする材料と繰り混ぜ水を計算して用意する。 繰り混ぜは、JIS	施工箇所	形状/寸法	再生材料の適用	吸水率による区分	うわぐすり	役物	色	耐滑定性	耐汚性	備考		（mm）		Ⅰ類 Ⅱ類 Ⅲ類 Ⅳ類	Ⅰ類 Ⅱ類 Ⅲ類 Ⅳ類	有 無	標準 特注	有 無	有 無					・	・	・	・	・	・					・	・	・	・	・	・		項目	品質・性能	項目	品質・性能	保水率	70.0%以上	長さ変化率	0.20%以下	単位容積質量	1.80kg/L以上	曲げ強さ	4.0N/mm2以上	接着強さ	標準時 0.60N/mm2以上 温冷繰り返し後 0.40N/mm2以上																																																	
施工箇所	紙	繊維	塩化ビニルチック	無機質	その他	防火性能	備考																																																																																																																																						
	・	・	・	・	・	・不燃 ・ 準不燃 ・ 難燃																																																																																																																																							
項目	品質・性能																																																																																																																																												
防水剤の種類	建築用のモルタルに用いるセメント防水剤																																																																																																																																												
混合割合	セメント重量の5%以下																																																																																																																																												
凝結及び安定性	（凝結時間）始発：1時間以上 終結：10時間以内 （安定性）収縮性、膨張性のひび割れ及びそのの有無について確認する																																																																																																																																												
曲げ及び圧縮強度比	防水剤を混入したもの、しないものの曲げ強度比及び圧縮強度比 70%以上																																																																																																																																												
吸水比	防水剤を混入したもの、しないものの吸水比 95%以下																																																																																																																																												
透水比	防水剤を混入したもの、しないものの透水比 80%以下 ただし、透水試験における水圧は、3.0×10 ⁵ Paと1時間行う																																																																																																																																												
施工箇所	形状/寸法	再生材料の適用	吸水率による区分	うわぐすり	役物	色	耐滑定性	耐汚性	備考																																																																																																																																				
	（mm）		Ⅰ類 Ⅱ類 Ⅲ類 Ⅳ類	Ⅰ類 Ⅱ類 Ⅲ類 Ⅳ類	有 無	標準 特注	有 無	有 無																																																																																																																																					
			・	・	・	・	・	・																																																																																																																																					
			・	・	・	・	・	・																																																																																																																																					
項目	品質・性能	項目	品質・性能																																																																																																																																										
保水率	70.0%以上	長さ変化率	0.20%以下																																																																																																																																										
単位容積質量	1.80kg/L以上	曲げ強さ	4.0N/mm2以上																																																																																																																																										
接着強さ	標準時 0.60N/mm2以上 温冷繰り返し後 0.40N/mm2以上																																																																																																																																												

9

石綿含有建材の除去工事

〔9. 1. 1. 3～5〕

・ 石綿粉じん濃度測定
測定時期、場所及び測定点

適用 測定名称	測定時期	測定場所	測定点（各施工箇所ごと）
・ 測定 1	処理作業前	処理作業室内	・ 計 点
・ 測定 2	処理作業中	調査対象室外部の付近	・ 計 点
・ 測定 3		処理作業室内	・ 計 点
※ 測定 4		セキリティゾーン入口	・ 計 点
※ 測定 5		集じん・排気装置の排出口（処理作業室外の場合）	出口吹出し風速 1 m／s 以下 の位置 ・ 計 点
※ 測定 6	処理作業後 （シート養生中）	処理作業室外 ・ 施工区面周辺 ・ 敷地境界	・ 計 点
※ 測定 7		処理作業室内	・ 計 点
・ 測定 8	処理作業後 （シート撤去後 1 週間以降）	処理作業室内	・ 計 点
・ 測定 9		調査対象室外部の付近	・ 計 点

測定方法
・ 自動測定器による測定

測定名称	測定方法
・ 測定 4 ・ 測定 5 ・ 測定（ ）	粉じん相対濃度計（デジタル粉じん計）、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器（リアルタイムファイバーモニター）等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定

・ JIS K 3850-1Iに基づいた測定

測定名称	メンブレンフィルタ直径（mm）	試料の吸引流量（l／min）	試料の吸引時間（min）
・ 測定 4 ・ 測定 5 ・ 測定（ ）	25	5	30
・ 測定（ ）	47	10	120
・ 測定（ ）	47	10	240
・ 測定（ ）			

石綿含有建材の処理

・ 石綿含有吹付け材の除去（石綿含有保温材等を切断又は破砕して除去する場合を含む）
除去対象範囲 ※ 図示
除去工法 ※ 改修標準仕様書9.1.3(2)（7）による
・ 除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置 ※ 湿潤化 ・ 固形成
除去した石綿含有吹付け材等の処分
・ 埋立処分（管理型最終処分場） ・ 中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）
なお、工事発注後に明らかになつたやむを得ない事情により、上記の指定によりがたい場合は、監督職員と協議すること。

・ 石綿含有保温材等の除去（石綿含有けい酸カルシウム板第 2 種を含む）
除去対象範囲 ※ 図示
除去工法 ※ 原形のまま、手ばらし ・ 破砕して除去
除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置 ※ 湿潤化 ・ 固形成
除去した石綿含有保温材等の処分
・ 埋立処分（管理型最終処分場） ・ 中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

・ 石綿含有成形板等けい酸カルシウム板第 1 種の切断、破砕等による除去
除去対象範囲 ※ 図示
隔離養生（負圧不要）方法 ※ 図示
足場 ※ 図示
除去した石綿含有けい酸カルシウム板第 1 種の処分
・ 埋立処分（安定型最終処分場）
・ 中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

・ 石綿含有成形板の除去（石綿含有けい酸カルシウム板第 1 種の手ばらしによる除去を含む）
除去対象範囲 ※ 図示
養生 ※ 行う ・ 行わない
除去した石綿含有けい酸カルシウム板第 1 種の処分
・ 埋立処分（安定型最終処分場）
・ 中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

・ 石綿含有仕上塗材又は石綿含有成形板（下地調整材）の除去
下記以外は、改修標準仕様書9.1.1及び9.1.2による
除去工法 ・
※ 石綿障害予防規則（平成十七年二月二十四日厚生労働省令第二十一号）第 6 条
による措置と同等以上の効果を有する措置とされる工法
・ 集じん装置併用手工具ケレン工法
・ 集じん装置付き高圧水洗工法（15MP a 以下、30～50MP a 程度）
・ 集じん装置付き超高圧水洗工法（100MP a 以上）
・ 超音波ケレン工法（HEPA フィルター付き掃除機併用）
・ 剝離剤併用手工具ケレン工法
・ 剝離剤併用高圧水洗工法（30～50MP a 程度）
・ 剝離剤併用超高圧水洗工法（100MP a 以上）
・ 剝離剤併用超音波ケレン工法
・ 集じん装置付きディスクグラインダーケレン工法
※ 図示
作業場の隔離 ※ 行わない ・ 行う
試験施工 ※ 行わない ・ 行う
養生方法 ・
除去した石綿含有仕上塗材の処分
・ 埋立処分（安定型最終処分場） ・ 埋立処分（管理型最終処分場）
・ 中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）
除去した石綿含有仕上塗材の保管、運搬及び処分
※ 改修標準仕様書9.1.3(3)による
確認及び後片付け ※ 改修標準仕様書9.1.3(4)の(7)、(9)、(9)及び(9)による

2

外断熱改修工事

〔9. 2. 1～4〕

石綿含有建材除去後の仕上げ工事 ※ 図示

断熱材
断熱材の種類（ ）、断熱材の厚さ（ mm）
施工箇所 ※ 図示
ホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆
・

外装材

種類	防火性能	備考
・		

既存外壁の処置
既存外壁仕上材の撤去 ・ 行う ・ 行わない
下地面の清掃 ・ 行う ・ 行わない
欠損部がある場合の改修工法 ※ 4 章外壁改修工事による

工法
1章 適用区分による風圧力（ ・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3）倍の風圧力に対応した工法
不陸等の地下調整 ※ 図示
通気層の有無 ・ あり（ mm） ・ なし
断熱材、外装材の施工及び外装材の外壁への取付け
※ 断熱材及び外装材製造所の仕様による

2

表示

〔2.0. 2. 1〕

案内用図記号はJIS Z 8210による。
誘導標識、非常用進入口等の表示 ※ 消防法に適合する市販品
室名札、ビクトグラフ、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付け形式等
※ 図示

〔2.0. 2. 1.4〕

形式	操作方法	種類	スラットの材質	スラット幅（mm）	ボックス・レールの材質	幅・高さ・取付箇所
・ 横形	※ 手動	※ ギア式 ・ コード式 ・ 操作棒式 ・ 電動	※ アルミニウム合金製	※ 25	※ 鋼製	※ 図示
・ 縦形	※ 手動	※ 2 本操作コード式 ・ 1 本操作コード式 ・ 電動	※ アルミスラット・クロススラット	・ 80 ・ 100	アルミニウム合金製	※ 図示

アルミスラットの材質 焼付け塗装仕上げ
クロススラットの材質 消防法で定める防炎性能の表示がある特殊樹脂加工

〔2.0. 2. 1.5〕

材質	操作方式	遮光性能	寸法（mm）	取付箇所	備考
・ ガラス繊維製 ・ 合成・天然繊維製 ・ 木製	・ 電動式 ・ スプリング式 ・ チェーン式 ・ コード式	・ 1 級 ・ 2 級 ・ 3 級	※ 図示 ・	※ 図示 ・	

スクリーンの仕様
消防法で定める防炎性能の表示があるもの

〔2.0. 2. 1.6〕

形式	開閉操作	ひだの種類	生地の種類、品質、特殊加工等	取付箇所	備考
・ シングル ・ ダブル	・ 片引き ・ 引分け ・ 手引き ・ ひも引き ・ 電動	・ つまみひだ ・ 箱ひだ、片ひだ ・ ブレーンひだ		※ 図示 ・	・ 暗幕

生地の仕様
消防法で定める防炎性能の表示があるもの
暗幕カーテンの両端、上部及び召合せの重なり ※ 300mm 以上
カーテン用付属金物
フック（ひるかん）
※ 鋼製 ・ 樹脂製

〔2.0. 2. 1.6〕

材料による区分 ※ アルミニウム又はアルミニウム合金の押出し成型材
ステンレス製
強さによる区分 ※ 10-90
仕上げ ※ アルマイト
形状 ※ 角形

7

ブラインドボックス及びカーテンボックス

満幅×深さ（mm） 90×150 120×80 120×150 150×80
材質 ・ 集成材（仕上げ）
・ アルミニウム製 押出し型材（市販品）
表面処理 ・ BC-1 ・ BC-2（※標準色（ ））
・ 鋼製（仕上げ： ）

8

天井点検口

材質	寸法（mm）	形式	外枠	内枠
※ アルミニウム製	※ 450×450 ・ 600×600	※ 一般形 ・ 気密形	※ 屋内外用 ※ 屋内用	※ 額縁タイプ ○ 目地タイプ
・	・	・		

（品質・性能）
内外枠の材質 アルミニウム製
JIS H 4100 A6063S-5又は同等の性能を有するもの
表面処理 陽極酸化皮膜JIS H 8601（AA）又は同等の性能を有するもの
（外部に用いる場合は、JIS H 8602のB種又は同等以上の性能を有するもの）
内枠及び外枠のコーナースペース
鋼板に亜鉛めっき等の防錆処理を行ったもの又は同等の性能を有するもの
外枠の取付け金物
鋼板に亜鉛めっき等の防錆処理を行ったもの又は同等の性能を有するもの
内枠の仕上げ材留付金物
アルミニウム及びアルミニウム合金押出型材、亜鉛めっき鋼板又は同等の性能を有するもの
耐久性能（繰り返し開閉試験）
（1）300回の繰返し開閉試験後、内蓋の垂れ下がりが、0.5mm以内とする。
（2）開閉試験後、使用上支障をきたす異常がないこと。
枠の寸法許容差 ±0.5mm以内
外枠と内枠のクリアランス 片側2.0mm以内
（試験方法）
内蓋（内枠）の繰り返し開閉試験
（1）試験体は一般事務用とし、枠見込み40mm程度のものとする。
吊り金物は、外枠を天井下地取付用補強材に直接留付ける方式（天井ボードなどの仕上材を挟んで固定しない方式）とする。標準仕様書14章4節により製作した試験体固定天井下地開口補強に試験体の天井点検口450mm×450mmを吊り金具4箇所にて各メーカー仕様に従い取付ける。なお、野縁の種類は、19形とし仕上げ材は、せっこうボード厚さ9.5mm（JIS A 6901「せっこうボード製品」のGB-Rの難燃2級又は発炎性2級以上）を重張りとする。
（2）試験は、内蓋を閉じた状態から自由開放状態にする動作を繰り返し行う。
（3）測定は、上記繰り返し試験を300回行い、試験後の内蓋の垂れ下がりを寸法を測定する。

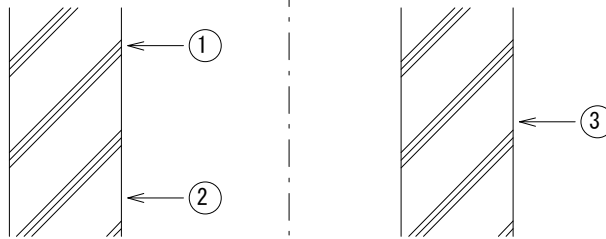
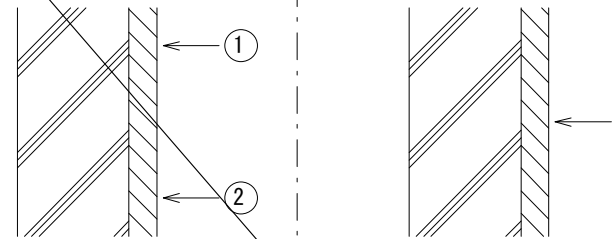
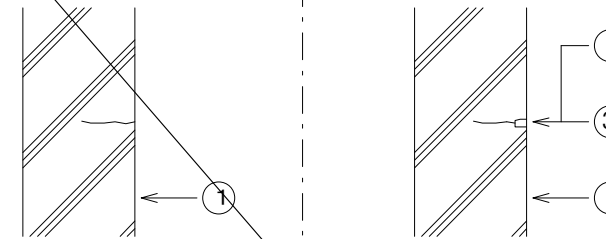
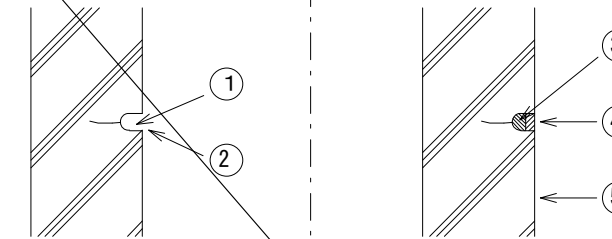
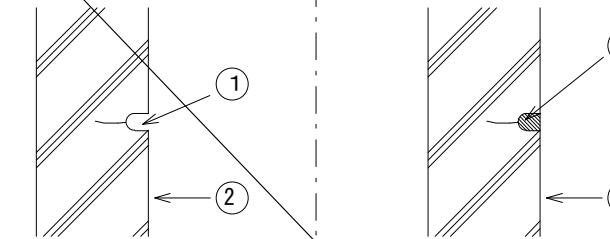
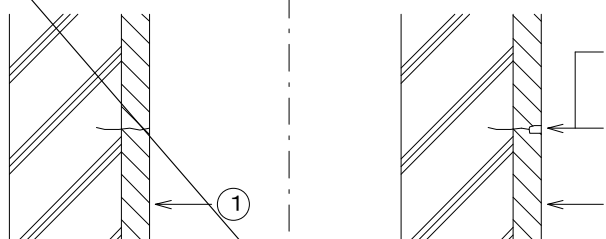
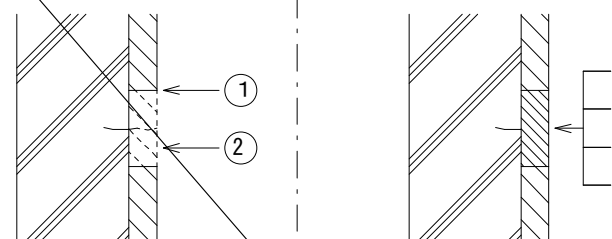
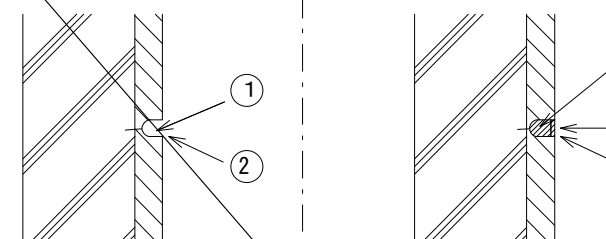
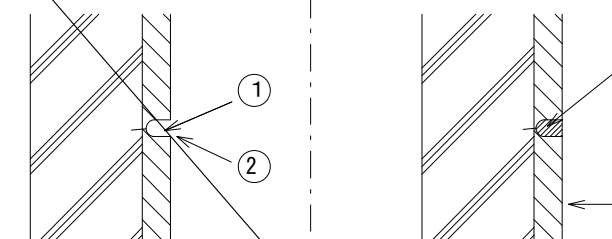
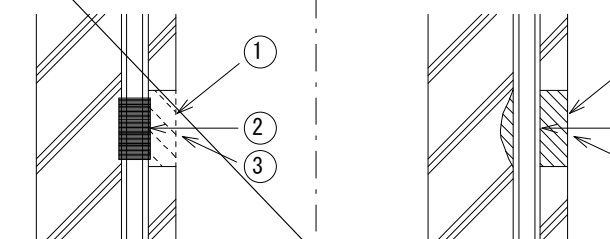
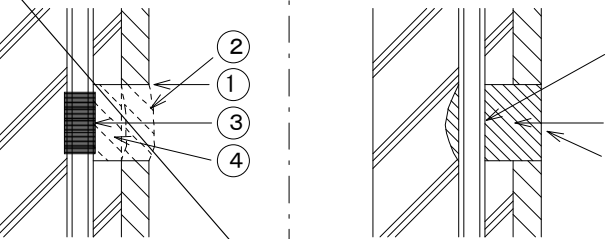
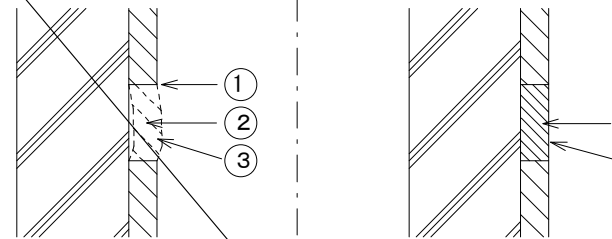
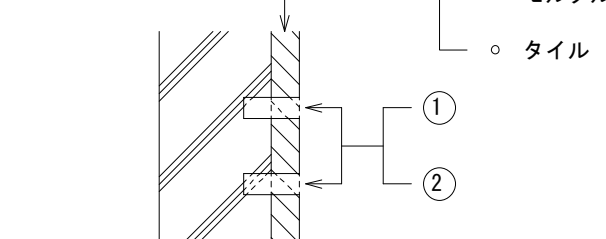
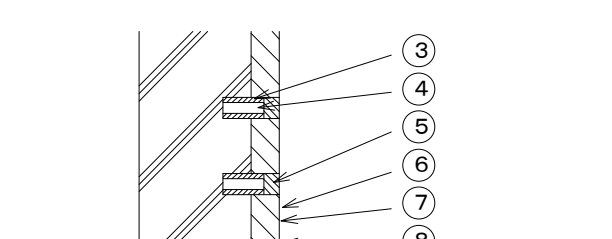
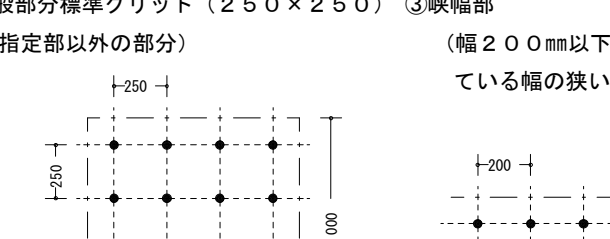
5

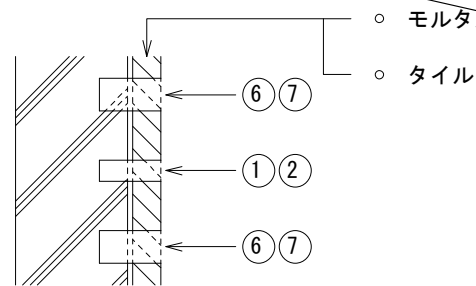
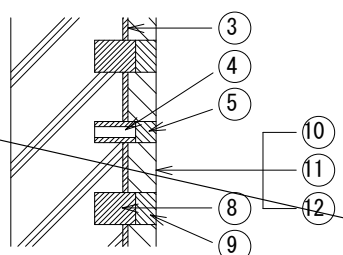
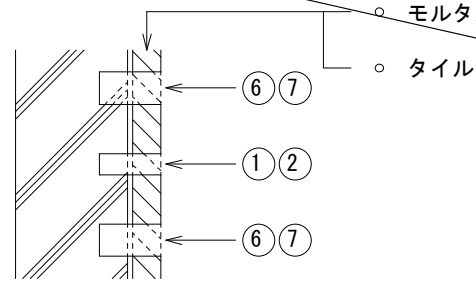
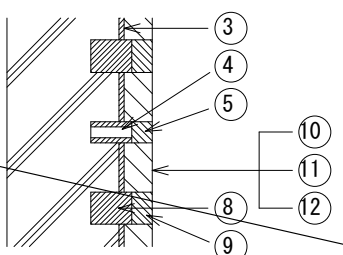
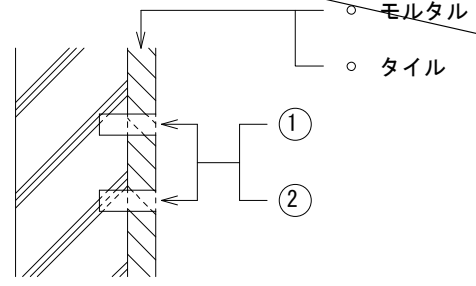
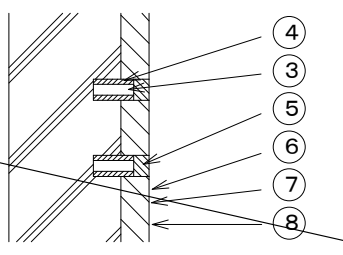
透水性アスファルト舗装改修工事

〔9. 5. 2～5、9〕

下記以外は、10章その他による

既存舗装の撤去及び再利用 ※ 図示

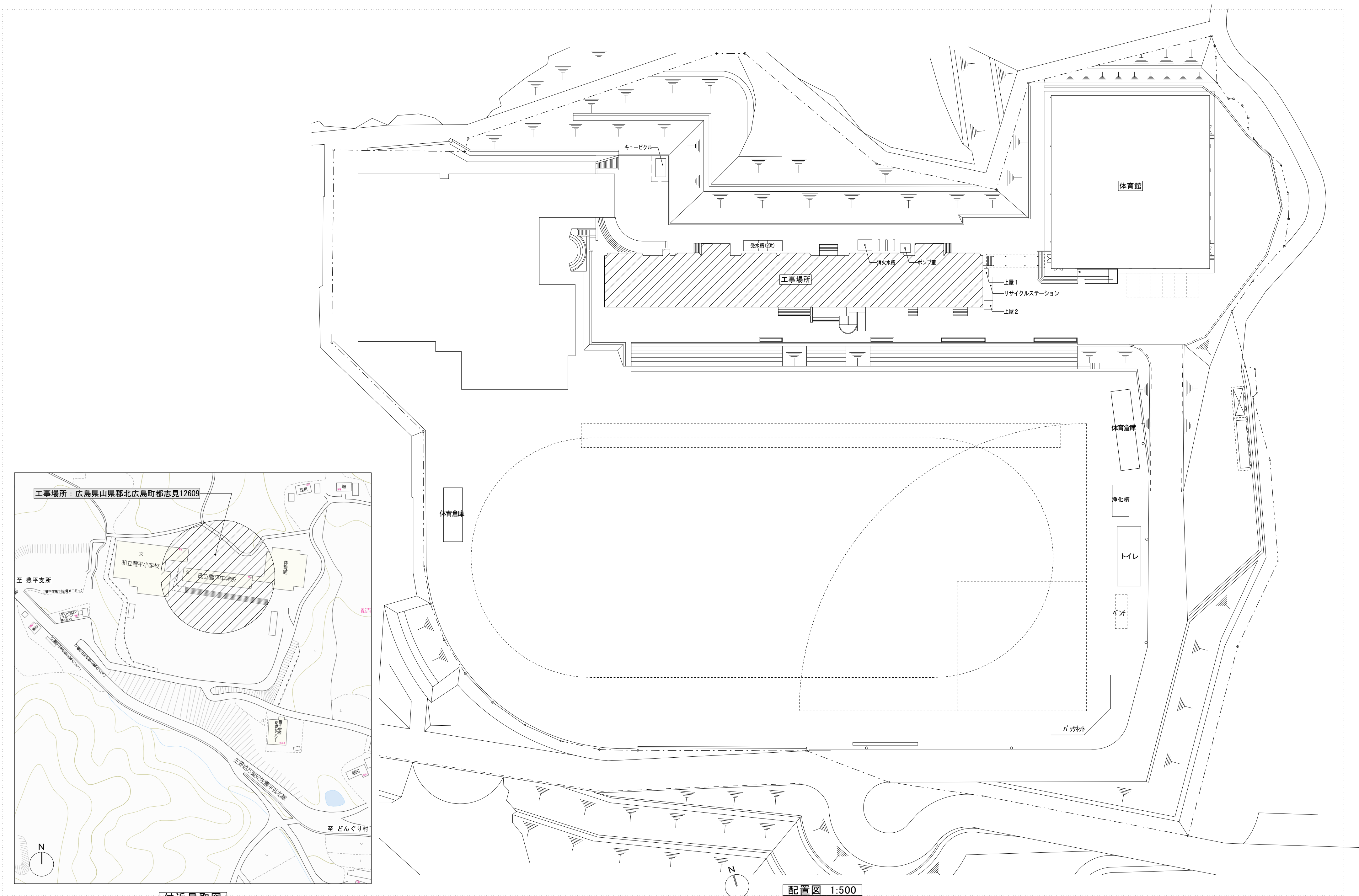
名 称		A 表面劣化部処理		B ひび割れ部処理			
記号・仕様		A－1 打放し面表面劣化部処理 [サンダー工法]		A－2 モルタル面表面劣化部処理 [サンダー工法]		B－1 打放し面樹脂注入工法〔標仕4. 2. 5〕 ひび割れ幅 0. 2～1. 0mm	
改修前	改修後						
							
工 程		①既存仕上げ材及び脆弱層サンダーケレン（＊全面 ・部分） ②高圧水洗浄（150～200kg／cm ² ） ③セメント系下地調整材コテ塗り（1～2mm程度で平滑にする。） ※見上げ面については、③を省略する。 参考数量：外壁：㎡		①既存仕上げ材及び脆弱層サンダーケレン（＊全面 ・部分） ②高圧水洗浄（150～200kg／cm ² ） ③セメント系下地調整材コテ塗り（1～2mm程度で平滑にする。） ※見上げ面については、③を省略する。 参考数量：		①サンダーケレン ②ひび割れ部シール ③エポキシ樹脂注入 ④セメント系下地調整材コテ塗り（1～2mm程度で平滑にする。） ※A－1工法を行う場合は、①、④の工程はA－1工法に含む。 参考数量： ひび割れ幅 0. 2～0. 5mm （ ） ひび割れ幅 0. 5～1. 0mm （ ） （ ）内は挙動ひび割れ数量を示す	
名 称		B ひび割れ部処理		C 錆鉄筋部処理			
記号・仕様		B－4 モルタル面樹脂注入工法〔標仕4. 3. 6〕 ひび割れ幅 0. 2～1. 0mm		B－5 モルタル面躯体部樹脂注入工法〔標仕4. 3. 6〕 ひび割れ幅 0. 2～1. 0mm		B－6 モルタル面Uカットシール材充てん工法 ひび割れ幅 1. 0mm以上	
改修前	改修後						
							
工 程		①サンダーケレン ②ひび割れ部シール ③エポキシ樹脂注入 ④セメント系下地調整材コテ塗り（1～2mm程度で平滑にする。） ※A－2工法を行う場合は、①、④の工程はA－2工法に含む。 参考数量： ひび割れ幅 0. 2～0. 5mm （ ） ひび割れ幅 0. 5～1. 0mm （ ） （ ）内は挙動ひび割れ数量を示す		①ひび割れ周囲モルタルカッター切り ②モルタル除去 ③ひび割れ部シール ④エポキシ樹脂注入 ⑤埋戻し ⑥セメント系下地調整材コテ塗り（1～2mm程度で平滑にする。） ※A－2工法を行う場合は、⑥の工程はA－2工法に含む。 参考数量：		①ひび割れ部Uカット ②高圧水洗浄（150～200kg／cm ² ） ③シーリング材打設 ④Uカット部埋戻し（ポリマーセメントモルタル） ⑤セメント系下地調整材コテ塗り（1～2mm程度で平滑にする。） ※A－2工法を行う場合は、②、⑤の工程はA－2工法に含む。 参考数量：	
名 称		C 錆鉄筋部処理		D 浮き部処理			
記号・仕様		C－2 モルタル面錆鉄筋部処理		D－1 モルタル面はつり		D－2 モルタル面アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法〔標仕4. 3. 11〕— D－2' タイル面アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法〔標仕4. 4. 9〕	
改修前	改修後						
							
工 程		①カッター縁切り ②浮き部はつり ③錆落とし ④高圧水洗浄（150～200kg／cm ² ） ⑤防錆処理 ⑥はつり部埋戻し整形 ⑦セメント系下地調整材コテ塗り（1～2mm程度で平滑にする。） ※A－2工法を行う場合は、④、⑦の工程はA－2工法に含む。 参考数量：		①カッター縁切り ②浮き部はつり ③高圧水洗浄（150～200kg／cm ² ） ④はつり部埋戻し整形 ⑤セメント系下地調整材コテ塗り（1～2mm程度で平滑にする。） ※A－2工法を行う場合は、③、⑤の工程はA－2工法に含む。 参考数量：		①穿孔 ②孔内エアークリーニング ③エポキシ樹脂注入 ④ステンレスピン挿入 ⑤穿孔跡埋戻し〔パテ状エポキシ樹脂〕 ⑥サンダーケレン ⑦高圧水洗浄（150～200kg／cm ² ） ⑧セメント系下地調整材コテ塗り（1～2mm程度で平滑にする。） ※A－2工法を行う場合は、⑥、⑦、⑧の工程はA－2工法に含む。 参考数量：①一般部分：外壁 モルタル：3.0㎡ 外構 タイル：11.0㎡、モルタル：11.0㎡ ②指定部分： ③峡幅部：	

名 称		D 浮き部処理									
記号・仕様		D-3 モルタル面アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 3. 12] D-3' タイル面アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 4. 10]									
改修前	改修後										
		①ピン固定部穿孔 一般部 13 ケ所 ⑥注入口穿孔 一般部 12 ケ所 ⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1～2mm程度で平滑にする。) ②孔内エアークリーニング 一般部 13 ケ所 ⑦孔内エアークリーニング 一般部 12 ケ所 ③エポキシ樹脂注入 一般部 13 ケ所 ⑧エポキシ樹脂注入 一般部 12 ケ所 ④ステンレスピン挿入 一般部 13 ケ所 ⑨穿孔跡埋戻し [エポキシパテ] 一般部 12 ケ所 ⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ] 一般部 13 ケ所 ⑩サンダーケレン 一般部 12 ケ所 指定部 20 ケ所 指定部 20 ケ所 指定部 20 ケ所 指定部 20 ケ所 指定部 20 ケ所 ※A-2工法を行う場合は、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む。 参考数量：①一般部分： ②指定部分： ③峽幅部：									
名 称		D 浮き部処理									
記号・仕様		D-4 モルタル面アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [標仕4. 3. 13] D-4' タイル面アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [標仕4. 4. 11]									
改修前	改修後										
		①ピン固定部穿孔 一般部 13 ケ所 ⑥注入口穿孔 一般部 12 ケ所 ⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1～2mm程度で平滑にする。) ②孔内エアークリーニング 一般部 13 ケ所 ⑦孔内エアークリーニング 一般部 12 ケ所 ③ポリマーセメントスラリー注入 一般部 13 ケ所 ⑧ポリマーセメントスラリー注入 一般部 12 ケ所 ④ステンレスピン挿入 一般部 13 ケ所 ⑨穿孔跡埋戻し [ポリマーセメントスラリー] 一般部 12 ケ所 ⑤穿孔跡埋戻し [ポリマーセメントスラリー] 一般部 13 ケ所 ⑩サンダーケレン 一般部 12 ケ所 指定部 20 ケ所 指定部 20 ケ所 指定部 20 ケ所 指定部 20 ケ所 指定部 20 ケ所 ※A-2工法を行う場合は、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む。 参考数量：①一般部分： ②指定部分： ③峽幅部：									
名 称		D 浮き部処理									
記号・仕様		D-5 モルタル面注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 3. 14] D-5' タイル面注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 4. 12]									
改修前	改修後										
		①穿孔 一般部 9 ケ所 ⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ] 一般部 9 ケ所 指定部 16 ケ所 指定部 16 ケ所 ②孔内エアークリーニング 一般部 9 ケ所 ⑥サンダーケレン 一般部 9 ケ所 指定部 16 ケ所 指定部 16 ケ所 ⑦高圧水洗浄 (150～200kg/cm²) 一般部 9 ケ所 ③ステンレスピン (注入口付) 挿入 一般部 9 ケ所 ⑧セメント系下地調整材コテ塗り (1～2mm程度で平滑にする。) 指定部 16 ケ所 指定部 16 ケ所 ※A-2工法を行う場合は、⑥、⑦、⑧の工程はA-2工法に含む。 参考数量：①一般部分： ②指定部分： ③峽幅部：									
工 程		①一般部分標準グリッド (200×200) (指定部以外の部分) ②指定部分標準グリッド (110×110) (見上げ面、ひさしのはな、まぐさ隅角部分等) ③峽幅部 (幅200mm以下で帯状に剥離している幅の狭い箇所) ④注入口付アンカーピン固定部 ⑤注入口									

名 称		D 浮き部処理															
記号・仕様		D-6 モルタル面注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 3. 15] D-6' タイル面注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 4. 13]															
改修前	改修後																
		①一般部分標準グリッド（165×165） （指定部以外の部分） ②指定部分標準グリッド（125×125） （見上げ面、ひさしのはな、まぐさ隅角部分等） ③峽幅部 （幅200mm以下で帯状に剥離している幅の狭い箇所） ● 注入口付アンカーピン固定部 ○ 注入口															
工 程		①ピン固定部穿孔	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	⑨穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	⑩サンダーケレン	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	⑪高圧水洗浄（150～200kg/cm ² ） ⑫セメント系下地調整材コテ塗り（1～2mm程度で平滑にする。）	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所						
		②孔内エアーク清掃	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	⑥注入口穿孔	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	⑩サンダーケレン	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	⑪高圧水洗浄（150～200kg/cm ² ） ⑫セメント系下地調整材コテ塗り（1～2mm程度で平滑にする。）	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	※A-2工法を行う場合、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む							
		③ステンレスピン（注入口付）挿入	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	⑦孔内エアーク清掃	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	※A-2工法を行う場合、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む											
		④エポキシ樹脂注入	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	⑧エポキシ樹脂注入	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	参考数量：①一般部分： ②指定部分： ③峽幅部：											
名 称		D 浮き部処理															
記号・仕様		D-7 モルタル面注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [標仕4. 3. 16] D-7' タイル面注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [標仕4. 4. 14] ※標準グリッド等は、D-6、D-6' と同じ															
改修前	改修後																
		①穿孔 ②孔内エアーク清掃 ③ステンレスピン（注入口付）挿入 ④エポキシ樹脂注入 ⑤穿孔跡埋戻し [化粧キャップもしくは調色樹脂パテ] 参考数量：															
工 程		①ピン固定部穿孔	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	⑥注入口穿孔	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	⑫セメント系下地調整材コテ塗り（1～2mm程度で平滑にする。）	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	⑩サンダーケレン	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	⑪高圧水洗浄（150～200kg/cm ² ）	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所						
		②孔内エアーク清掃	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	⑦孔内エアーク清掃	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	※A-2工法を行う場合、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む											
		③ステンレスピン（注入口付）挿入	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	⑧ポリマーセメントスラリー注入	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	参考数量：①一般部分： ②指定部分： ③峽幅部：											
		④ポリマーセメントスラリー注入	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	⑨穿孔跡埋戻し [ポリマーセメントモルタル]	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所												
		⑤穿孔跡埋戻し [ポリマーセメントモルタル]	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	⑩サンダーケレン	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所												
名 称		E 欠損部処理															
記号・仕様		E-1 打抜き面充填工法 [標仕4. 2. 8]		E-2 打抜き面欠損部処理 [標仕4. 2. 3]		E-3 モルタル面欠損部処理 [標仕4. 3. 3]		F 外壁複合改修工法									
改修前	改修後																
		①欠損部はつり等での整形 ②高圧水洗浄（150～200kg/cm²） ③欠損はつり部埋戻し [※ポリマーセメントモルタル・エポキシ樹脂モルタル] ④セメント系下地調整材コテ塗り（1～2mm程度で平滑にする。） ※A-1工法を行う場合、②、④の工程はA-1工法に含む 参考数量：		①欠損部・鉄鉄筋周辺はつり等での整形 ②錆落とし ③高圧水洗浄（150～200kg/cm²） ④防錆処理 ⑤欠損はつり部埋戻し [※ポリマーセメントモルタル・エポキシ樹脂モルタル] ⑥セメント系下地調整材コテ塗り（1～2mm程度で平滑にする。） ※A-1工法を行う場合、③、⑥の工程はA-1工法に含む 参考数量：		①カッター縁切り ②欠損部はつり等での整形 ③高圧水洗浄（150～200kg/cm²） ④欠損はつり部埋戻し [※ポリマーセメントモルタル・エポキシ樹脂モルタル] ⑤セメント系下地調整材コテ塗り（1～2mm程度で平滑にする。） （鉄筋の露出部がある場合はE-2による） ※A-2工法を行う場合、③、⑤の工程はA-2工法に含む 参考数量：		下地補修後 ① プライマー下塗り ② ポリマーペースト中塗り ③ 三軸ネット張り ④ フッシャー付アンカーピン打ち込み ⑤ ポリマーペースト中塗り ⑥ アルミ水切り取付け（L-30×15×2.0 ステンレスビス止@450） ⑦ シーリング打設（MS-2）									
工 程		※A-1工法を行う場合、②、④の工程はA-1工法に含む		※A-1工法を行う場合、③、⑥の工程はA-1工法に含む		※A-2工法を行う場合、③、⑤の工程はA-2工法に含む		参考数量									
		参考数量：		参考数量：		参考数量：		ネット張り									
		参考数量：		参考数量：		参考数量：		水切									
		参考数量：		参考数量：		参考数量：		㎡									
		参考数量：		参考数量：		参考数量：		㎡									

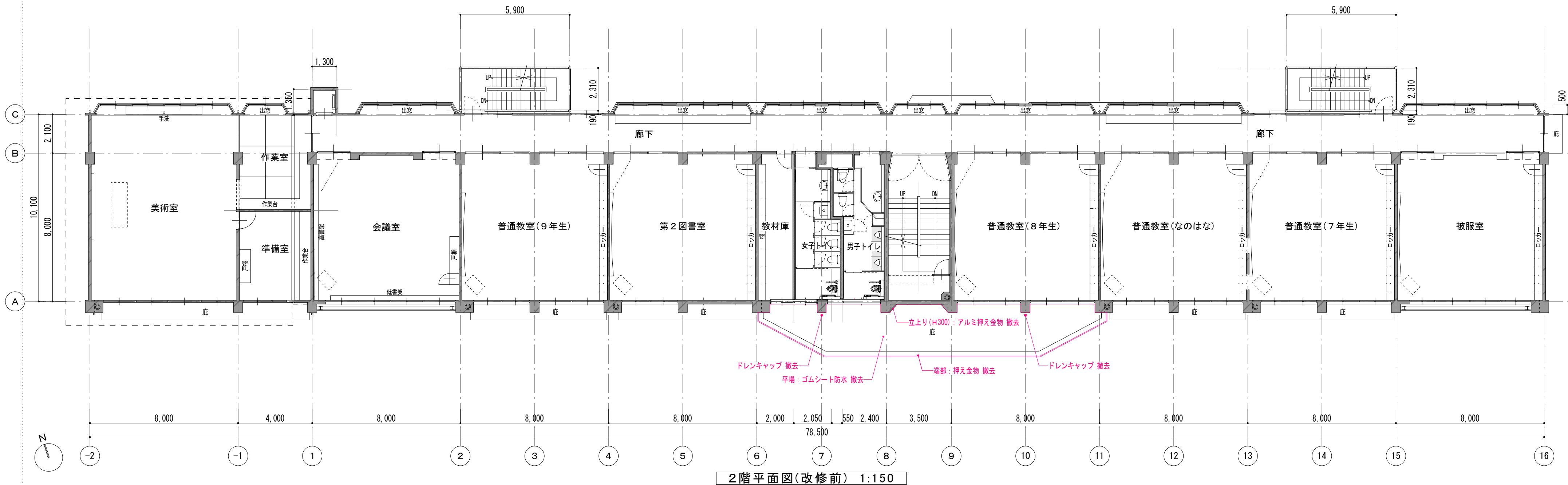
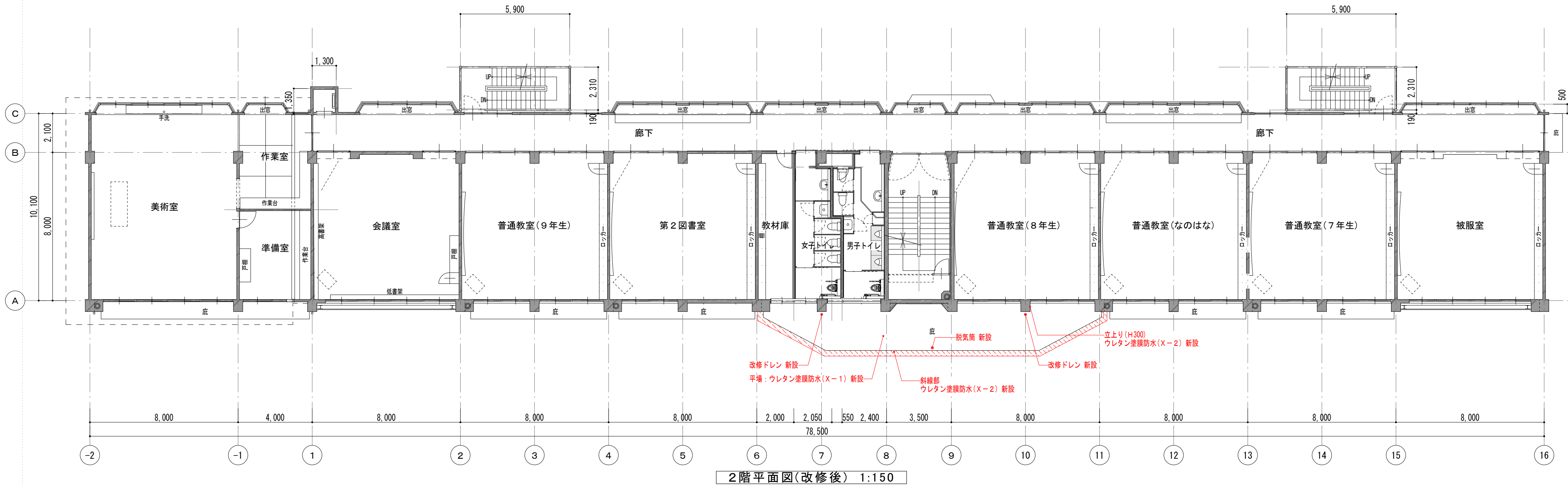
[illegible]

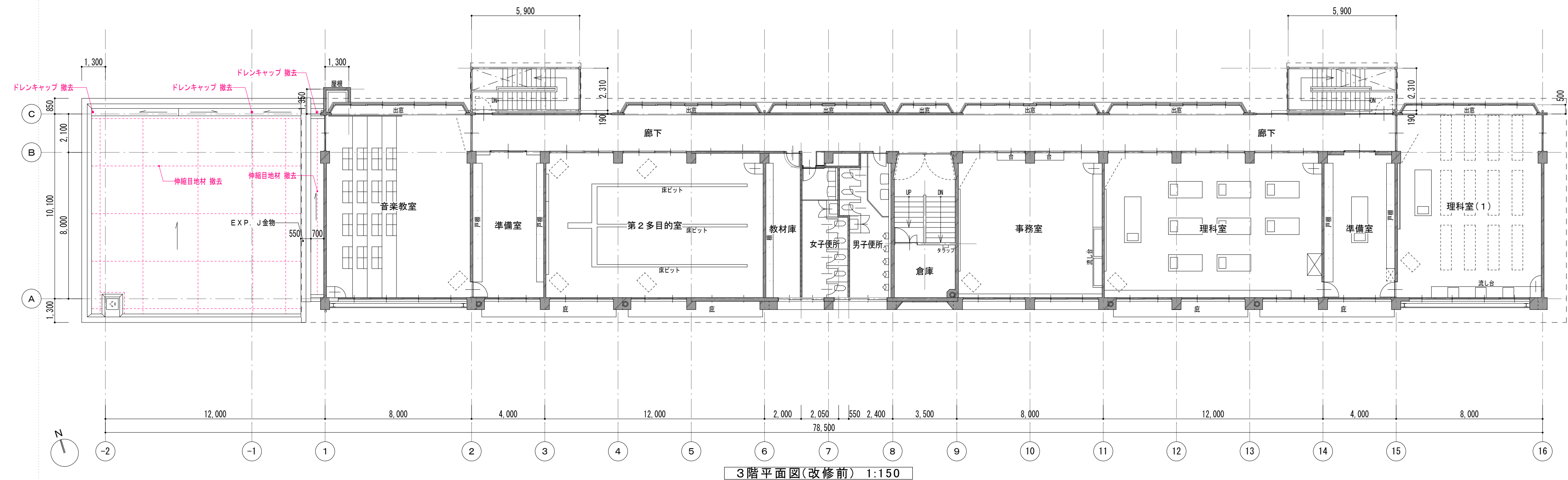
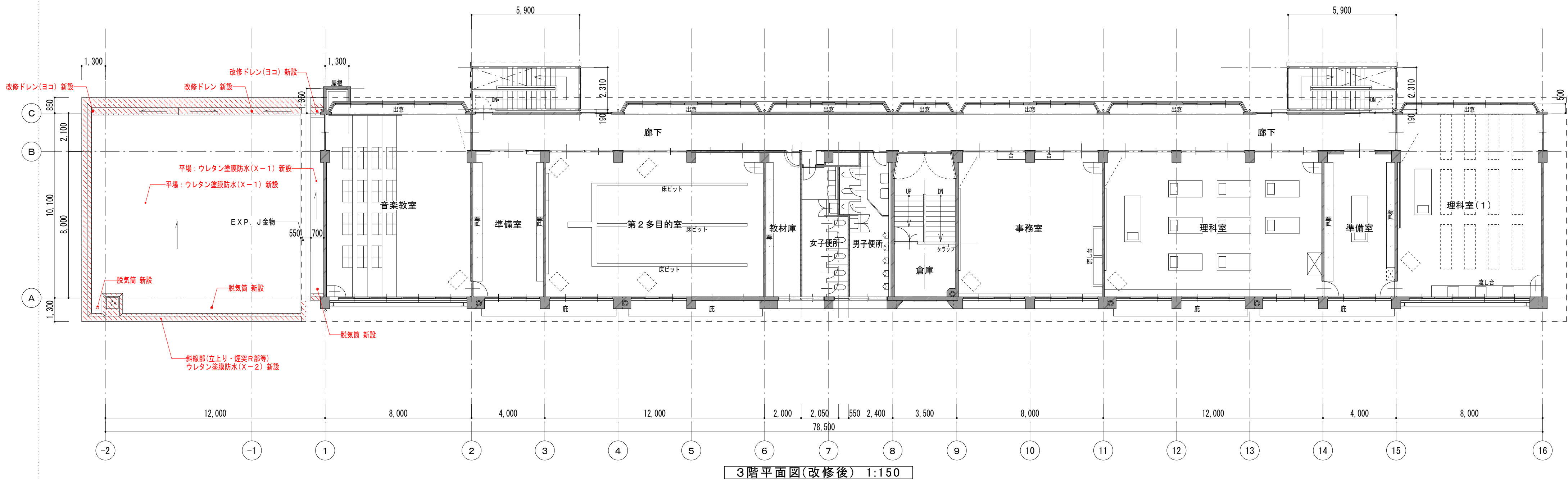
外 部 仕 上 表 (改 修 前 ・ 後)											
部 位		改 修 前		改 修 後		部 位	改 修 前		改 修 後		
屋根 (一般部)		平場：A ㊟防水 軽量C厚60 高圧水洗浄、伸縮目地材(20×20) 撤去 立上り：複層塗材E 防水M金コテ 既設塗膜撤去、高圧水洗浄 吊環：内径120φ19 既設のまま 笠木：防水M金コテ 高圧水洗浄 鼻廻り：防水形複層塗材E M刷毛引き 既設のまま 排水溝：防水M(ラス下地) W400 既設のまま		平場：ウレタン塗膜防水(X－1) 新設 下地調整樹脂M塗共、ガラス発泡骨材入目地処理 新設 SUS脱気筒 新設 立上り：ウレタン塗膜防水(X－2) 新設 下地調整樹脂M塗共 笠木：ウレタン塗膜防水(X－2) 新設 下地調整樹脂M塗共 排水溝：ウレタン塗膜防水(X－2) 新設 下地調整樹脂M塗共		水切・脊摺		防水M金コテ 既設のまま			
屋根 (煙突、ハッチ、PS他)		立上り：防水M金コテ 高圧水洗浄 壁：防水形複層塗材E M刷毛引き 高圧水洗浄 天端：防水M金コテ 高圧水洗浄 リフト屋根：防水M金コテ 既設のまま 屋上ハッチ：スチール製口600 撤去 EXP、J金物：カラー鉄板厚0.8 高圧水洗浄		立上り：ウレタン塗膜防水(X－2) 下地調整樹脂M塗共 壁：複層塗材E 塗替え 天端：ウレタン塗膜防水(X－2) 下地調整樹脂M塗共 屋上ハッチ：SUS製口600 新設 EXP、J金物：DP(1級) 塗替え(RB種)		その他		校章：モザイクタイル 撤去、高圧水洗浄		複層塗材E 新設 下地調整塗共	
軒裏		防水形複層塗材E M刷毛引き 既設のまま									
外壁		防水形複層塗材E M刷毛引き 一部高圧水洗浄		複層塗材E 一部塗替え		屋外階段		屋根：石綿スレート(大波板)葺き、軒先R部共 既設のまま 水切：カラー鉄板厚0.8 既設のまま 鉄骨部(柱、梁、ブレース、ささら桁、階段、手すり、母屋他)：SOP 塗膜撤去 踊り場床：M金コテ 高圧水洗浄		屋根：カラーGL厚0.5(カバー工法)葺き 新設、軒先R部共 立上り水切：カラーGL厚0.5加工 新設(採用ケミカル面戸、エブロン面戸共) ケラバ包み：カラーGL厚0.5加工 新設 新設 水切：カラーGL厚0.5加工 新設 新設 鉄骨部：DP(1級)塗替え 下地調整 踊り場床：ウレタン塗膜防水(防滑) 新設 下地調整共	
柱型 梁型		防水形複層塗材E M刷毛引き 既設のまま				倉庫		天井：階段鉄骨部 SOP 塗膜撤去 壁：CB素地 既設のまま 床：C金コテ 既設のまま		天井：DP(1級)塗替え	
根廻り		M刷毛引き 既設のまま				ポンプ庫		屋根：スレート(小波)葺き 既設のまま 軒裏：屋根、鉄骨母屋現し 既設のまま 壁：スレート(小波)張り 既設のまま 床：C金コテ 既設のまま			
玄関庇		平場：ゴムシート防水 撤去 ケレン清掃共 立上り(H300)：ゴムシート防水 撤去 ケレン清掃共 M下地、押え金物撤去 端部：押え金物 撤去 底裏：アルミスバンドレル		平場：ウレタン塗膜防水(X－1) 下地調整樹脂M塗共 立上り(H300)：ウレタン塗膜防水(X－2) 下地調整樹脂M塗共		外構		A ㊟舗装厚50、路盤厚150 一部撤去		A ㊟舗装厚50、路盤厚150 一部新設	
樋		ルーフドレン：タテ型φ100 鋳鉄製コールタール焼付 ドレンキャップ 撤去 軒樋：VPφ100 既設のまま 保護管：SOP塗 SGPφ120H2000 既設のまま		ルーフドレン：改修ドレン 新設							

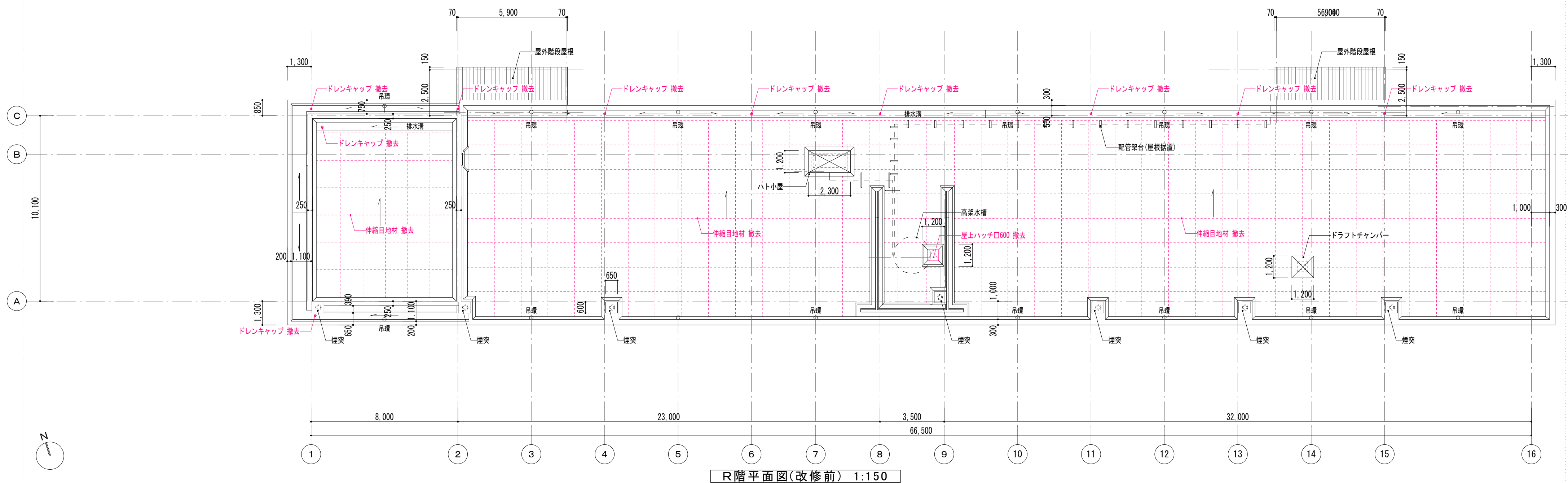
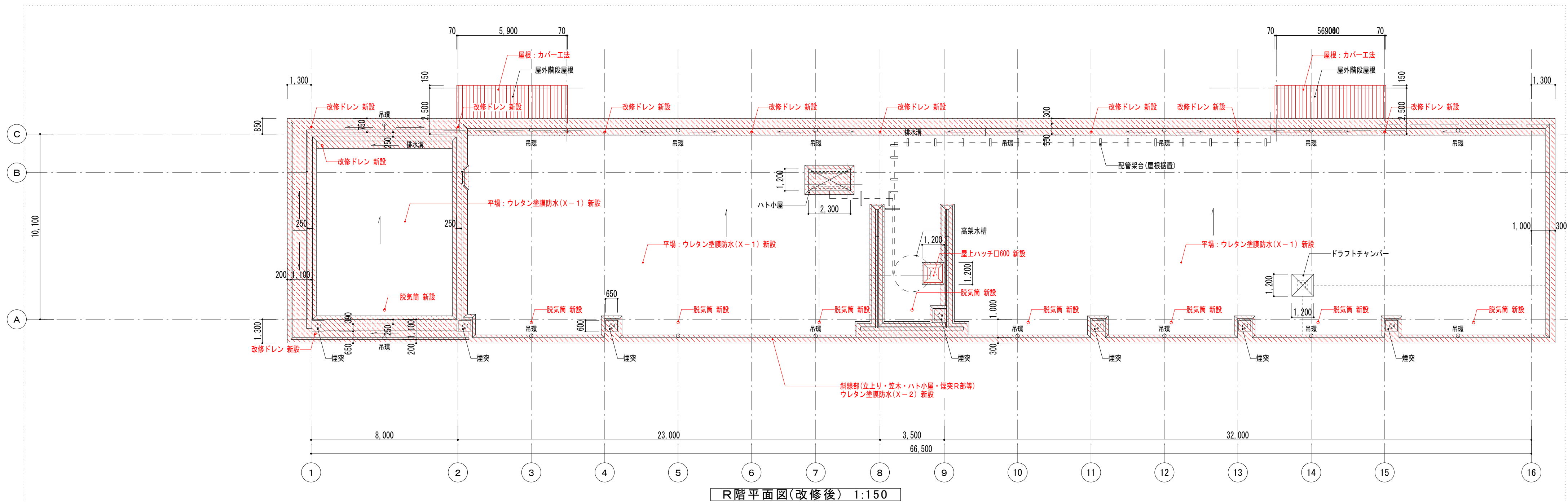


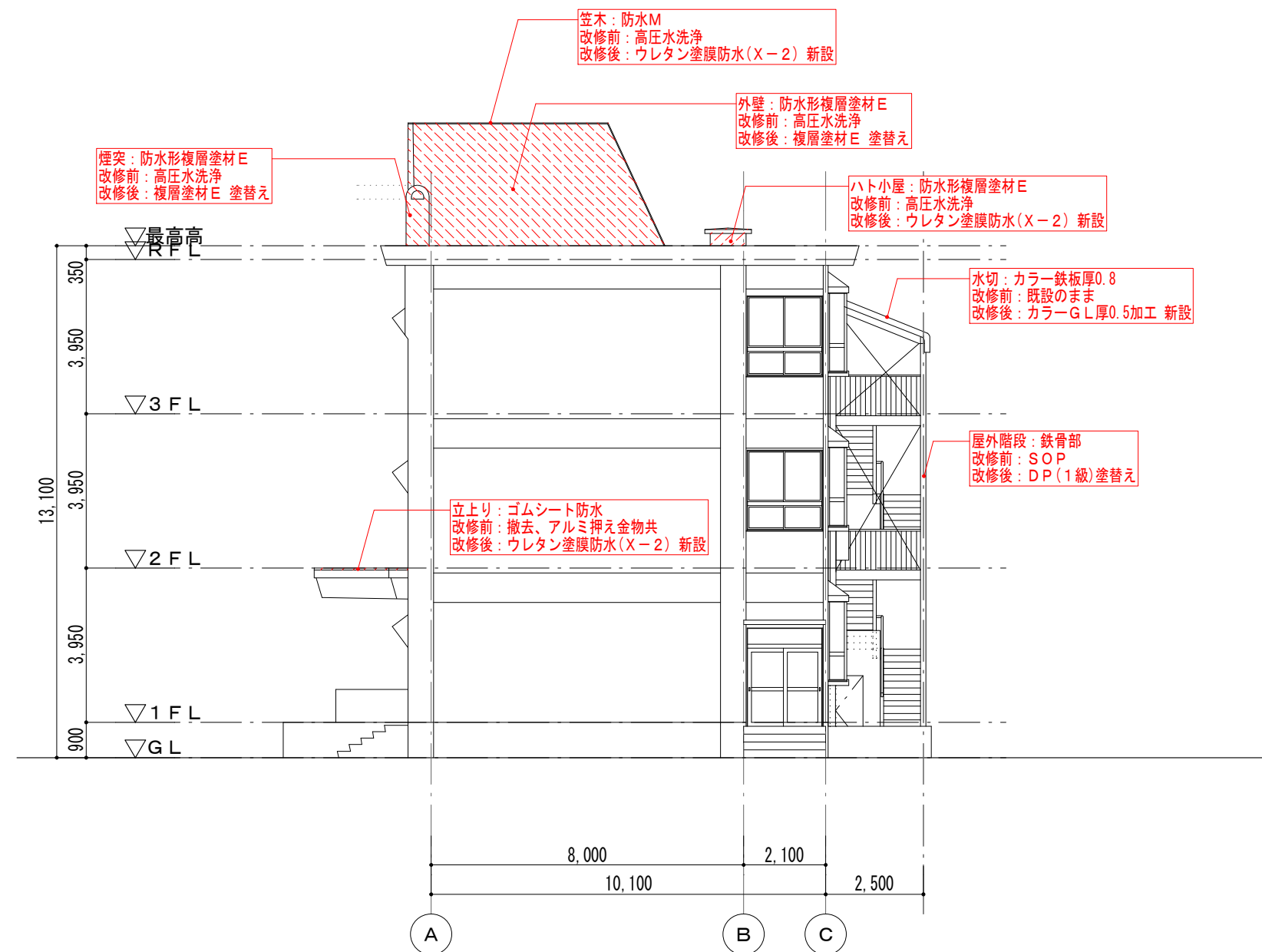
付近見取図

配置図 1:500

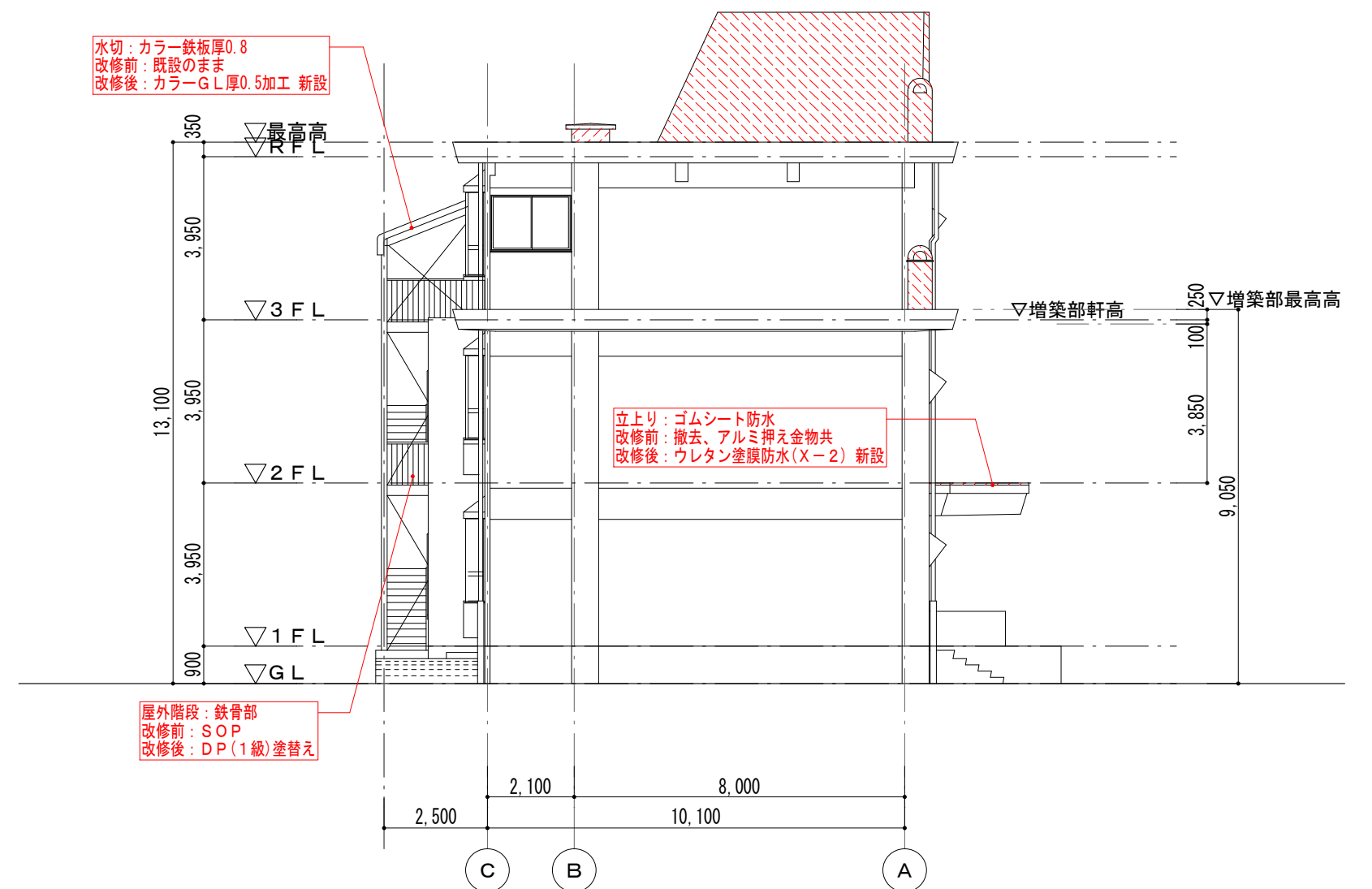




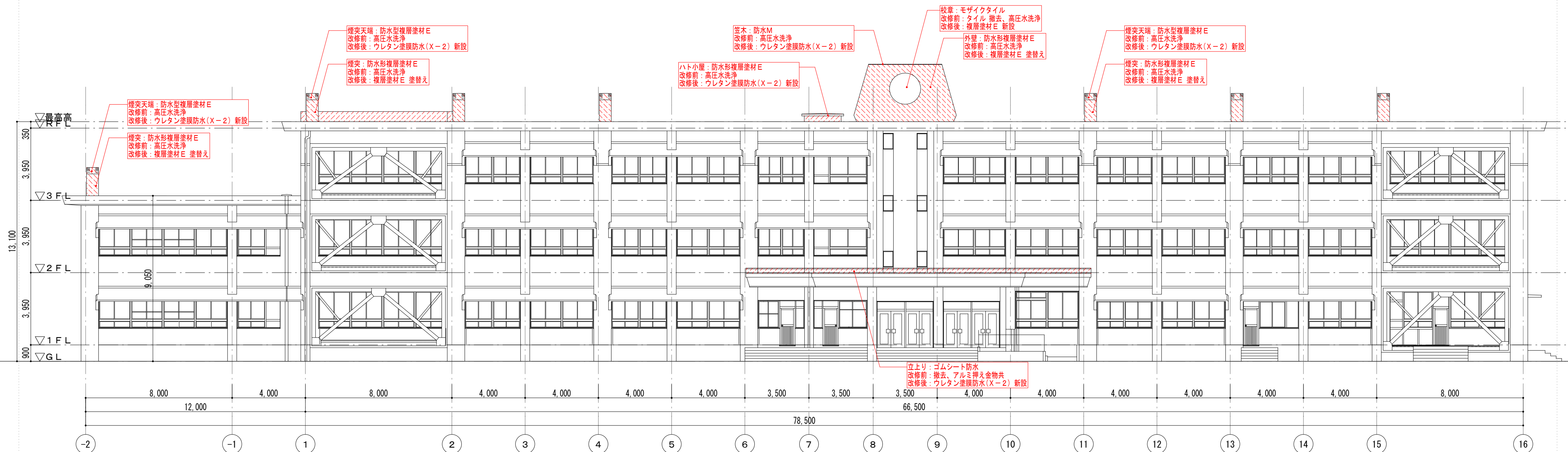




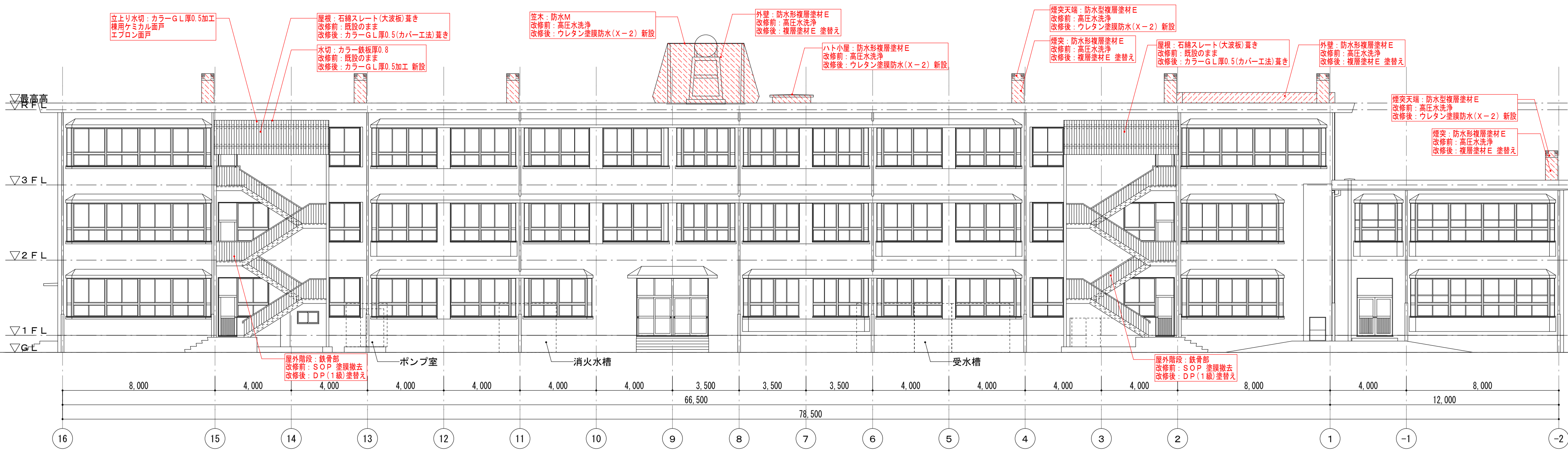
東側立面図 1:150



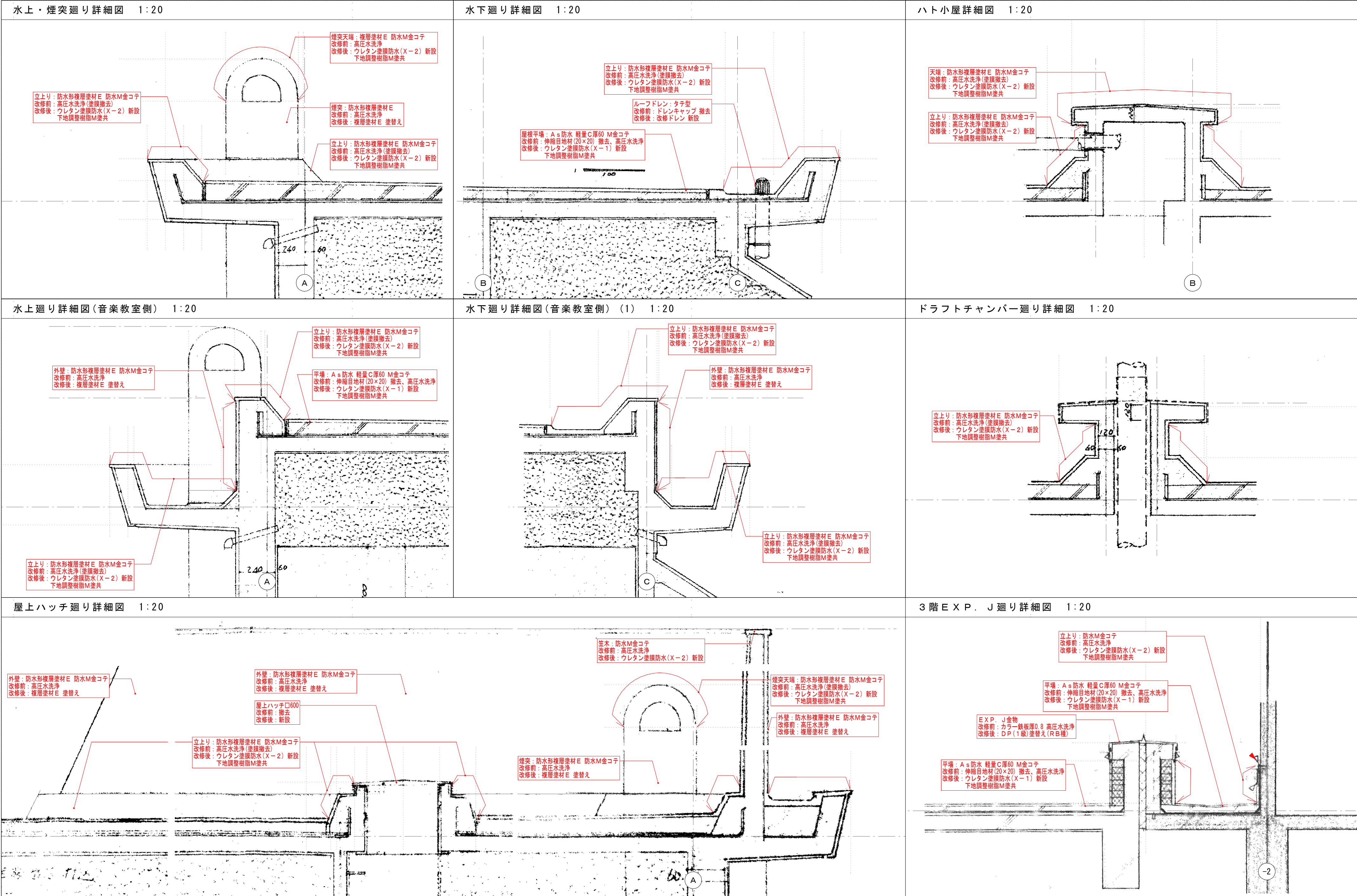
西側立面図 1:150



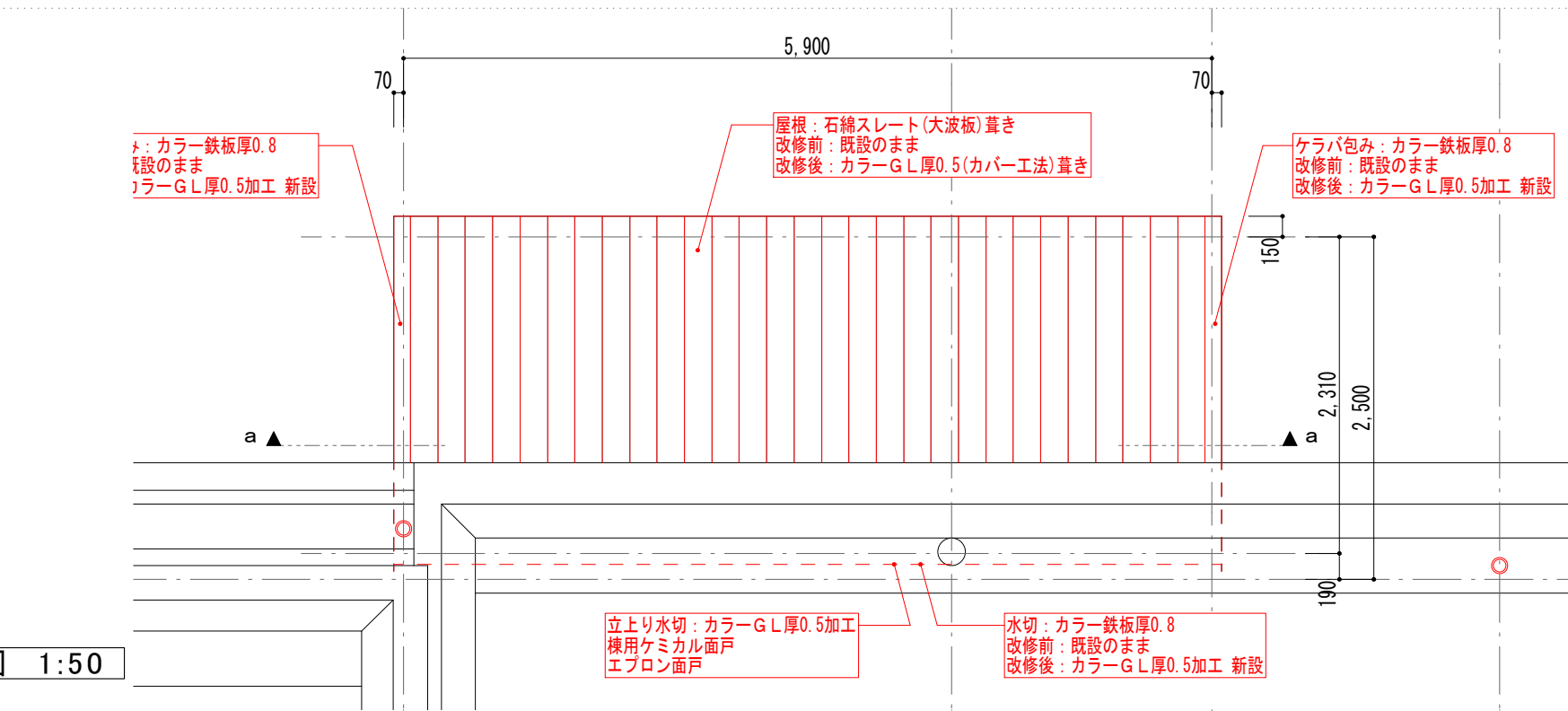
南側立面図 1:150



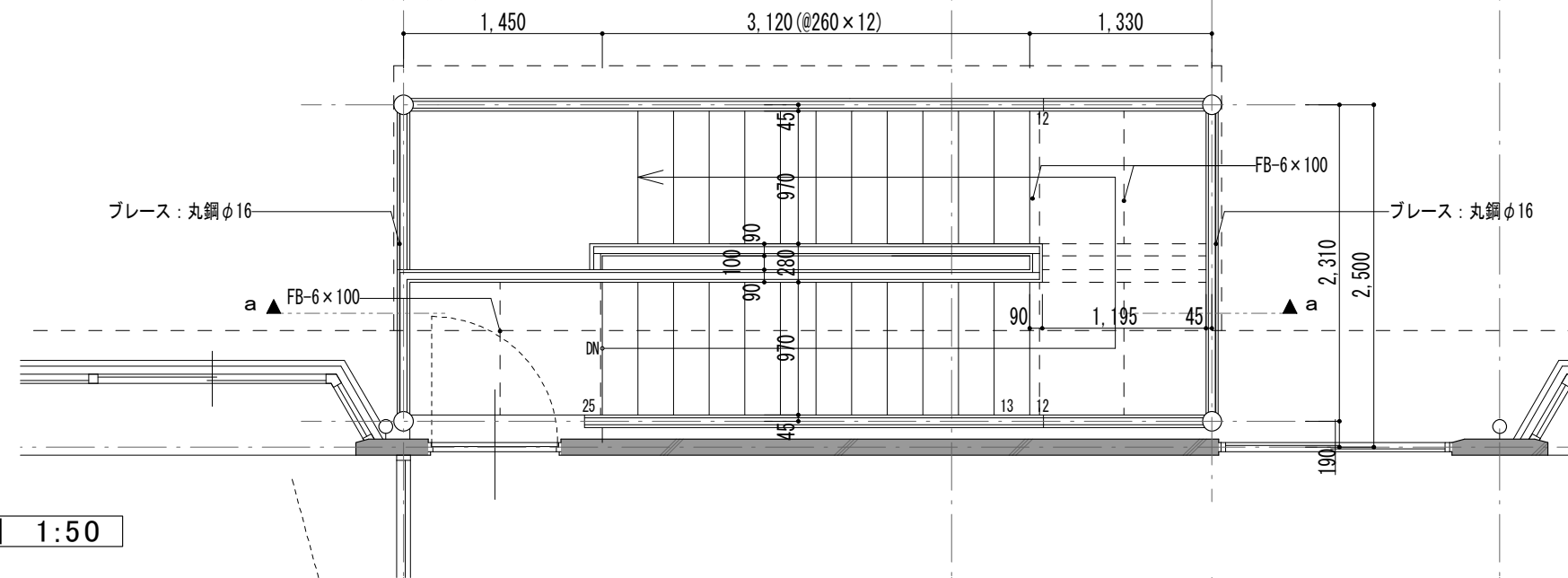
北側立面図 1:150



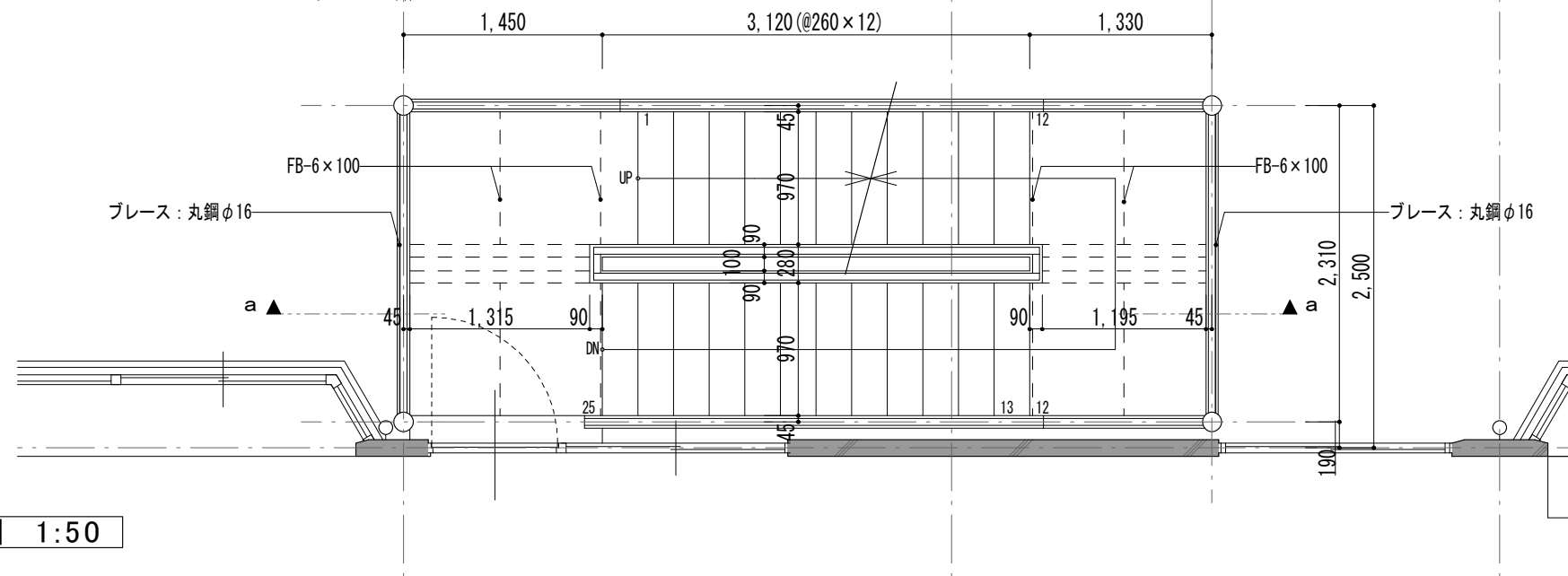
R階平面図 1:50



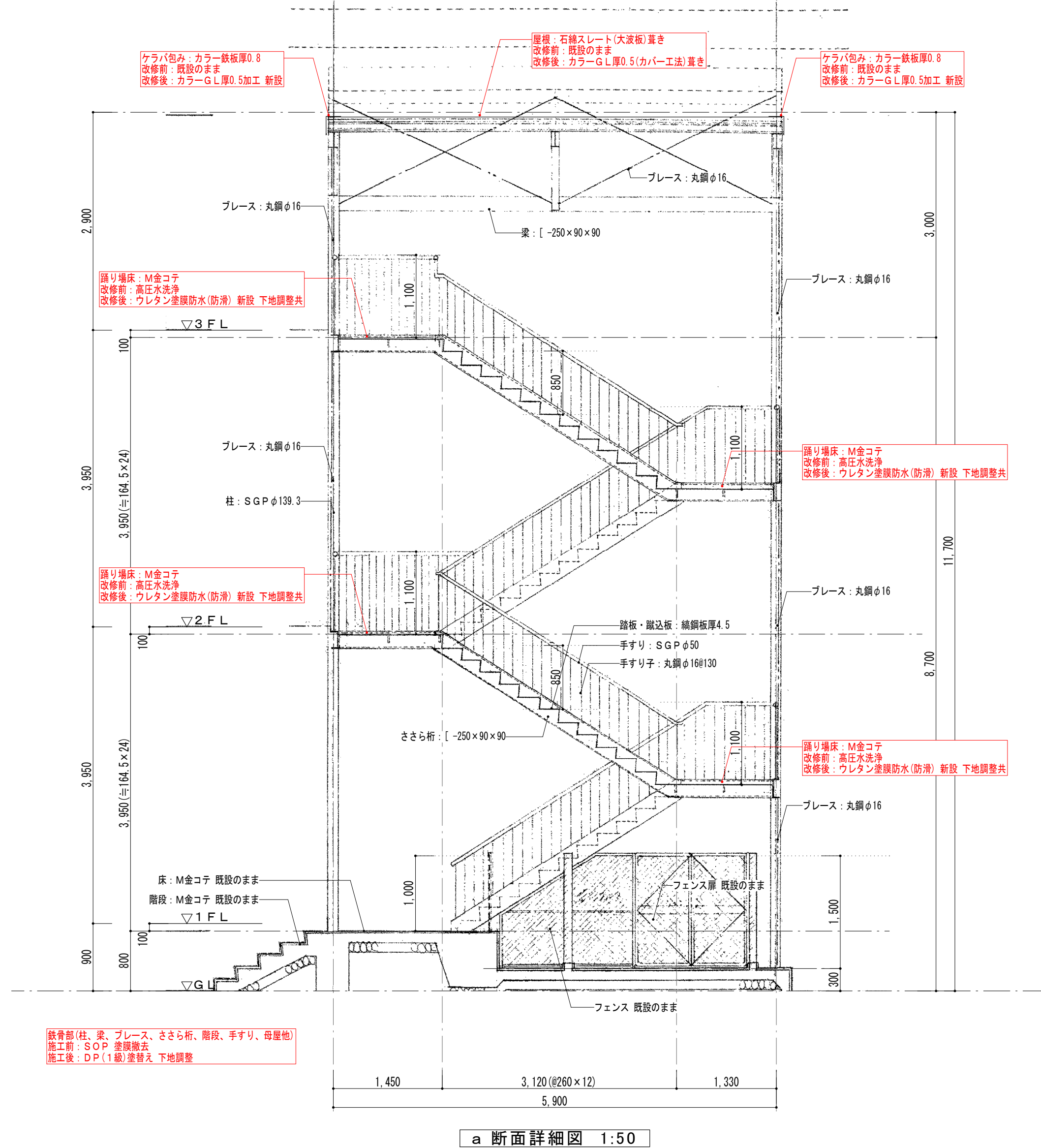
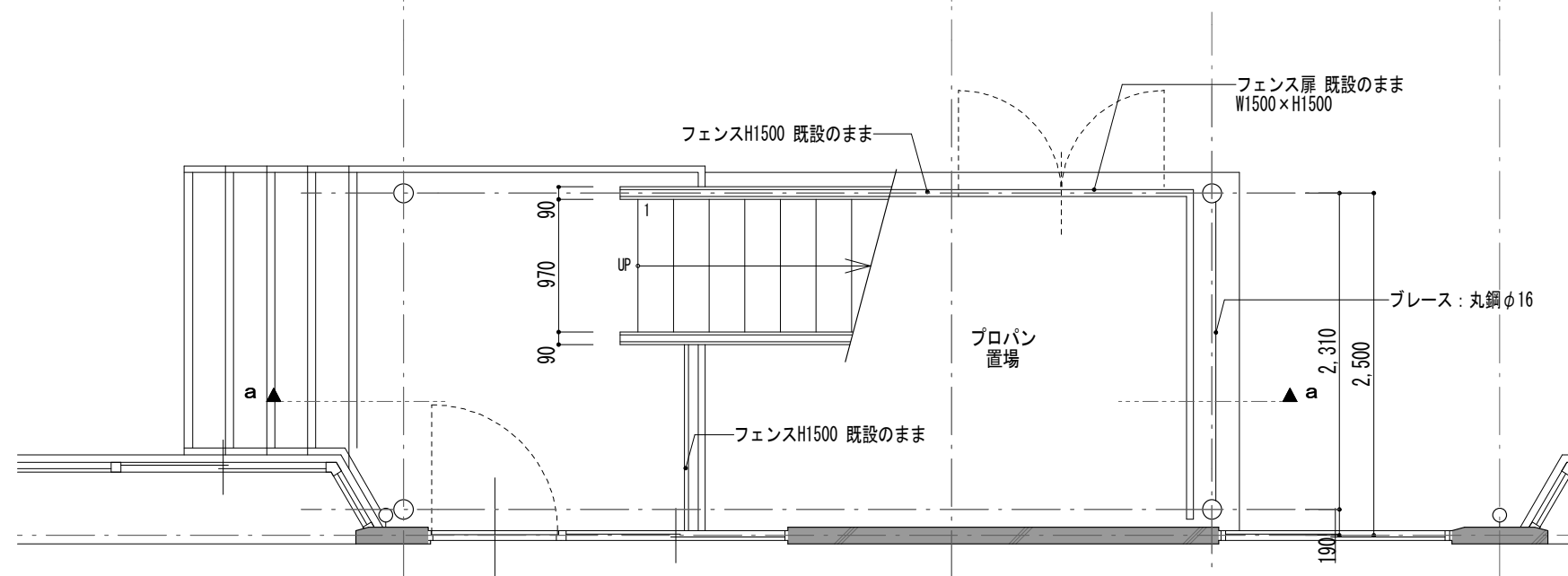
3階平面図 1:50

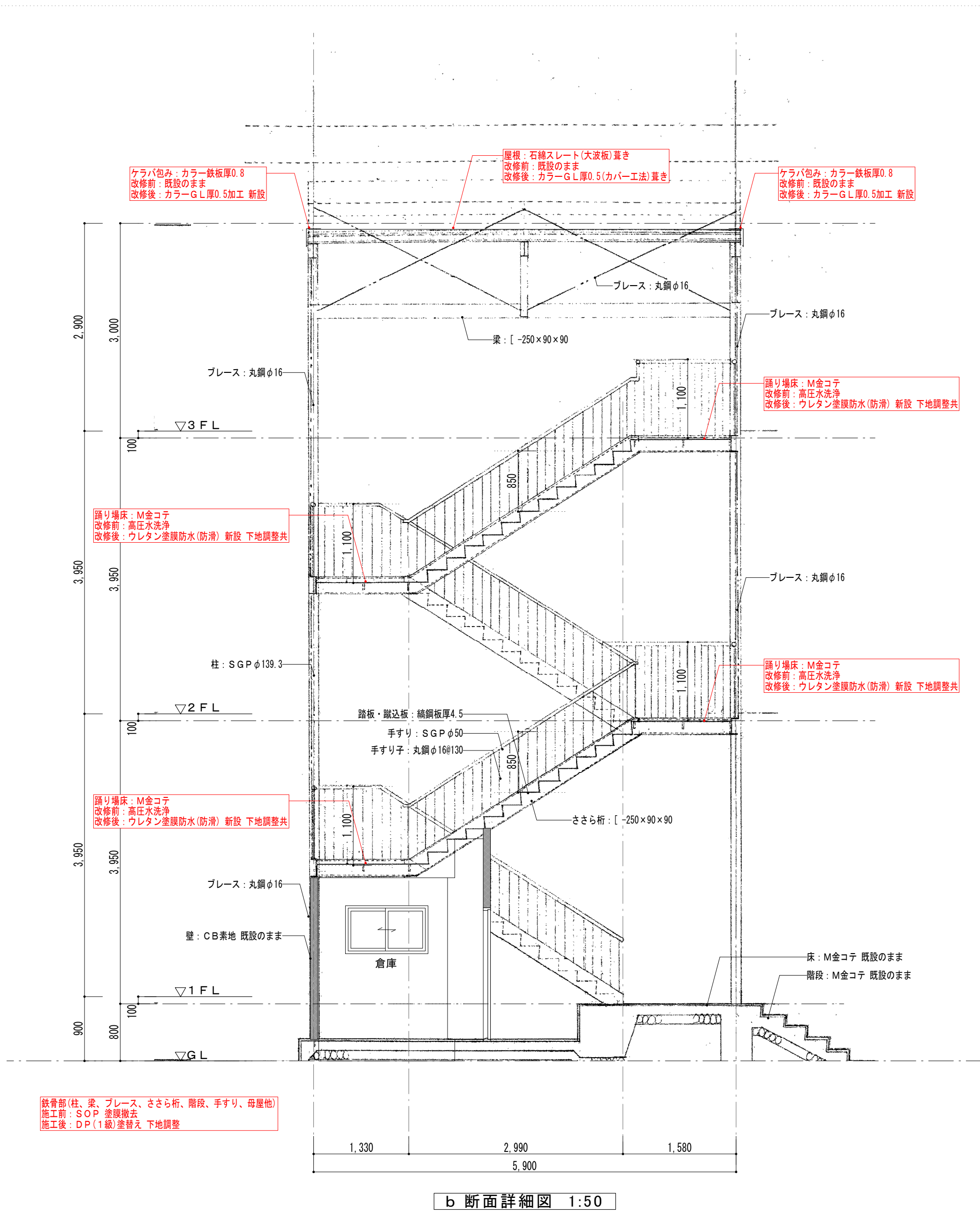
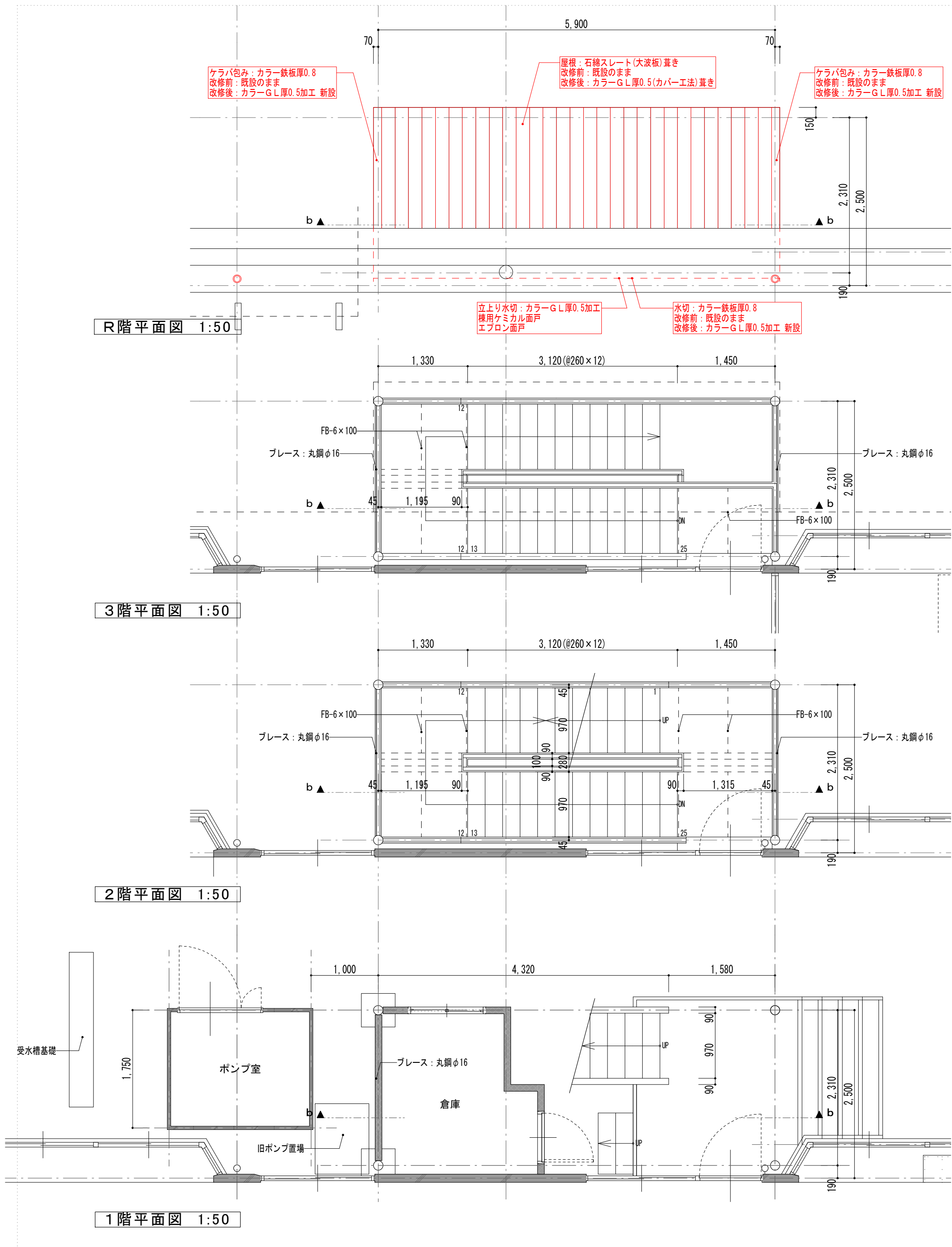


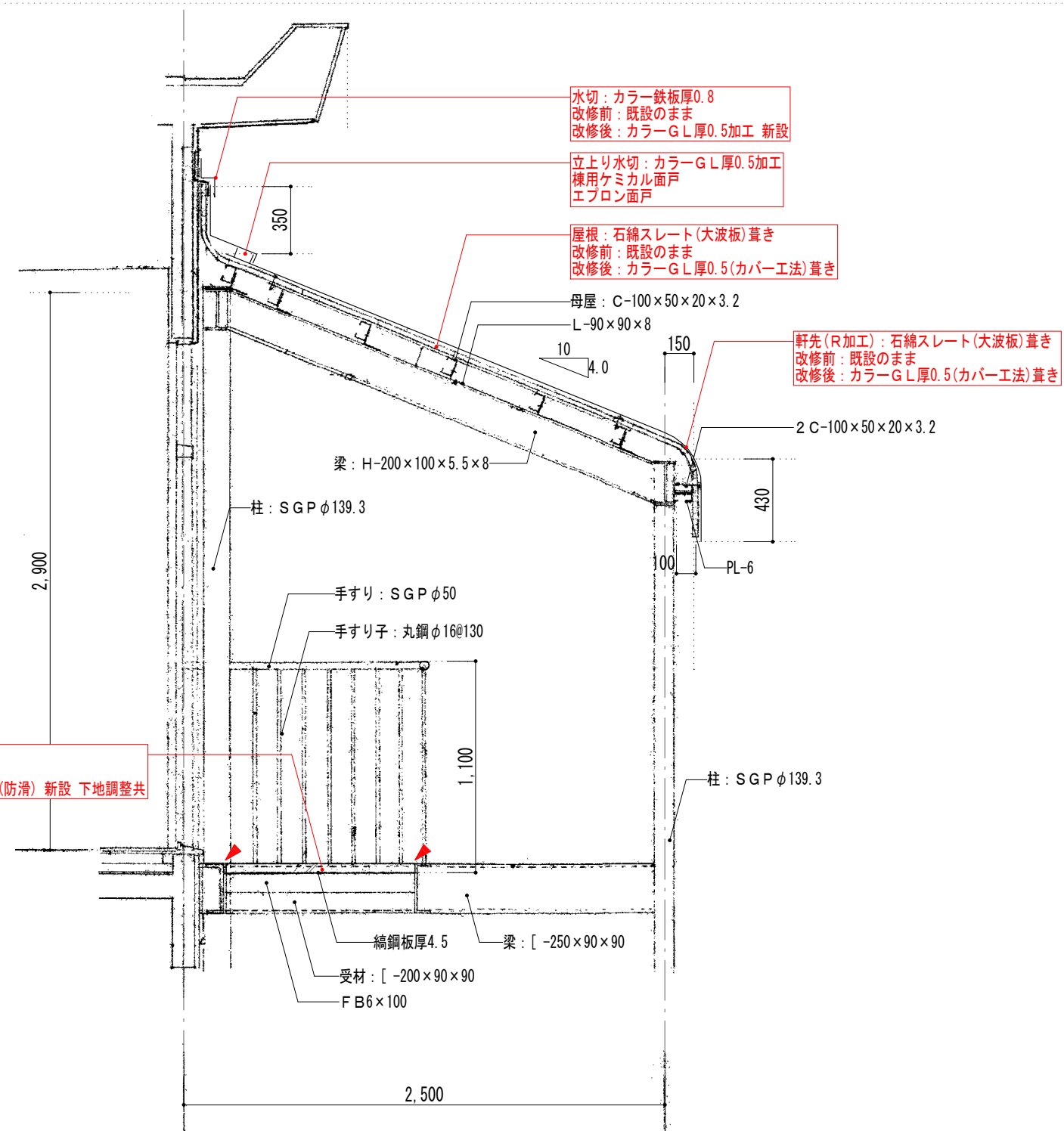
2階平面図 1:50



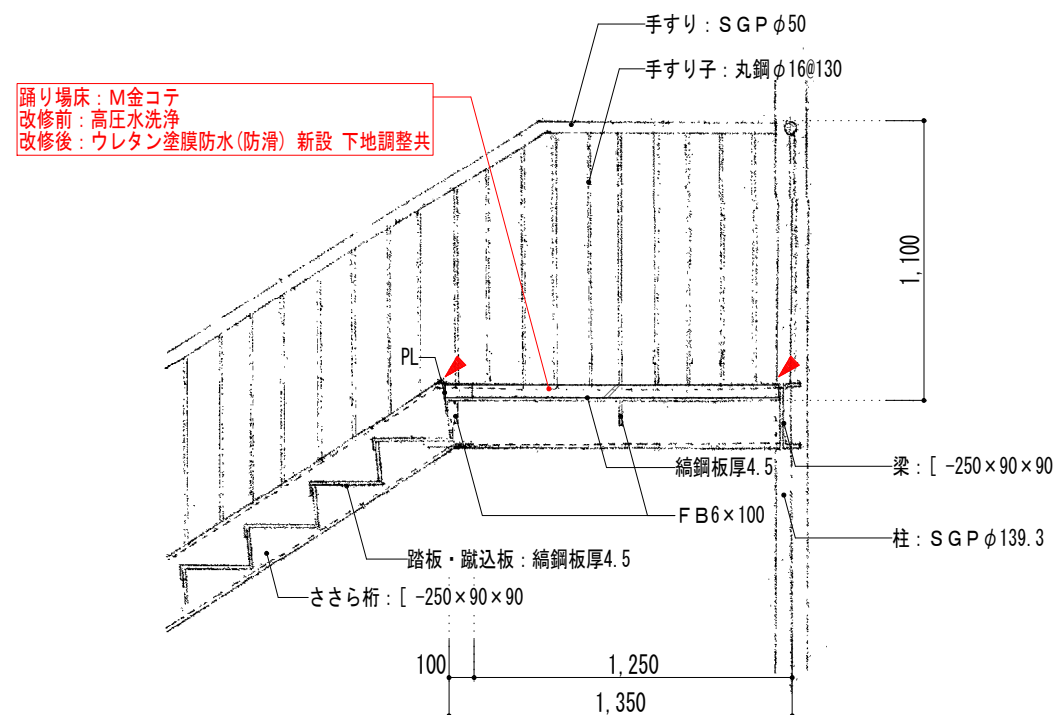
1階平面図 1:50



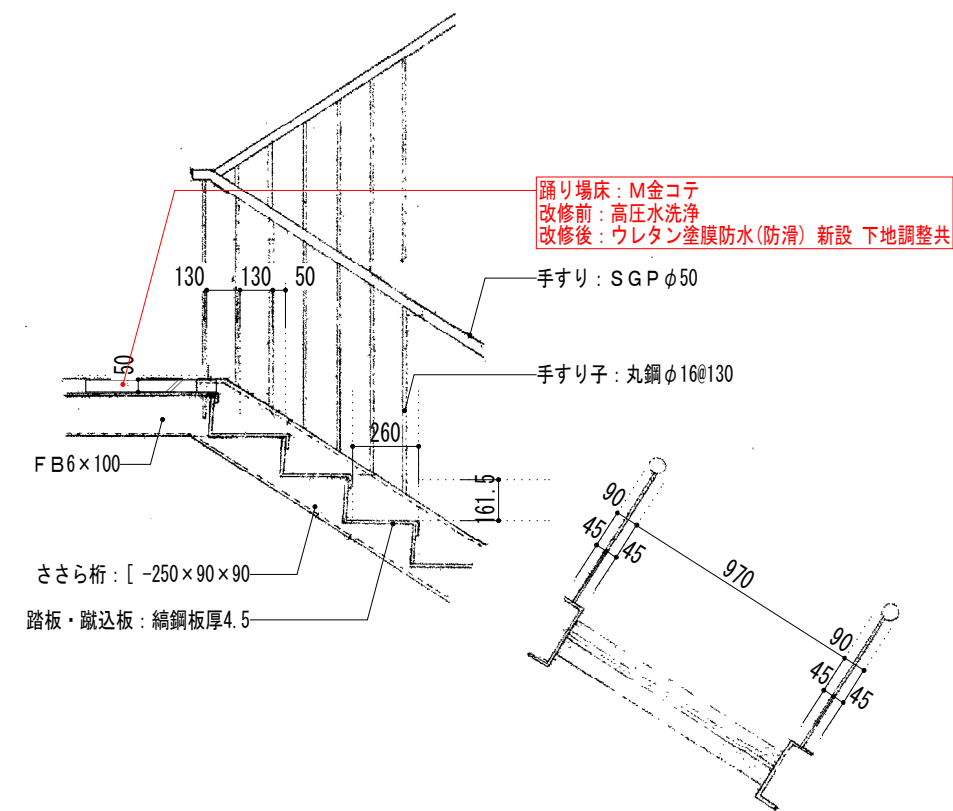




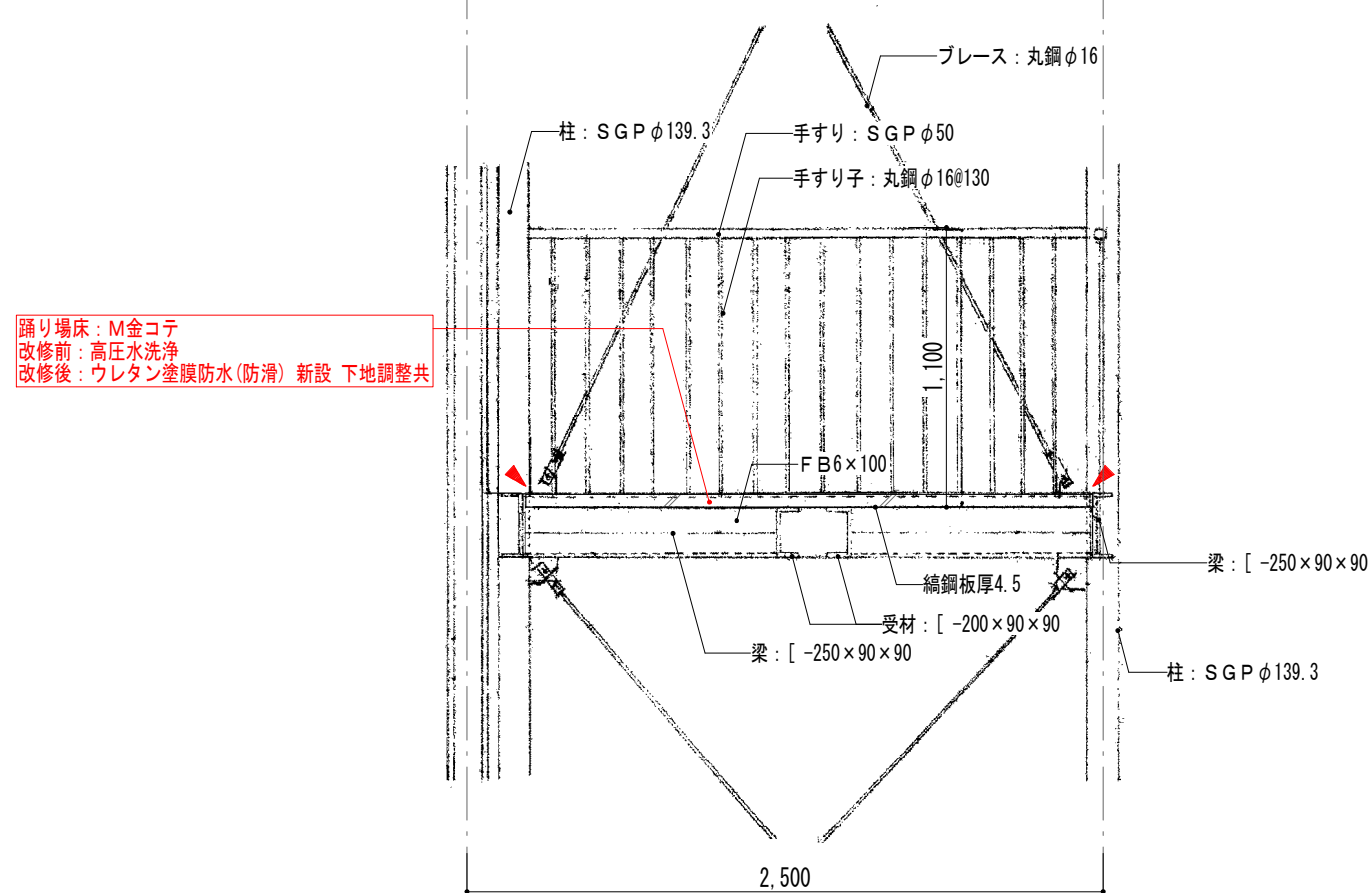
屋根詳細図 1:30



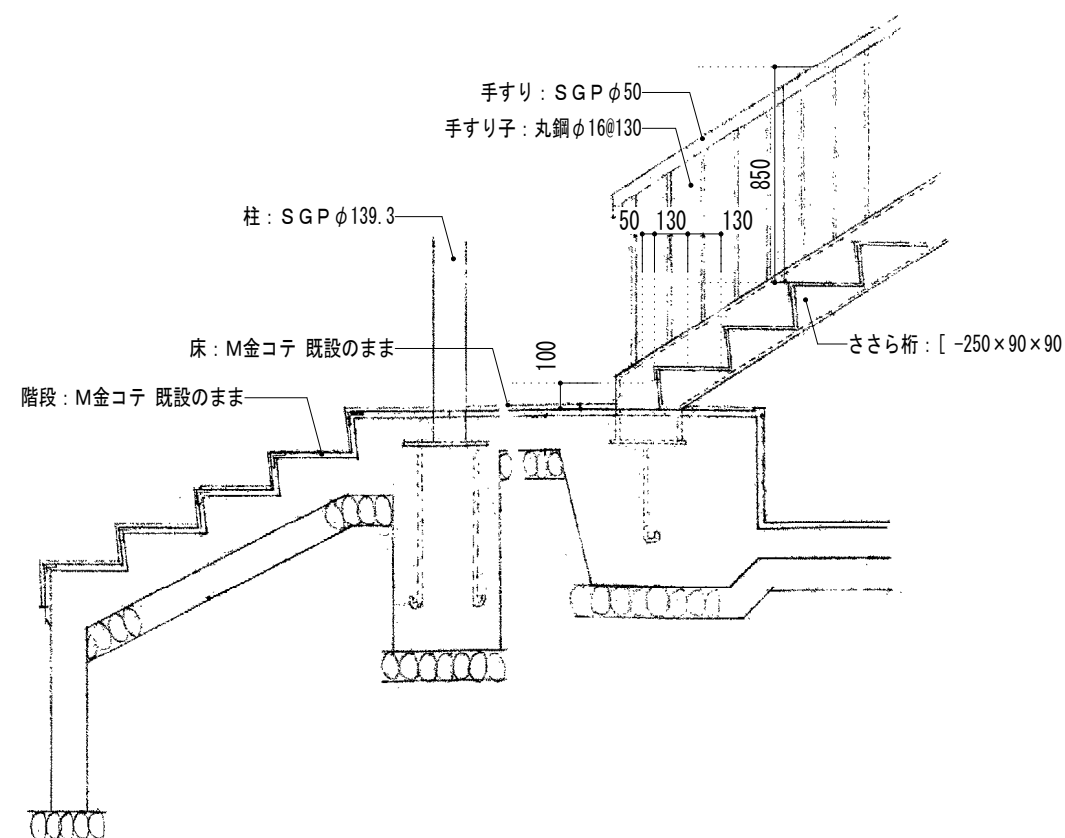
踊り場詳細図 1:30



手すり詳細図 1:30

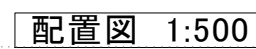
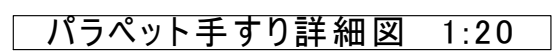


ブレース詳細図 1:30



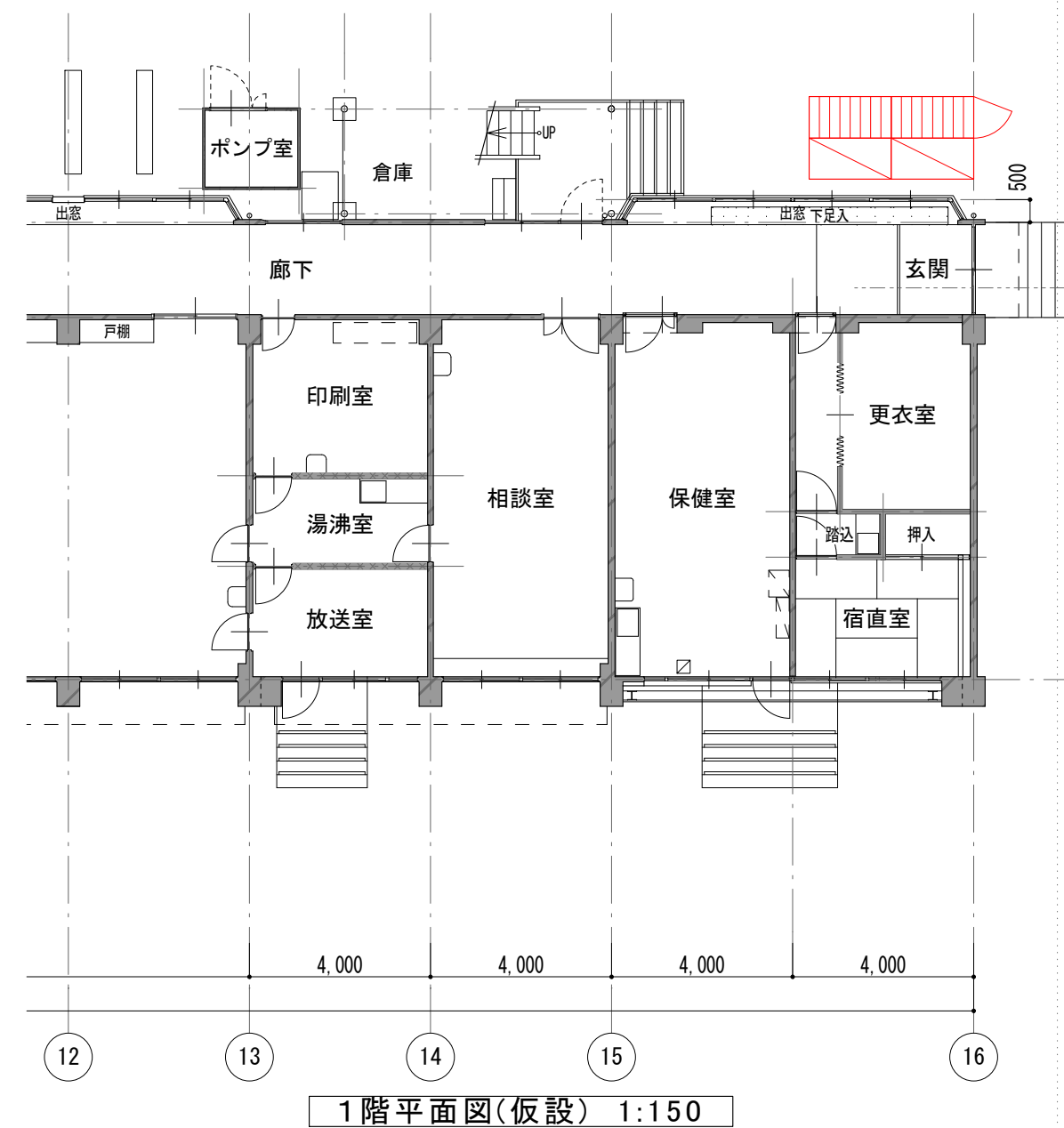
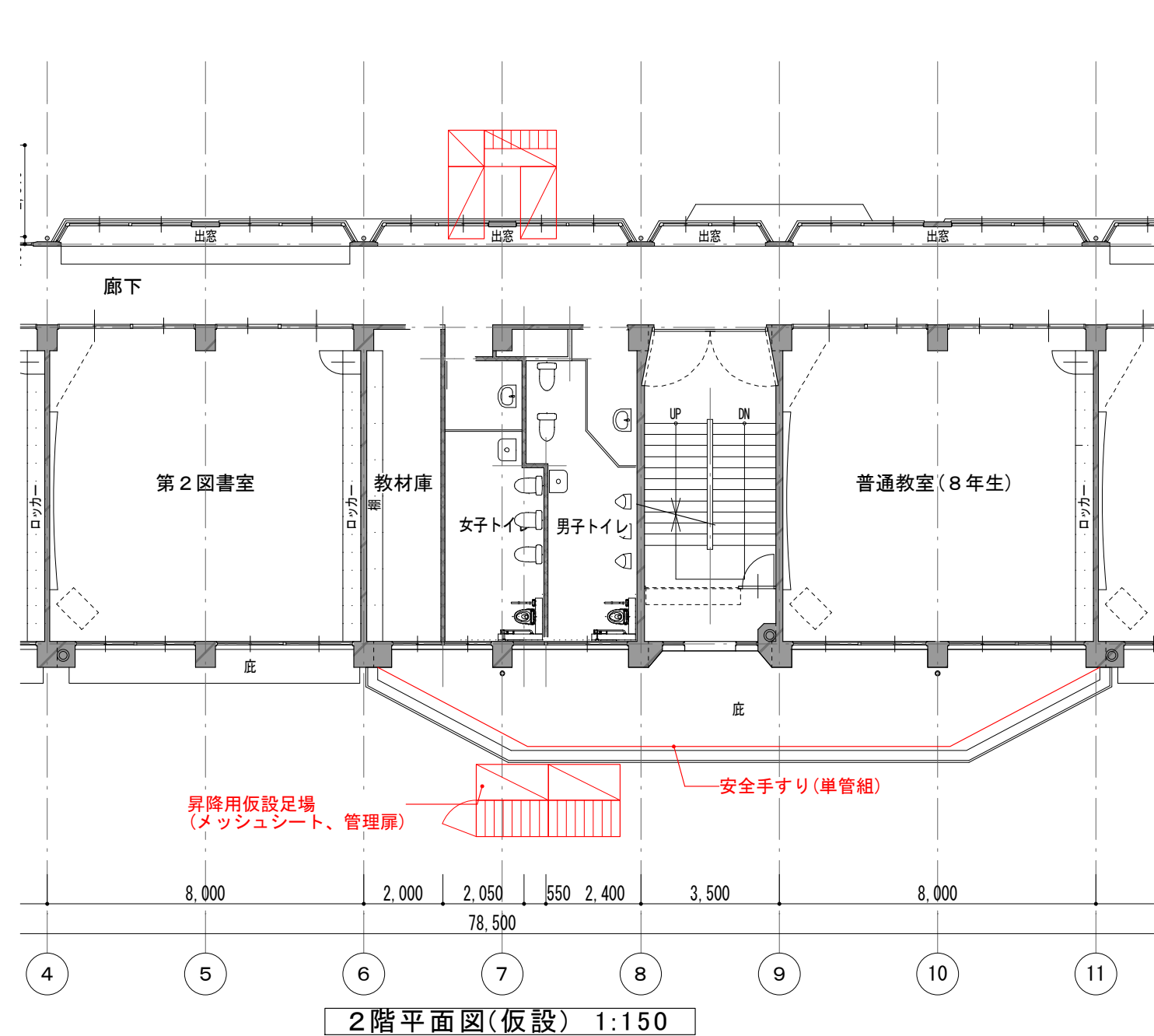
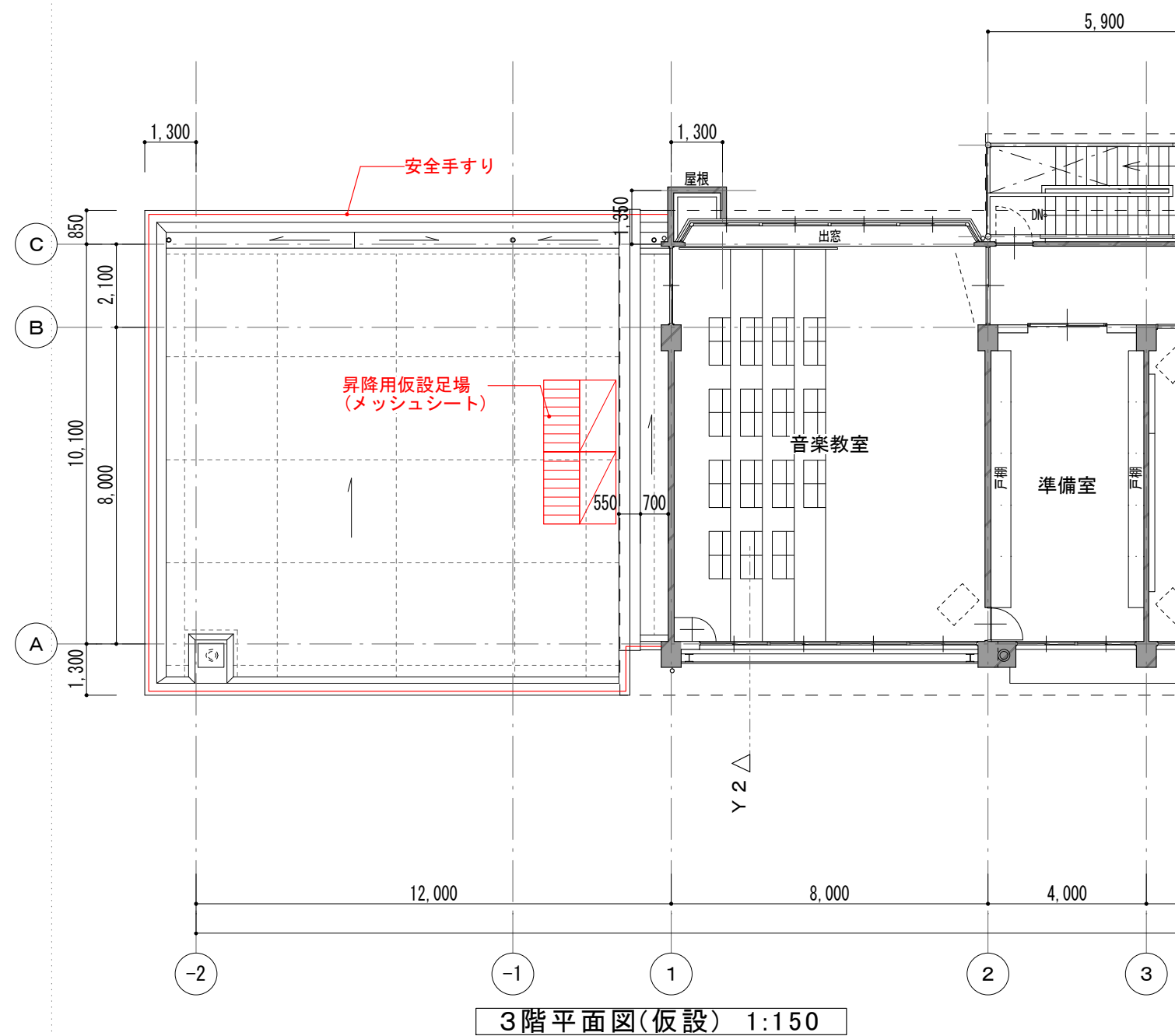
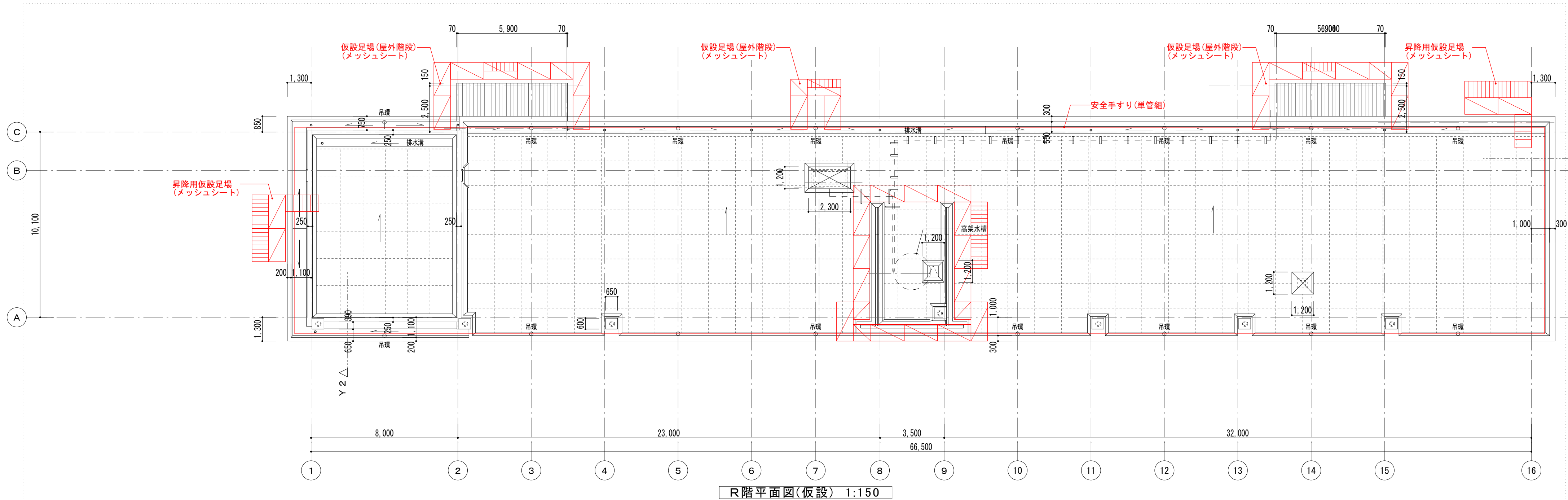
柱脚詳細図 1:30

鉄骨部(柱、梁、ブレース、ささら桁、階段、手すり、母屋他)
施工前：SOP 塗膜撤去
施工後：DP(1級)塗替え 下地調整



特記事項

- ・仮設箇所に記載された仮設資材等は、発注者の考え方を示したものであっても、実際の施工においては、事前に詳細な調査・協議・検討を行い、より安全な施工に努めること。
- ・材料搬入時、大型車両の出入り時には、交通誘導員を配置すること。
- ・基本的には作業員は、外部より施工箇所にアクセスすること。ただし、工費上やむを得ず校舎内を通る場合は、事前に学校関係者に連絡すること。
- ・仮設事務所は備品、電気設備、ＯＡ機器、インターネット環境など備え置き、管理者が円滑に現場管理、書類作成業務等を行う組める環境とすること。



Ⅰ．工 事 概 要

- 工事名称 豊平学園第2校舎屋上防水等改修工事
- 工事場所 広島県山県郡北広島町志見10914
- 建物概要

建 物 名 称	構 造	階 数	建築基準法による 延べ面積（㎡）	消防法施行令 別表第一の区分	備 考
豊平学園第2校舎	R C造	3階	2024.00	(七)項	既存

Ⅱ．工 事 仕 様

- 工事種目 (○印の付いたものが対象工事種目)
- 指定部分 ※ 無し ・ あり (工期 令和 年 月 日)
対象部分：(改修工事の場合の部分使用 ※ 無し ・ あり)
- 共通仕様
 - 特記仕様及び図面に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房庁営繕部の「公共建築物標準仕様書（電気設備工事編）（最新版）」（ただし改修工事の場合は「公共建築物改修工事標準仕様書（電気設備工事編）（最新版）」）（以下「標準仕様書」という。）及び「公共建築物設備工事標準図（電気設備工事編）（最新版）」（以下「標準図」という。）による。
 - 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。
 - 本工事は工事中及び完成後に応じ次の調査を行うため、発注者より連絡があれば対応すること。
ア 公共事業労務費調査…工事中に実施（調査票の記入提出、発注者実施への協力等）
イ 契約不適合調査…建設工事請負契約約款第4条5に定める期間内
- 特記仕様
 - (項目は、番号に○印の付いたものを適用する。ただし、○印のない場合は※印を適用する。)
 - 特記事項のうち選択する事項は○印の付いたものを適用する。ただし、○印のない場合は※印を適用する。
 - 標準仕様中で「選択がなければ、」以下に具体的な材料・品質性能・工法検査方法等を明示している場合にあって、それらが関係法令等（条例含む）に抵触する場合には、関係法令等の遵守（1.1.13）を優先する。

項 目	特 記 事 項
① 施工図等	別契約の関係工事との取合いを十分に打合せ、各現場代理人承認の上で提出する。なお当該建築物の取得する施工図の著作権に係わる当該建築物に限る使用权は、発注者に移譲するものとする。 現場説明書による。
② 施工条件	建築工事安全施工技術指針及び建設工事公衆災害防止対策要綱に基づき、工事現場の安全対策に関する具体的な工事安全計画書を監督職員に提出する。
③ 工事安全計画書	施工に先立ち、改修工事関連（施工計画により既存性能を損なうおそれのある）部分の事前調査を行い監督職員に報告書を出す。（ ） 調査を行う前に監督職員に調査計画書を出す。
④ 施工調査	撤去する機器類等について、製造年、品番等を確認し特別管理産業廃棄物の有無を調査し、監督職員に報告する。・微量PCB含有有機溶剤（変圧器・安定器・石綿含有設備資材材（配線用遮断器））
⑤ 発生材の処理	引渡しを要するもの ※無 ・有（金属類・盤類・電線、ケーブル・（PCB使用機器・石綿含有設備資材材（配線用遮断器））） 特別管理産業廃棄物 ※無 ・有 ・本工事において調査を行う。 特別管理産業廃棄物・石綿含有設備資材材（配線用遮断器） 特別管理産業廃棄物は関係法令に従って適切に処理する。 工事中、特別管理産業廃棄物が発生すると判明した場合、その処理方法は監督職員と協議するものとする。 ① PCB使用機器 ※ 無 ・ 有 ・ 未調査 撤去するPCB使用機器の分析を行う。 分析費（※別途（本工事）） PCB小機器収納容器（※別途（本工事）） ② 石綿含有設備資材材、石綿含有建材 ※ 無 （有 ・ 未調査） 撤去する石綿含有設備資材材の分析を行う。 分析費（※別途（本工事）） 放射性質物質を含むイオン化式感知器 ※ 無 ・ 有 製造業者又は販売業者に回収を委託する。（ ） 六フッ化硫黄（SF6）ガス ※ 無 ・ 有 有ガス絶縁開閉器、ガス絶縁変圧器等受変電機器に含まれるSF6ガスは、製造者又は有ガス回収業者に抜き取り及び処理を委託する。（ ） 再生資源化を図るもの ※ 無 ・ 有（蛍光管・HIDランプ・小型二次電池） （1）本工事で発生した建設廃棄物は、広島県（環境県民局）及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）が、廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設（許可対象とならない中間処理施設）にあつては、廃棄物処理法に定められた基準に従った適正な施設）で処理すること。ただし、建設廃棄物が、破砕等（選別を含む）により、有用物となった場合、その用途に応じて適切に処理するものとする。 （2）本工事における再生資源化に要する費用（運搬費を含む処分費）は、（1）に掲げる施設のうち受け入れ条件が合うものの中から、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になるものを見込んでいく。従って、正当な理由がある場合は除き再生資源化に要する費用（単価）は変更しない。 （3）本工事で発生する建設廃棄物のうち、広島県内の最終処分場に搬入する建設廃棄物については、広島県産業廃棄物埋立処分場課されるので、適正に処理すること。なお、本工事で発生した、広島県産業廃棄物埋立処分相対額を見込んでいる。 （4）本工事に使用する機材等は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。ただし、製造業者等が記載されている場合に同等品を使用する場合は、あらかじめ監督職員の承認を受ける。 また、国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（グリーン購入法）に基づき策定された「広島県グリーン購入方針」に掲載されている品目については、他の特
⑥ 機材の品質等	

記事項及び図面表記の範囲内で、環境負荷を低減できる材料を優先的に選定するよう努めるものとする。

(2) 別表－1に示す機材等を使用する場合は、次の①から⑥すべての事項を満たす証明となる資料を提出して監督職員の承諾を受ける。ただし、次の①から⑥すべての事項を評価された事を示す外部機関が発行する書面を提出し監督職員の承諾を受けた場合は証明となる資料等の提出を省略することができる。(別表－1はその他参照)

- ①品質及び性能に関する試験データを整備していること。
- ②生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。
- ③安定的な供給が可能であること。
- ④法令等で定めがある場合は、その許可、認可、認定又は免許を取得していること。
- ⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。
- ⑥販売、保守等の営業体制を整えていること。

⑦ 完成時の提出書類等

※建築工事に準ずる

- (1) 工事完成図書引渡書A4版
- (2) 完成図面
- (3) 完成図面・施工図面二折りA3版製
- (4) 縮小完成図面・施工図面二折りA4版製
- (5) 工事写真
 - (工事中写真A4版)
 - (完成写真) 電子ファイル(PDF形式)により、3.8電子納品に含めて提出
- (6) 電子成果品(電子納品) CD-R
- (7) 工事監理図書A4版
- (8) 工事概要調書A4版
- (9) 諸官庁届出書類一覧表A4版
 - 諸官庁届出書類(正)A4版
- (10) 運転操作説明書A4版製本・取扱説明書
- (11) 展開接続図A3版製本
- (12) 保全管理台帳A4版・設備台帳A4版
- (13) 型式台帳

※完成図書、工事写真、工事監理図書は電子ファイルにより、3.8電子納品に含めて提出する。

※建築工事に伴う工事の提出部数は、建築工事に合わせる。

※工事写真は「管轄工事写真作成要領」によるほか監督職員の指示による。

※完成図面は、原則、CADにて修正を行い、図面枠内の適当な位置に「完成図」と表示する・本工事で設置する・別契約の関係受注者が設置したものは無償で使用する。を「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置にあたっては、同ガイドラインの別紙「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり搬置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。

8. 足場

⑨ 工事用電力、水、その他

⑩ 監督職員事務所

⑪ 受注者事務所その他

⑫ 建設発土の処理

本工事に必要な工事用電力、水及び諸手続きなどの費用はすべて受注者の負担とする。

本工事で設置する

- ・ 構内につくことができる
- ・ 現場説明書の施工条件明示による
- ・ 構内指示場所に敷きし
- ・ 構内指示場所に連携

13. 非破壊検査

はつり工事及び穿孔作業を行う場合は、事前に非破壊検査を行い監督職員に報告する。原則として探査方法は走査式探査器調査(電磁誘導法又は電磁レーダ法)とする。放射線透過検査等による埋設物の調査を実施する場合、範囲は監督職員の指示による。放射線透過検査の検査費は別添とする。

14. 既存躯体への穿孔

穿孔機装置を使用し、既存躯体に穿孔する場合は、金属探知により電源供給が停止できる付属装置等を用いて施工すること。

⑮ あと施工アンカー

施工後確認試験

試験方法 引張試験機による引張り試験

確認強度 対象機器ごとのアンカーボルト1本当たりの短期引張強度の2/3以上

試験箇所 1 施工単位に対し1本以上

対象機器 (・配電盤・非常用発電機・直流電源装置・変圧器、)

最大電圧500kV以下の場合においても、第1種電気工事士により施工を行う。

設備機器の固定は次に示す設計用地震力に耐える方法とする。

ただし、重量1kN以下の一般機器については、製造業者の指定する固定方法を採用する場合は、この限りではない。

- (1) 機器の据付け及び取付け
 - 設計用水平地震力は、機器重量[kN]に、地域係数(・1.0 ※0.9・0.8)と次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。

設計用標準水平震度

設置場所	機器種別	・特定の施設		・一般の施設	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
	水 槽 類	2.0	1.5	1.5	1.0
中間階	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水 槽 類	1.5	1.0	1.0	0.6
地下及び1階	機 器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6
	水 槽 類	1.5	1.0	1.0	0.6

上層階とは2～6階の場合は最上層、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階とする。中間階とは地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの。水槽類には燃料小出し槽を含む。

重要機器は次のものを示す。

- (・配電盤・非常用発電機・直流電源装置・交流無停電電源装置
- ・交換機・火災報知受信機・中央監視制御装置・通信総合盤、)

(2) 設計用鉛直地震力

設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。

(3) 機引き配管等の耐震記載は、施設の分類に応じたものとする。

- (1) EM電線管で規格等の記載のないものは、ハロゲン及び鉛を含まないものとする。
- (2) 通信ケーブルでJCS規格にない対数のケーブルはJCS規格に準じたものとする。
- (3) 架内配線はEM電線を使用する。ただし、製造者標準品は除く。

分電盤、制御盤、端子盤などの2次配列以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管径などは監督職員の承諾を受けて変更しても構わない。

塗装する部分 ・ 屋室() ・ 廊下 ・ 屋上、屋側 ・ 屋外 ・ 機械室

⑮ 屋上・屋側の支持金物等

26. 接地極

屋外露出配管(厚肉鋼管)で塗装を行わない場合は、溶融亜鉛めっき仕上げ(めっき付着量300g/m²以上)とする。

EM-高圧架橋機「リフレケーブル」は、次による。

呼称(図示記号) 種 類

6kV EM-CE(EE) 6600V 架橋機「リフレ」絶縁耐燃性ケーブル「リフレ」スケープ Ⅱ(6600V CE/F(EE))

6kV EM-CE(EE) 6600V トリプル「リフレ」架橋機「リフレ」絶縁耐燃性ケーブル「リフレ」スケープ Ⅱ(660V CE/F(EE))

⑳ フラッシュアートの材質

㉑ ガーメントの用途別表示

ステンレス製または鋼材に溶融亜鉛めっきを施したものとする。

接地極の材料は次による。

接地の種類	記 号	接地抵抗値	接 地 極
・ 共同 接地	E _共	10Ω以下	EB×3連・ 2組
・ 共同 上 接地	E _{共上}	10Ω以下	EB×3連・ 2組
・ A 種	E _A	10Ω以下	EB×3連・ 2組
・ B 種	E _B	Ω以下	EB×2連・ 2組
・ C 種	E _C	10Ω以下	EB×3連・ 2組
・ D 種	E _D	100Ω以下	EB×1
・ 高 圧 避 雷 器	E _高	10Ω以下	EB×3連・ 2組
・ 交 換 機 用	E _交	10Ω以下	EB×3連・ 2組
・ 通 信 用	E _通	10Ω以下	EB×3連・ 2組
・ 通 信 用	E _通 及びE _通	100Ω以下	EB×1
・ 電話引込口の保安器用	E _保	100Ω以下	EB×1
・ 測 定 用	E _測	—	EB×1

	(連続及び単独の場合、EBI ₁ d=14 L=1,500又はW=40 L=1,200とする) (E ₁ , E ₂ , E ₃ , E ₄ , E ₅ の場合、EBI ₁ d=10 L=1,000又はW=30 L=900とする) 図面に記載されていない工事区分は、別紙工事区分表による。 () 書きの室名は直天井を示し、その他は二重天井を示す。 (1)EEF1.6-20×2は、EEF1.6-4Cを使用してもよい。 (2)EMケーブルの表記は警報用及び同軸ケーブルを除き「EM-」を省略する。 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 (1)風圧力 風速 (V ₀ = 30・32・34 m/s) 地表面粗度区分 (Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ) (2)積雪荷重 平成12年建設省告示第1455号における区域 別表 () 長さ1m以上の入線しない電線管には1.2mm以上の樹脂被覆鉄線管を挿入する。 2.5m以下のサドル及びダクターには同径を行う。 建築物 (構造体) に直接設置するプルボックス、各種盤及びダクターには周囲にシール処理を行う。 官公署への手続き 工事の着手、施工、完成にあたり、関係官公署その他関係機関への必要な届出手続き等を遅滞なく行う。 工事現場の表示 現場の見やすい位置に、監督職員が指示する次の表示板を設置する。 ※工事名等の表示板 (900mm×600mm) ・ 工事概要等の説明看板 (900mm×600mm) 作業期間、交通誘導員を (人/日) 配置すること。 ・本業種が附帯の場合は、元請業種で配置する。 ・別途工事で配置する。(工事名) (1)本工事は、受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報共有システムの対象である。なお、運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」に基づき実施すること。 (2)本工事で使用する情報共有システムは次とする。 広島県工事中情報共有システム https://chotatsuf.pref.hiroshima.lg.jp/asp/index.html (3)監督職員及び受注者が使用する次の情報共有システムのサービス提供者 (以下「サービス提供者」という。)との契約は、受注者は、受注者が、利用料を支払うものとする。 4.受注者は、監督職員又はサービス提供者から技術上の問題点の把握、利用にあつての評論等を行うためのアンケート等を求められた場合、協力しなければならない。 電子成果品を「登録工事電子納品要領」に基づき作成する。 https://chotatsuf.pref.hiroshima.lg.jp/nouhin/index02.html ※ 工事管理ファイル ※ 施工計画書 ※ 工程表 ※ 打合せ簿 ※ 機材関係資料 ※ 施工関係資料 ※ 検査関係資料 ※ 発生材関係資料 ※ 完成図 ・ 保全に関する資料 ※ 施工図 ※ 完成写真 ・ その他 ・本業種が附帯の場合は、元請業種・技術資料等を提供する。 地質変位等への対応 建物引込み部の地盤変位等への対応 想定沈下量 (・ 200mm以下 ・ 600mm以下 ・ 1,000mm以下) 特記なき場合は地表面 (舗装がある場合は舗装下面) から300mm以上とする。 コンクリート製埋設標は影込み表示のものを用いる。																																				
27. 他工事との取合い																																					
28. 天井仕上げ区分																																					
29. 配線図記号その他																																					
30. 適用区分																																					
31. 呼び線																																					
32. 露出配管の固定保護																																					
33. 屋上・屋側等への設置 機材の周囲処理																																					
34. 官公署への手続き																																					
35. 工事現場の表示																																					
36. 交通誘導員																																					
37. 工事中情報共有システム																																					
38. 電子納品																																					
39. 地質変位等への対応																																					
40. 地中配管の埋設深さ																																					
1. 照明制御の照度測定等	明るさセンサーによる照明制御を行う部署は、照度測定を行い、測定表を監督職員に提出する。なお、測定箇所は監督職員の指示による。 照度測定時期 100%点灯時 (※夜間) (※改修前後 ・ 新設後) 回路電流値測定時期 (※夜間) (※改修前後 ・ 新設後)																																				
2. 照明制御装置設置	納入数 ※1個 ・ 個																																				
3. アドレス設定器 (多重伝送式)	設定器機能 ・ アドレス設定 ・ グループ設定 ・ パターン設定 ・ タイムスケジュール設定 納入数 ※1個 ・ 個																																				
4. 点検用リモコン (非常用照明・誘導灯用)	納入数 ※1個 ・ 個																																				
5. 配線器具	①接地極付きコンセント (2P15A) は、プラグ無しとする。 ②防水形コンセントはプラグ無しとする。 ③ハネジョイントボックス用OAタップのケーブルは、ハロゲン及び鉛を含まない材料とする。																																				
6. 照明器具	(1)LEDの光源色は別図面に指定がある場合を除き下記による。 LEDの光源色 (・ 電球色 ※昼白色) (2)LED照明器具の定格入力電圧はユニバーサル電圧 (100V〜242V) に対応するものとする。																																				
7. 非常照明測定の 照度測定箇所	設置した各部屋2箇所以上																																				
1. インバータ装置の規約効率	三相可変速運転用インバータ装置の規約効率は次の数値以上とする。 <table><tr><td>電動機出力 (kW)</td><td>0.4</td><td>0.75</td><td>1.5</td><td>2.2</td><td>3.7</td><td>5.5</td><td>7.5</td><td>11</td></tr><tr><td>規約効率 (%)</td><td>86.0</td><td>88.5</td><td>92.0</td><td>93.0</td><td>94.0</td><td>94.0</td><td>94.5</td><td>94.5</td></tr></table> <table><tr><td>電動機出力 (kW)</td><td>15</td><td>18.5</td><td>22</td><td>30</td><td>37</td><td>45</td><td>55</td><td>75</td></tr><tr><td>規約効率 (%)</td><td>95.0</td><td>95.5</td><td>95.5</td><td>95.5</td><td>95.5</td><td>95.5</td><td>95.5</td><td>95.5</td></tr></table> 備考 (1) 規約効率はJEM-TR245「汎用インバータの規約効率」により算出した値とする。 (2) 0.4kWの効率はJIS C 4212「高効率低圧三相可変速電動機」の定格電圧200V、IP4X、6極、50Hzの電動機を駆動したときの値とする。 (3) 0.75kWの効率はJIS C 4213「低圧三相可変速電動機トランナーモーター」の定格電圧200V、IP4X、6極、50Hzの電動機を駆動したときの値とする。	電動機出力 (kW)	0.4	0.75	1.5	2.2	3.7	5.5	7.5	11	規約効率 (%)	86.0	88.5	92.0	93.0	94.0	94.0	94.5	94.5	電動機出力 (kW)	15	18.5	22	30	37	45	55	75	規約効率 (%)	95.0	95.5	95.5	95.5	95.5	95.5	95.5	95.5
電動機出力 (kW)	0.4	0.75	1.5	2.2	3.7	5.5	7.5	11																													
規約効率 (%)	86.0	88.5	92.0	93.0	94.0	94.0	94.5	94.5																													
電動機出力 (kW)	15	18.5	22	30	37	45	55	75																													
規約効率 (%)	95.0	95.5	95.5	95.5	95.5	95.5	95.5	95.5																													
1. 型式	※ボタン電話装置 ・ 交換装置																																				
2. 保安器用接地	※本工事 ・ 別途工事																																				
3. 壁掛電話機	送受話器の落下防止を施す。																																				
1. 受信調査	最上階床コンクリート打設直後に、UHFアンテナが繋がっているすべてのチャンネルに対して、アンテナで取付予定位置及び周辺に受信調査を行う。																																				
2. チャンネル地域県	※広島																																				
1. 地中箱	蓋の記号表示 鋳型流込み (・ 電力 ※電気 ・) ハンドホール内のケーブル支持等は、マンホールに準じて行う。 アスファルト舗装面を使用するハンドホール及び鉄蓋は、アスファルト舗装面とする。 ※閉鎖形 (中耐圧形) ・ 閉鎖形 (重耐圧形) ・ V _T <L/A蔵 ・ 地絡継電器付 (※方向性 ・ 無方向性) ※別番制装置までの制御ケーブルを付属すること。 高圧電ケーブルの端末両端部にシースの収縮対策 (熱収縮テープによるシースずれ止め対策等) を行う。 ・一般形 ・ 耐圧形																																				
2. 高圧負荷開閉器																																					
3. 高圧ケーブルの端末部																																					
4. 高圧電力ケーブルの 屋外端処理																																					
5. 照明用ポール	照明用ポールには配線用遮断器 (引出し装置) 又はカットアウトスイッチ (素通しヒューズ) を内蔵する。ただし、ガーデンライトは除く。																																				
6. 施工方法	埋設深さ 特記なきは地表面 (舗装がある場合は舗装下面) から300mm以上とする。																																				
1. 地中箱	蓋の記号表示 鋳型流込み (※通信 ・) ハンドホール内のケーブル支持等は、マンホールに準じて行う。 アスファルト舗装面を使用するハンドホール及び鉄蓋は、アスファルト舗装面とする。																																				
2. 施工方法	埋設深さ 特記なきは地表面 (舗装がある場合は舗装下面) から300mm以上とする。																																				

1. 大地低抵抗の測定

工事着手前に大地低抵抗率を測定し、測定表及び接地極省略判定記録書を監督職員に提出する。

2. 接地システム

・構造体利用接地極 ・A型接地極 ・B型接地極 ・JIS T 9290-3-2019

1. 受変電設備容量

_____kVA

2. 変圧器

次のものを付属させる。
・移動車輪（75kVA以上のもの） ・防護ゴム ・ダイヤル温度計（針計付）
モータ変圧器の表面は充電部とみなし、注意標識を取付ける。
標準仕様書によるほか電力ヒューズ現用定格値のものを現用数。

3. 予備品等

（燃料系発電装置）

1. 電気方式

・高圧 ・低圧

2. 発電機容量

_____kVA以上

3. 燃料小出槽

返油ポンプのあるシステムでフロートスイッチの上限フロートは、通過形接点とする。

4. 燃料料種別

・軽油 ・A重油

（太陽光発電装置）

1. 太陽電池アレイ

公称出力 _____kW以上 交流出力の電気方式 相 線 _____V

2. パワーコンディショナ

定格容量 _____kW以上 自立運転機能（ ・有 ・無）

3. 表示装置

・液晶 ・LED表示装置

4. 連系する電力系統

・高圧受電のみ低圧連系 ・高圧連系 ・低圧連系

増幅器

・時報及び自動放送（体操放送等）はアッテネータを経由した回路とする。
・増幅器の入出力配線と外部配線（壁ボックス等）の接続はコネクタによる。
（一斉回線は使用しない）。

① 機器取付高

機器取付高は下記を標準とする。ただし、天井高3m以上の場合及び機器の使用に支障がある場合は監督職員と協議する。

電力系統	名 称	測 点	取付高 (mm)	名 称	測 点	取付高 (mm)	
電	取引用計器	地 上～窓中心	1,800～2,200	壁	壁掛形スピーカ	床 上～中心	天井高×0.9
	引込開閉器	床 上～中 心	1,800～2,200	声	壁付アッテネータ	"	1,300
				表	情報 / 出退表示錠	"	天井高×0.9
	分電盤、0A盤、実験盤	床 上～中 心	1,500(上端1,900以下)	示	壁付発信器	"	1,300
	ホーム分電盤	天井下～上 端	200	示	ベル、ブザー、チャイム	"	2,300
	スイッチ	床 上～中 心	1,300	示	受付押ボタン（一般）	床 上～中 心	1,300
	「（多機能H/L・車椅子用居室）」	"	1,100	示	電源箱	床 上～下 端	300
	「（車椅子用）」	"	900	誘	外部受付け用H/L(子機)	標準図による	
	「（自動・手動切替）」	"	1,800	誘	車椅子用H/L(居室子機)	床 上～中 心	1,100
	「コンセント（一般）」	"	300	導	壁付H/L(上記以外)	"	1,300
灯	「（和室）」	"	150	支	壁付H/L(多機能H/L)	"	900
	「（台上）」	台 上～中 心	150	支	床転倒時機	"	400
	「（土間）」	床 上～中 心	800～1,300	誘	身障者用H/L(子機)	標準図による	
	「（車椅子用居室）」	"	400	レ	機器収容箱	天井下～上 端	200
	「（車椅子用）」	"	900	ビ	テレビ端子	床 上～中 心	300
	「（トイレ）」	"	300～400	共	「（和室）」	"	150
	ブラケット（一般）	"	2,100～2,300	同			
	「（踊場）」	"	2,000～2,500	受			
	「（鏡上）」	鏡上端～中 心	150	信			
	動	壁掛形制御盤	床 上～中 心	1,500(上端1,900以下)		受信機・副受信機	床 上～操作部
力	半元開閉器	"	1,500	火	機器収容箱	"	800～1,500
	操作スイッチ	"	1,300	災	発信機	床 上～中心	800～1,500
	端子箱	床 上～下 端	300	報	ベル	天井下～上 端	200
	保安器箱	天井下～上 端	200	知	表示灯	"	200
	壁付アットレット	床 上～中 心	300	ガ	ガス漏れ中継器	天井下～中 心	300
	「（和室）」	"	150	ス	検知器（都市ガス）	天井下～中 心	300
	壁付電話機	"	1,300	検	「（LPガス）」	床 上～上 端	300
	壁掛形観時計	"	1,500(上端1,900以下)				
	時計計	床 上～中 心	天井高×0.9				
	電						

② 工事実績情報の登録について

※受注者は受注時又は変更時において請負金額が500万円以上の工事について、工事実績情報サービス（CORINS）に基づき、受注、変更、完成、訂正時に工事実績情報として「工事実績データ」を作成し、監督職員の確認を受けた後に登録機関に登録申請し、登録機関発行の「登録内容確認書」を監督職員に提出しなければならない。なお、途中変更時の登録が必要な場合は、工期の変更、技術者の変更があった場合とする。

・本業種が附帯の場合へ、元請業種で登録を行う。

③ 施工（業務）計画書への記載

(1) 次の内容について、「その他」項目に記載を求める。
ア 発注者から明示又は受注者が自ら行う「法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承認条件」
イ 上記アの内容について「不測の事態等が生じた場合の対応方法」
ウ 上記ア、イの内容について「現場作業に従事する者に対する周知の方法」
(2) 「施工方法」等の関連する項目に、許可承認条件等を適切に反映するよう求める。
(3) 「法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承認条件」等の変更が生じた場合は、施工（業務）計画書の重要な変更が生じたものとして取り扱うこととし、変更施工（業務）計画書の提出を求める。

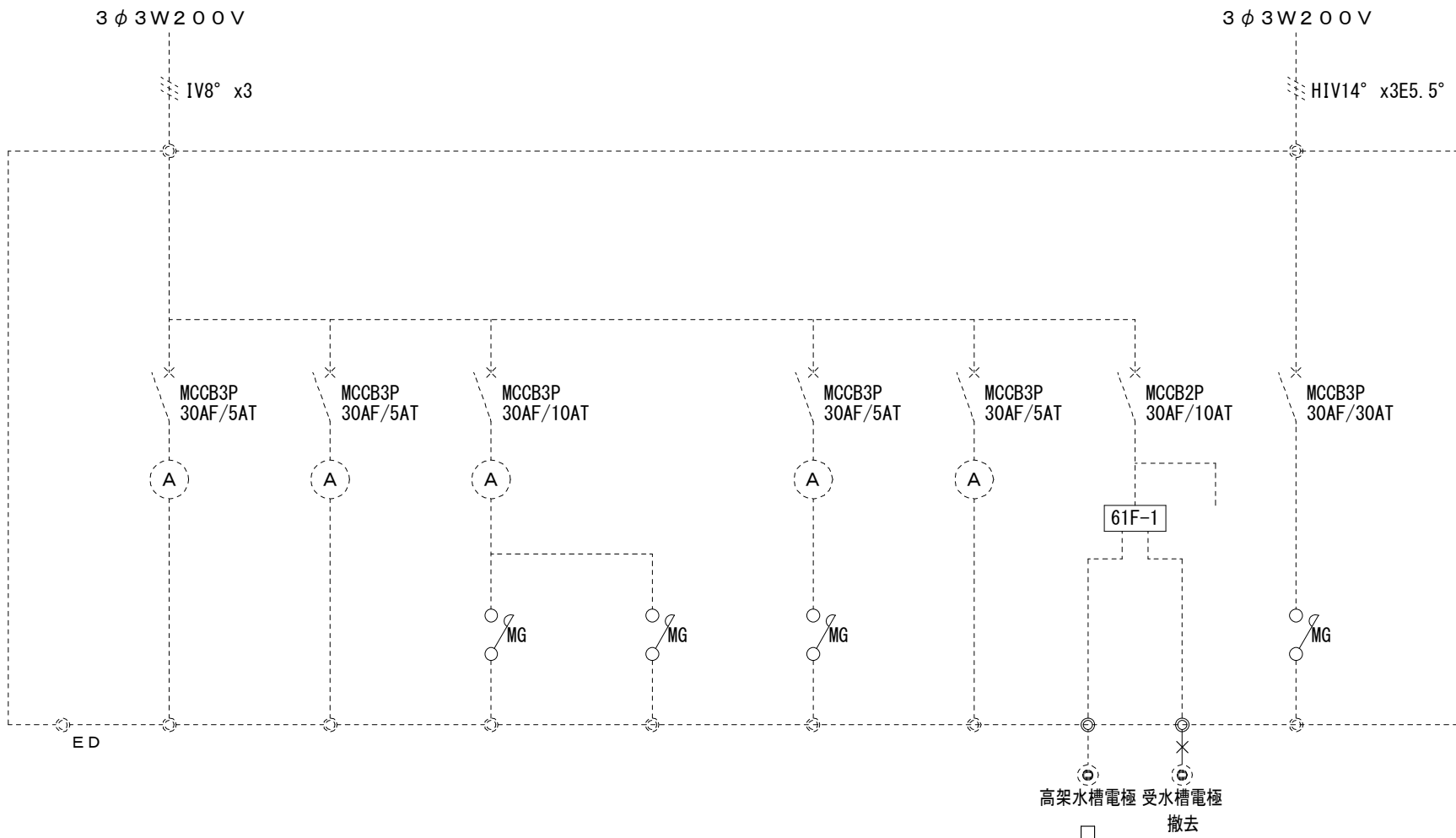
別表－「外部機関等による評価済み機材表」

品 目	機 材 名
・ LED照明器具（一般屋内用に限る）	
・ 照明制御装置	
・ 可変速運転用インバータ装置	
・ 盤類	分電盤（実験盤を含む） キュービクル式配電盤 制御盤 高圧スイッチギア（C形） 高圧スイッチギア（P形）
・ 高圧機器	高圧交流遮断器 高圧避雷器 高圧進相コンデンサ 高圧限流ヒューズ 高圧負荷開閉器 高圧変圧器（特定制器）
・ 絶縁監視装置	高圧回路 低圧回路
・ 蓄電池	ペントリット製蓄電池 据置ニッケル・カドミウムアルカリ蓄電池 制御弁式据置鉛蓄電池 シールニッケル・カドミウムアルカリ蓄電池
・ 交流無停電電源装置（UPS）	
・ 太陽光発電装置	パワーコンディショナ及び系統連系保護装置
・ 監視カメラ装置	
・ 中央監視制御装置	監視制御装置

凡 例

記 号	品 名
	動力盤 M-1
	制御盤 S-1
	制御盤 S-2
	警報盤 K-1
	電動機
	電動弁
	電極 (機械設備工事)
	照明器具
	スイッチ 片切
	コンセント 2P15Ax3 抜け止め式 接地端子付
	ﾌﾞﾙｯｸｽﾞ
	ﾌｧﾄﾚｯﾄﾞﾞｽﾞ
	コンセントを露出ｽｲｯﾁﾞｽﾞに取付
	露出部を配管にて保護
	取外しを示す。(再使用あり)
	撤去を示す。(再使用なし)
	取外し品再取付を示す。
※改修後の図中点線は既設を示す。	

動力盤 M-1 ※名称変更



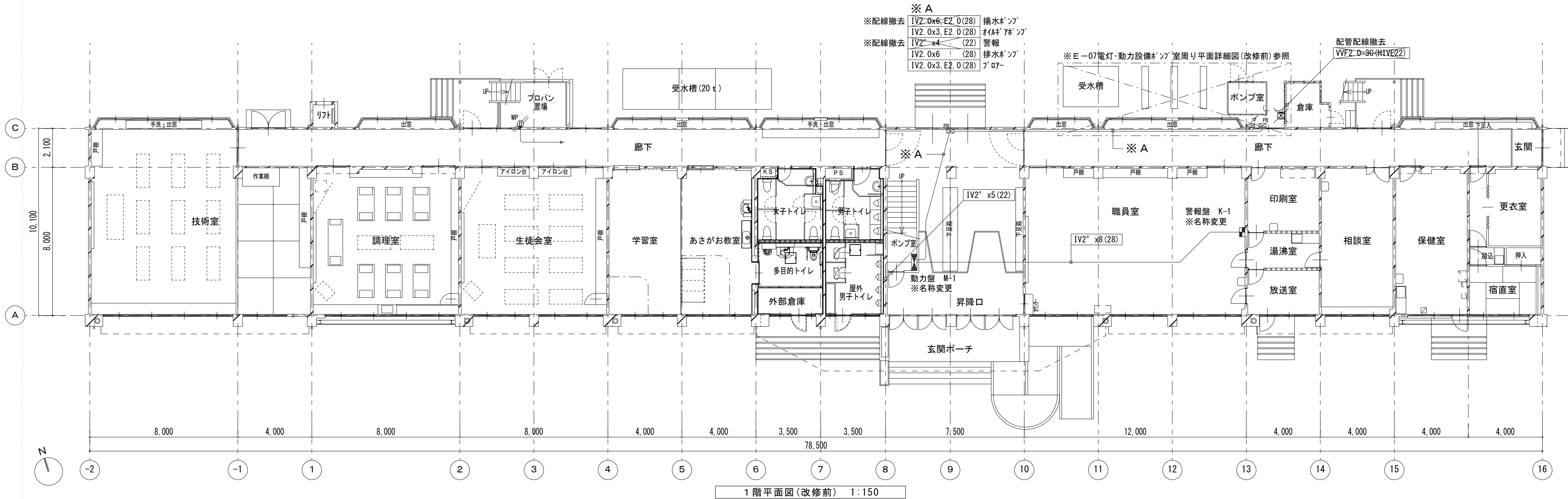
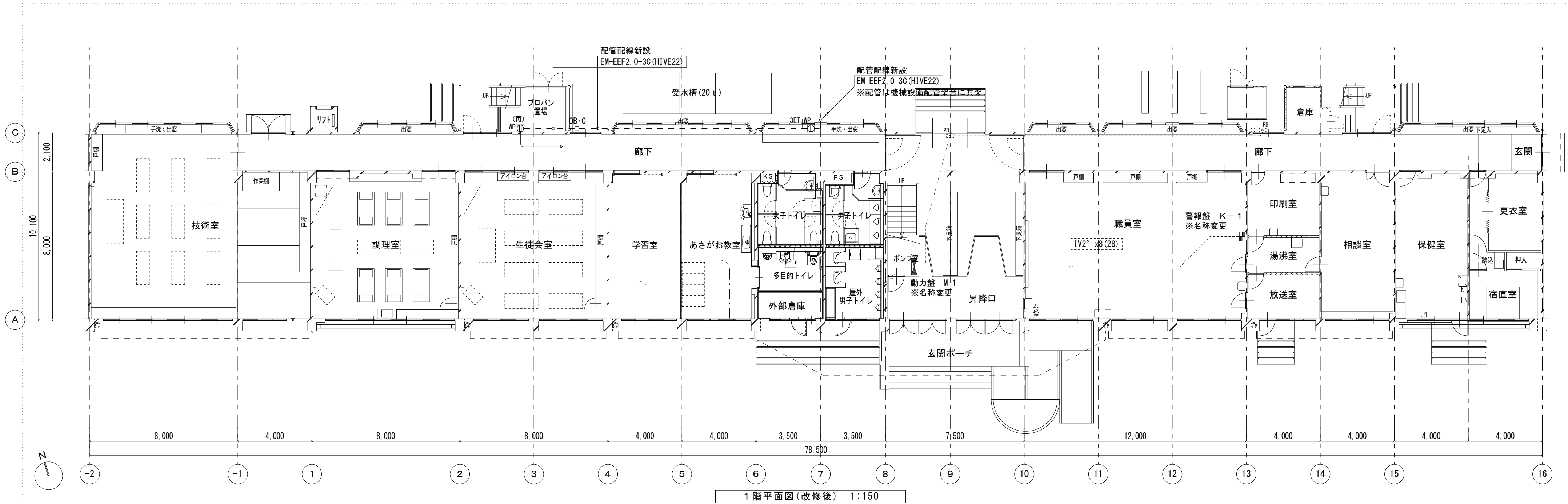
(改修前)								
負荷名称・・	排水ポンプ1	排水ポンプ2	揚水ポンプ1	揚水ポンプ2	オイルヤ	ポンプ	操作電源	消火ポンプ
負荷容量・・	0.4kW	0.4kW	2.2kW	2.2kW	0.4kW	0.2kW	—	7.5kW

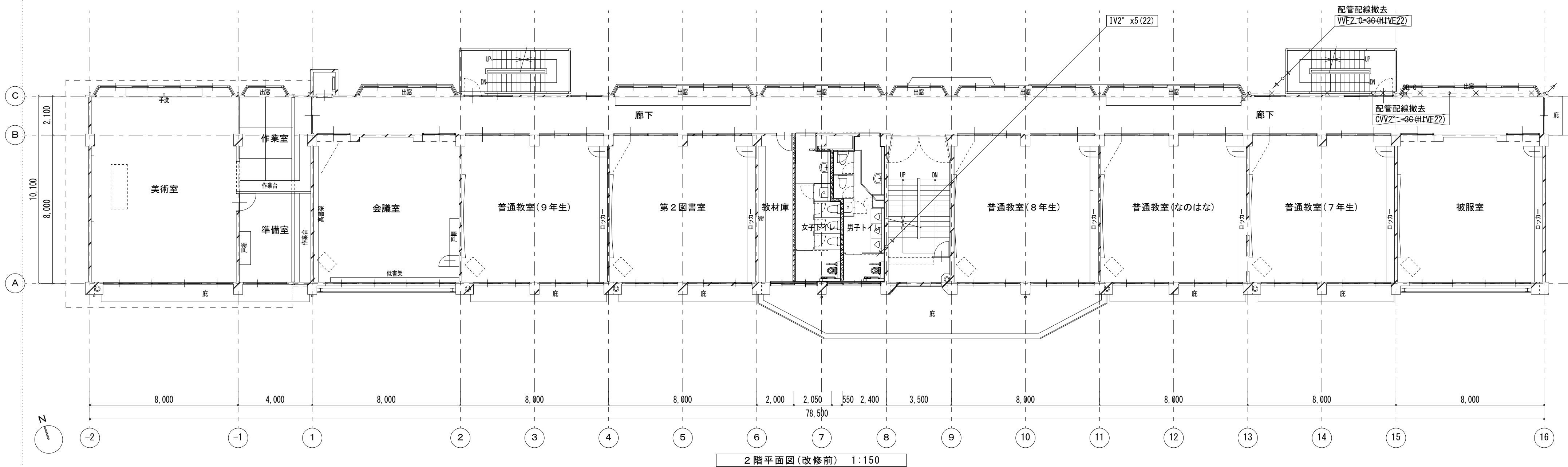
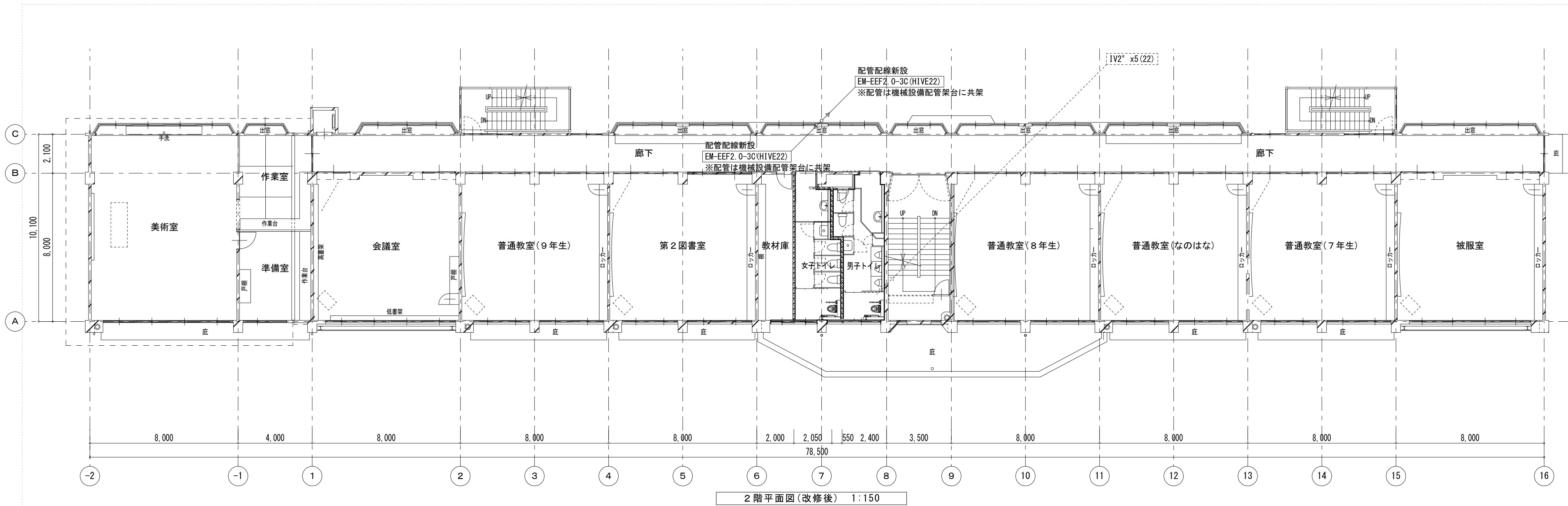
(改修後)	
予備	予備
—	—
名称変更	名称変更

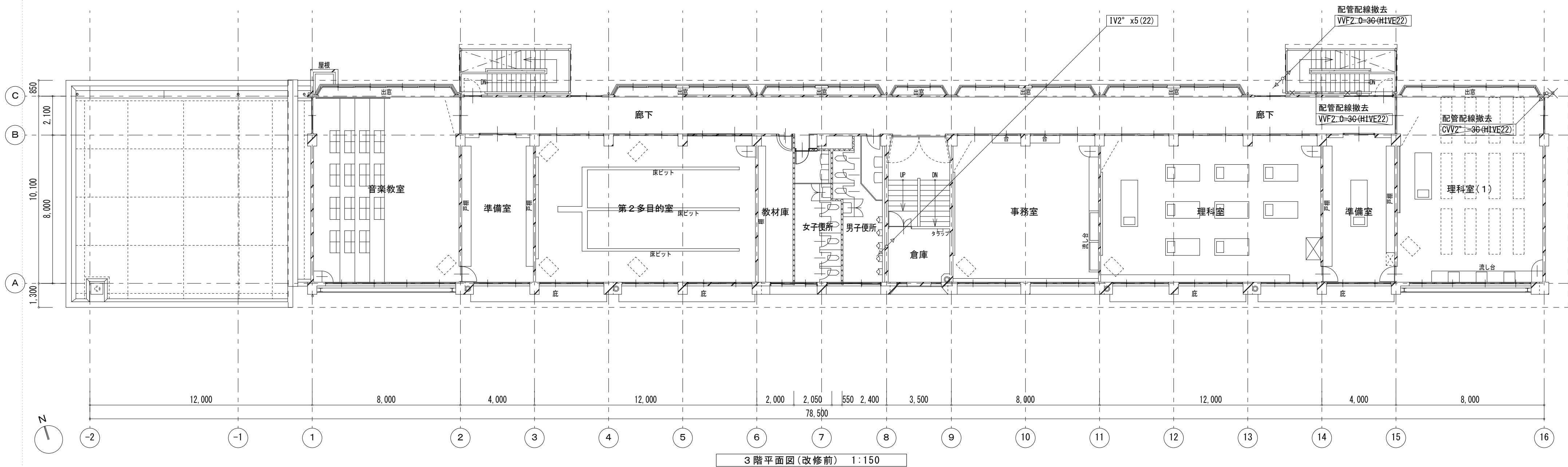
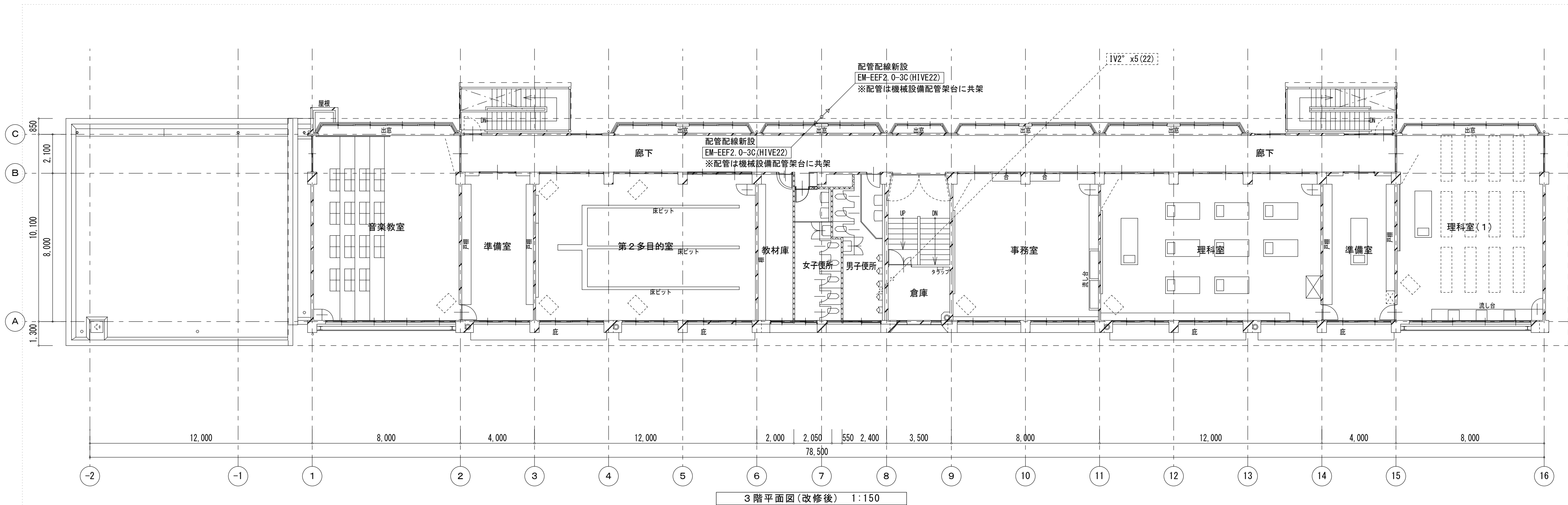
警報盤 K-1 ※名称変更

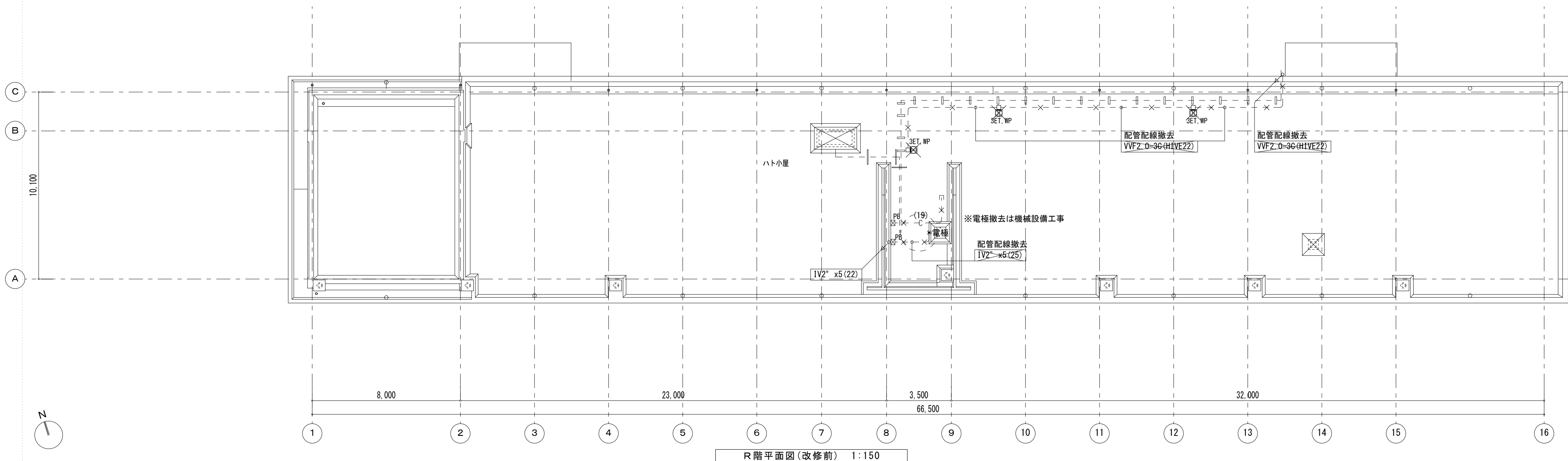
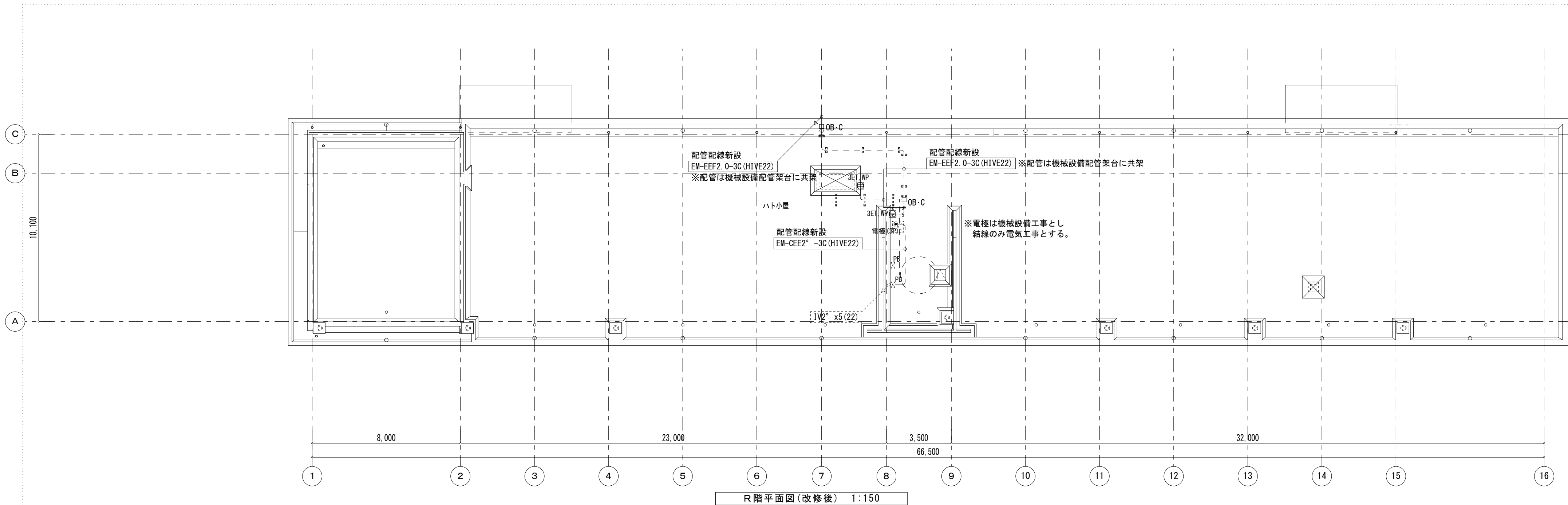
警報盤 K-1

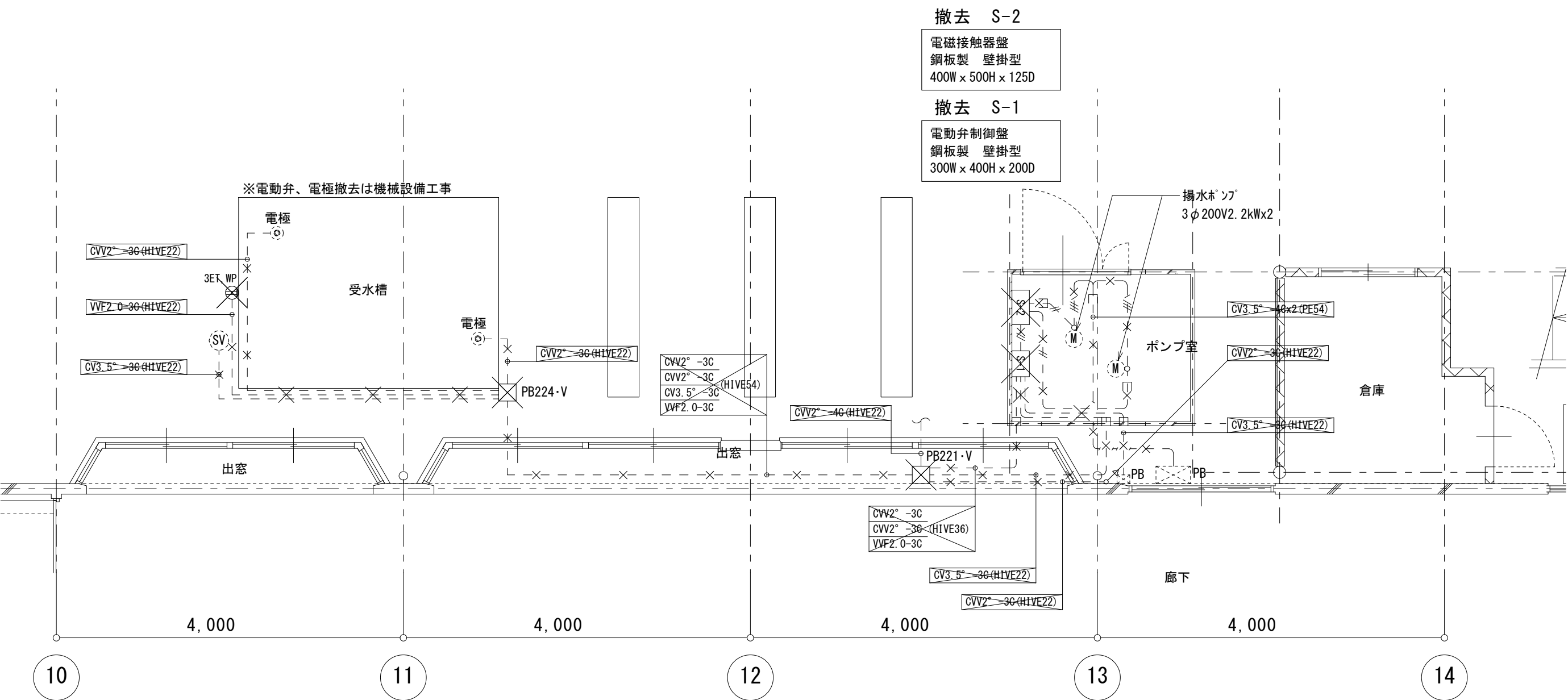
1	高架水槽満水	『消火用充水タンク満水』に名称変更
2	高架水槽減水	『消火用充水タンク減水』に名称変更
3	受水槽満水	『予備』に名称変更
4	受水槽減水	『予備』に名称変更
5	呼水槽減水	
6	予備	



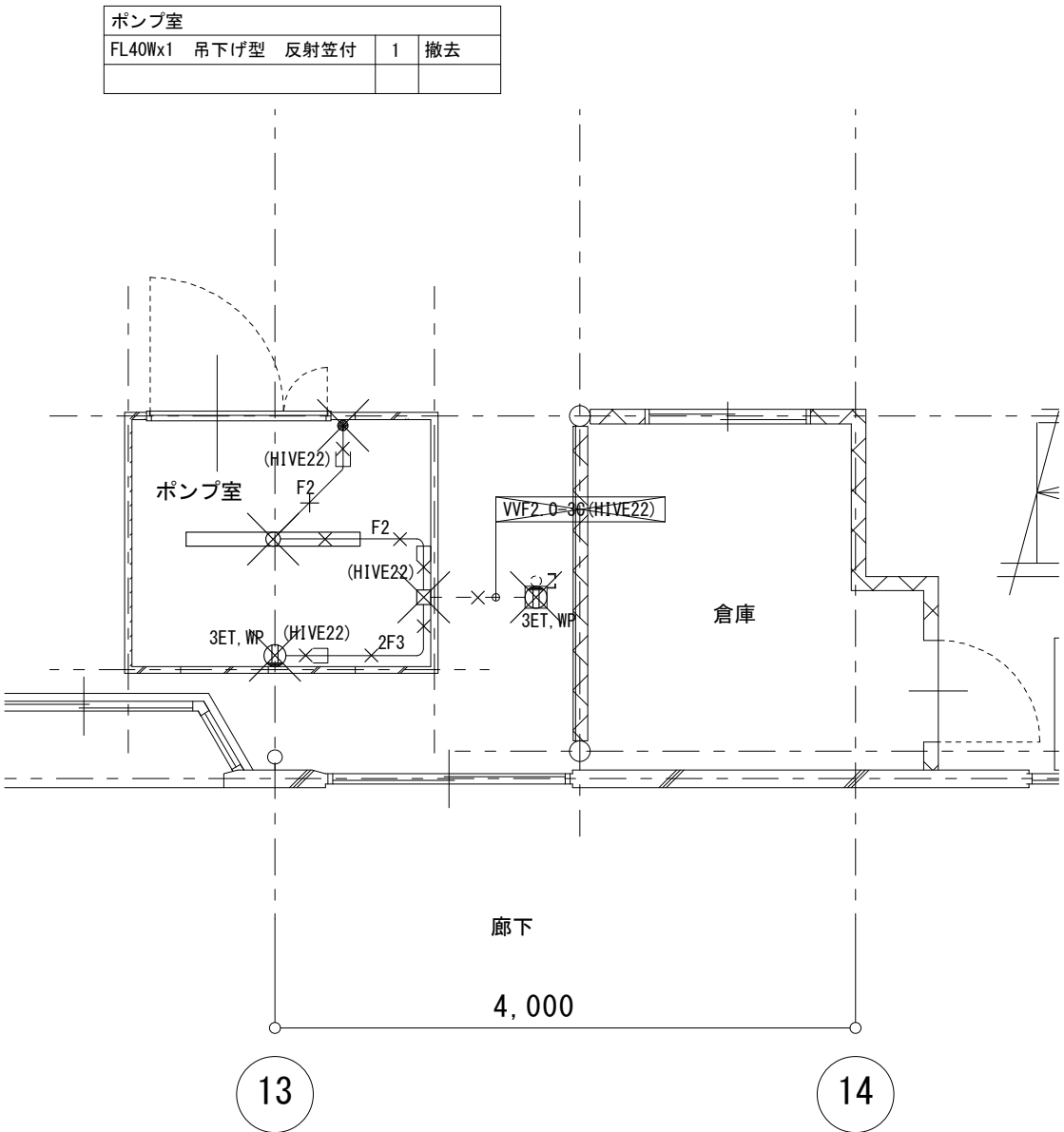








動力設備
1階ポンプ室周り平面詳細図(改修前) 1:50



電灯設備
1階ポンプ室周り平面詳細図(改修前) 1:50

※図中、外壁貫通か所のボックス以外は全て撤去とする。
撤去後残置となる管口等は、パテ等で閉塞すること。

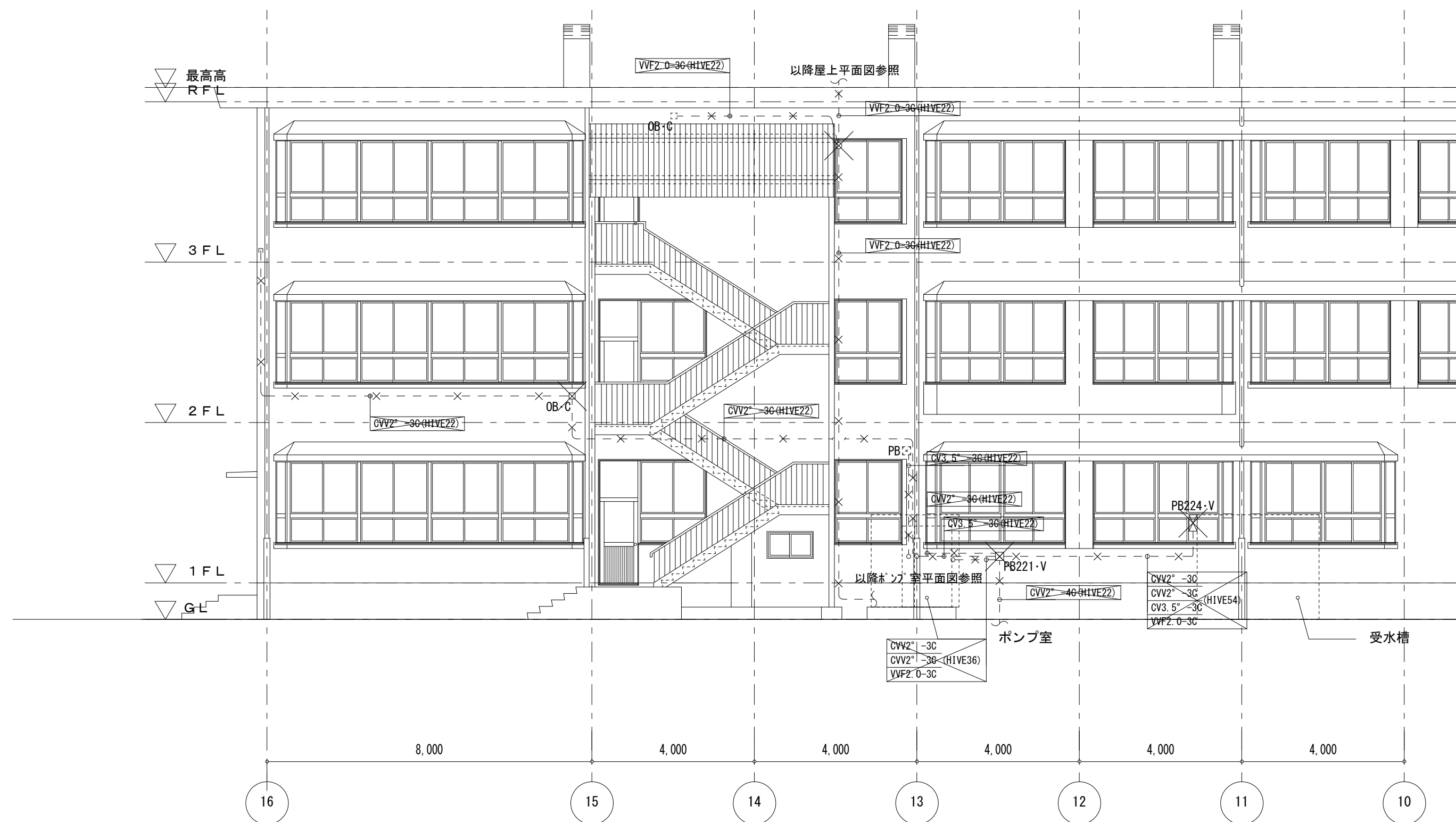
- ☒ PB224-V : PB200x200x400 ビニール
- ☒ PB221-V : PB200x200x100 ビニール

注記

1. 特記なき配管配線は、下記の通りとする。

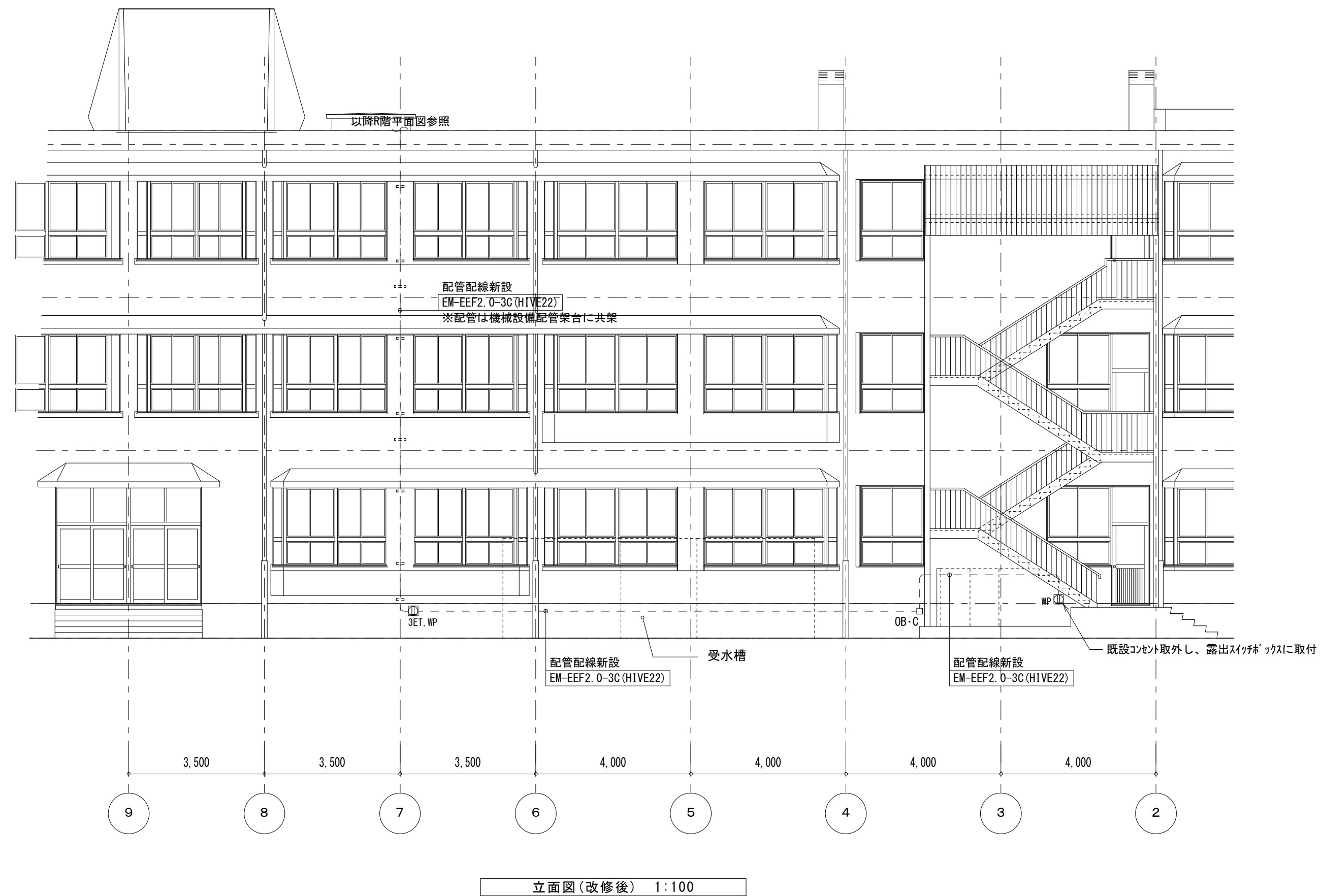
・改修前

- CV3.5'-4C
- CV3.5'-2C
- 2F3 VVF2.0-3C
- F2 VVF1.6-2C



立面図(改修前) 1:100

※図中、外壁貫通か所のボックス以外は全て撤去とする。
撤去後残置となる管口等は、パテ等で閉塞すること。



1. 工 事 概 要 等	2. 工 事 場 所 広島県山県郡北広島町都志見10914		⑥ 環境への配慮		3. 工 事 種 目	(○ 印の付いたものを適用する)		4. 指 定 部 分	※ 無し ・ 有り (工期 令和 年 月 日)		5. 設 備 概 要 (改修の場合は既存の概要を示す。)	6. 機材の品質等	7. 機材の品質等	8. 機材の承諾図	9. 図形表示	10. 容量等の表示	11. 技能士の適用	12. 化学物質の濃度測定	13. 機器付属	14. 総合試運転調整	15. 弁類	16. 伸縮管継手	17. 防振継手	18. 絶縁継手	19. スリーブ	20. 瞬間流量計	21. 配管の建物導入部	22. ステンレス鋼管の 接合方法	23. ビール管の接合方法	24. ポリエチレン管の 接合方法	25. 溶接配管の検査	26. 異種管の接続	27. 支持金物・固定金具	28. 埋設表示	29. 保温	30. 塗装	31. 足場	32. 工事用電力、水、その他	33. 監督職員事務所	34. 工事用仮設物	35. 土工事	36. コンクリート工事	37. あと施工アンカー	38. 耐震施工	39. 電線類	40. 施工調査	41. 撤去工事	42. 非破壊検査	43. 他工事との取合い	44. 天井仕上区分	45. 監視・制御システムの サイン・セーフティ	46. 完成時の提出書類等	47. 電子納品	48. 工事中情報共有システム	49. 工事実績情報の登録	50. 施工計画書	51. 履行報告	52. 建設廃棄物の処理	53. 優先順位	54. 官公署その他への 手続き等	55. 工事現場の表示	56. 交通誘導員	57. 説明板等	58. 工事中の補償	59. 完成引渡しまでの 管理	60. 別表－１	61. 品目	62. 機	63. 材	64. 名	65. 品目	66. 機	67. 材	68. 名	69. 品目	70. 機	71. 材	72. 名	73. 品目	74. 機	75. 材	76. 名	77. 品目	78. 機	79. 材	80. 名	81. 品目	82. 機	83. 材	84. 名	85. 品目	86. 機	87. 材	88. 名	89. 品目	90. 機	91. 材	92. 名	93. 品目	94. 機	95. 材	96. 名	97. 品目	98. 機	99. 材	100. 名	101. 品目	102. 機	103. 材	104. 名	105. 品目	106. 機	107. 材	108. 名	109. 品目	110. 機	111. 材	112. 名	113. 品目	114. 機	115. 材	116. 名	117. 品目	118. 機	119. 材	120. 名	121. 品目	122. 機	123. 材	124. 名	125. 品目	126. 機	127. 材	128. 名	129. 品目	130. 機	131. 材	132. 名	133. 品目	134. 機	135. 材	136. 名	137. 品目	138. 機	139. 材	140. 名	141. 品目	142. 機	143. 材	144. 名	145. 品目	146. 機	147. 材	148. 名	149. 品目	150. 機	151. 材	152. 名	153. 品目	154. 機	155. 材	156. 名	157. 品目	158. 機	159. 材	160. 名	161. 品目	162. 機	163. 材	164. 名	165. 品目	166. 機	167. 材	168. 名	169. 品目	170. 機	171. 材	172. 名	173. 品目	174. 機	175. 材	176. 名	177. 品目	178. 機	179. 材	180. 名	181
--------------	-------------------------------	--	----------	--	------------	--------------------	--	------------	-------------------------	--	------------------------------	-----------	-----------	-----------	---------	------------	------------	---------------	----------	-------------	--------	-----------	----------	----------	----------	-----------	--------------	----------------------	---------------	----------------------	-------------	------------	---------------	----------	--------	--------	--------	-----------------	-------------	------------	---------	--------------	--------------	----------	---------	----------	----------	-----------	--------------	------------	-----------------------------	---------------	----------	-----------------	---------------	-----------	----------	--------------	----------	----------------------	-------------	-----------	----------	------------	--------------------	----------	--------	-------	-------	-------	--------	-------	-------	-------	--------	-------	-------	-------	--------	-------	-------	-------	--------	-------	-------	-------	--------	-------	-------	-------	--------	-------	-------	-------	--------	-------	-------	-------	--------	-------	-------	-------	--------	-------	-------	--------	---------	--------	--------	--------	---------	--------	--------	--------	---------	--------	--------	--------	---------	--------	--------	--------	---------	--------	--------	--------	---------	--------	--------	--------	---------	--------	--------	--------	---------	--------	--------	--------	---------	--------	--------	--------	---------	--------	--------	--------	---------	--------	--------	--------	---------	--------	--------	--------	---------	--------	--------	--------	---------	--------	--------	--------	---------	--------	--------	--------	---------	--------	--------	--------	---------	--------	--------	--------	---------	--------	--------	--------	---------	--------	--------	--------	---------	--------	--------	--------	-----

空気調和・換気設備	1. 設計用温湿度条件	<table><tr><th colspan="2">外 気 条 件</th><th colspan="2">室 内 (調整目標値)</th></tr><tr><th colspan="2">一 般 系 統</th><th colspan="2"></th></tr><tr><th>温度(ＤＢ)</th><th>湿 度</th><th>温度(ＤＢ)</th><th>湿 度</th></tr><tr><td>夏季 9時 34.9℃</td><td>51.0%</td><td></td><td></td></tr><tr><td>12時</td><td></td><td>28.0℃</td><td>45%</td></tr><tr><td>14時</td><td></td><td></td><td>℃ %</td></tr><tr><td>16時</td><td></td><td></td><td>℃ %</td></tr><tr><td>冬季</td><td>-0.2℃</td><td>69.9%</td><td>19.0℃</td><td>40%</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>℃ %</td></tr></table>	外 気 条 件		室 内 (調整目標値)		一 般 系 統				温度(ＤＢ)	湿 度	温度(ＤＢ)	湿 度	夏季 9時 34.9℃	51.0%			12時		28.0℃	45%	14時			℃ %	16時			℃ %	冬季	-0.2℃	69.9%	19.0℃	40%				℃ %	25. 消音内貼り 26. 防振基礎 27. 空調用流体の水質基準 28. フィルターの予備品	1) 空調用の吹出口接続チャンパー及び図示したダクト並びにチャンパー類とする。 2) 内貼りチャンパー類の寸法は、外法寸法とする。 3) 吹出口接続チャンパー以外の内貼りに点検口を取付ける。点検口の大きさは、原則として400×600とする。 防振基礎の防振材及び振動絶縁効率は、標準仕様書および標準図によるほか、図示による。 日本冷凍空調工業会(冷凍空調機器用水質ガイドライン)による。 空気調和機器等又はチャンパーの装着枚数の100%を予備品(枠付)として納める。 7/10に2は総台数の(・50%・100%)に当たる2/1を予備品(枠付)として納める。 自動巻取り形及びグリースフィルターは装着単位の100%を予備品として納める。	2. 排水金物 3. 汚水、雑排水及び汚物用水中モーターポンプ 4. 接続納付金等 5. 樹のコンクリート巻き 6. 満水試験継手 7. 洗面台接続	3) ポンプ排水管 4) 通気管 5) 屋外排水管 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管(圧送排水鋼管用MD) ・ 配管用炭素鋼鋼管(白管) ・ 硬質ポリ塩化ビニル管(VP) ・ 建築用耐火性硬質ポリ塩化ビニル管(FS-VP) ・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管(RS-VU)(車道部以外) ・ 硬質ポリ塩化ビニル管(VP)(車道部) ・ 硬質ポリ塩化ビニル管(VU)	石綿含有設備資材の処理について Ⅰ. 石綿を含有する設備資材の撤去方法 1. 工事受注者は、施工に先立ち以下の報告を行うこと。 撤去に先立ち、「大気汚染防止法」の他「労働安全衛生法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建築基準法、建設リサイクル法、地方自治体による条例」等に基づき関係機関と協議を行い、監督職員に報告する。 2. 各部位の撤去方法は、以下の内容及び撤去要領図を参考に、計画書を作成し、監督職員の承諾を受ける。 (1) ダクトフランジ部 ダクトフランジ部の撤去は、原則として切断による方法とする。 1) ダクトの切断に先立ち、飛散防止措置としてダクトフランジ外周部分に、飛散抑制剤の塗布又はビニルテープ貼り等を施す。 2) ダクトの切断は、フランジ部分の両側約100mmの箇所において慎重に行う。 3) ダクト片側の切断終了後、フランジ内周部分に外周同様に飛散防止措置を施し、もう片側の切断を行う。 (2) たわみ継手フランジ部 たわみ継手フランジ部の撤去は、原則として切断による方法とする。 1) ダクト及び機器の切断に先立ち、飛散防止措置としてダクトフランジ外周部分に、飛散抑制剤の塗布又はビニルテープ貼り等を施す。 2) ダクト及び機器の切断は、フランジ部分の約100mmの箇所において慎重に行う。 3) ダクト及び機器の切断終了後、フランジ内周部分に外周同様に飛散防止措置を施す。 (3) 配管フランジ部 配管フランジ部におけるガスケット撤去は、原則として切断による方法とする。 1) 配管の切断は、フランジ部分に於かない箇所において行う。 (4) 成形保温材付き配管の曲線部 成形保温材付き配管の曲線部の撤去は、原則として切断による方法とする。 1) 配管の切断に先立ち、飛散防止措置として成形保温材に飛散抑制剤の塗布を施すとともに、成形保温材前後の保温材を撤去する。 2) ビニールシート等で成形保温材を包み配管表面でテープ止めとし密閉する。 3) 配管の切断は、密閉部分の両側約100mmの箇所において慎重に行う。 Ⅱ. 石綿を含有する設備資材の処理方法(※搬出費・運搬費・処分費は別途) (1) 処理に先立ち、関係機関と協議を行い計画書を作成し、監督職員の承諾を受ける。 (2) 石綿含有廃棄物であることを表示すると共に、石綿飛散防止対策として「大気汚染防止法」の他、「労働安全衛生法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建築基準法、建設リサイクル法、地方自治体による条例」等に基づき構外搬出適切処理とする。 (3) 構外搬出適切処理後、監督職員へ報告書を提出する。 (4) 石綿含有設備機器については、施設管理者及び監督職員と協議の上、適切に処理を行う。
	外 気 条 件		室 内 (調整目標値)																																									
	一 般 系 統																																											
	温度(ＤＢ)	湿 度	温度(ＤＢ)	湿 度																																								
	夏季 9時 34.9℃	51.0%																																										
	12時		28.0℃	45%																																								
	14時			℃ %																																								
	16時			℃ %																																								
	冬季	-0.2℃	69.9%	19.0℃	40%																																							
				℃ %																																								
2. 配管材料 ※重複して適用の場合の使用区分は図示による	1) 冷水・温水・冷温水 2) 膨張・空気抜・補給水 3) 冷却水 4) 冷媒 5) 空調用給水 6) 空調用排水 ・ 配管用炭素鋼鋼管(白管) ・ 配管用炭素鋼鋼管(白管) ・ 配管用炭素鋼鋼管(白管) ・ 断熱材被覆鋼管 ・ ステンレス鋼管(SUS304) ・ 硬質ポリ塩化ビニル管(VP) ・ 結露防止層付硬質塩化ビニル管	排煙設備 1. ダクト 2. 排煙口 3. 排煙口開放及び復帰方式 4. 排煙風量測定	※ 重鉛鉄板製 ・ 鋼板製(厚1.6mm) ・ パネル形(・天井取付・壁取付) ・ スリット形(・天井取付・壁取付) ・ ダンパー形(・天井内取付・) 電気式(遠隔操作 ※ 不要・要) 排煙口から手動開放装置への配線は、標準仕様書第4編1.5.1表4.1.11による耐熱・耐火ケーブルとする。 建築設備定期検査業務基準書2023年版(一財)日本建築設備・昇降機センター)の排煙風量の検査方法に準ずる。	給湯設備 1. 配管材料 ※重複して適用の場合の使用区分は図示による	1) ・ 保温付被覆鋼管 ・ 鋼管 ・ ステンレス鋼管 ・ 耐熱性ライニング鋼管 ・ 架橋ポリエチレン管 2) 湯沸器、給湯機廻りの付属配管等は製造業者標準品とする。 3) 台下式給湯器の本体と水栓間の配管は、架橋ポリエチレン管とする。 図面に特記なき場合の耐圧は、5Kとする。 ただし、公営水道に直結する部分及び特記部分は、10Kとする。 湯沸器の給排水箇の隠い箇所は保温 h・(ア)・IX を行う。																																							
3. 弁類 4. 空調機用トラップ 5. 鋼板製煙道	図面に特記なき場合の耐圧は、5Kとする。 トラップの形式はフロートボール式(床置型) ※ FRP製保温型 1) 厚さ ※ 3.2mm 2) ばい煙濃度計 3) ばいじん量測定口(80φ×2) ※ 取付ける 4) 伸縮継手及び掃除口は図示による。 5) ばい煙濃度計 6) 冷却塔 7. 冷却塔 8. ユニット形 9. ファンコイルユニット	1. システム構成・機能 2. 自動制御機器 3. 自動制御盤 4. 中央監視制御装置 5. 計装工事の配線	図示による。 調節器等の取付け高さは ※ 1300mm 屋内用キャビネットは ※ 鋼板製 ・ ステンレス鋼板製 ・ 有り(構成機能は図示による) ※ 無し 1) 屋外、屋内露出の配線は、図面に特記のない限り金属管配線とする。 天井隠べいの配線は、図面に特記のない限りケーブル配線とする。 2) 原則として、次の用途に使用する電線類はEMケーブルとし、規格は一般共通事項39.電線類の規格による。 (機器、盤類はこれによらなくてもよい) 用途：①電源線、接地線 ②電気式の調節器(サーモ・ヒューミ等)用電線 ③各種検出器(温度・湿度等)、操作器(バルブ・ダンパー等)における弱電信号、通信線を除く制御線	消火設備 ① 配管材料 ※重複して適用の場合の使用区分は図示による	1) 屋内消火栓 2) 連結送水管 3) 一般配管用 ・ 一般配管用 ・ 配管用炭素鋼鋼管(白管) ・ 耐火性ライニング鋼管 ・ 架橋ポリエチレン管 ・ 硬質ポリ塩化ビニル外面被覆鋼管(SGP-VS) ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管(Sch40) ・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管(STPG370-VS)																																							
6. ばい煙濃度計 7. 冷却塔 8. ユニット形 空気調和機	冷温水管の接続部(往・還)にはボール弁を取付ける。 ※ 流量調整弁 ・ 定流量弁 ・ 取付ける (定流量弁の場合は ・ ダイアフラム式流量可変式 ・ カートリッジオリフィス形) 10. パッケージ形 11. マルチパッケージ形 空気調和機 12. 集中管理リモコン ・ 個別リモコン	1. 一般事項 2. 小便器用節水装置 3. 自動水栓 4. 大便器用洗浄弁 5. 温水洗浄便座 6. 水栓	型番変更等により参考型番が変更又は廃止されている場合、参考型番の同等品とする。 大便器、小便器には、標記板(アクリル板に印刷可)を取付ける。 形式は(※ 小便器一体型 ・ 小便器分離型)とする。 洗浄水量4リットル/回以下とする。 ※ 個別感知方式(※ AC電源 ・ 乾電池) ・ 手動式 電源種別は ※ AC電源 ・ 自己発電 ・ 乾電池 車椅子用洗面器に設ける自動水栓に手動スイッチを、 ※ 設ける ・ 設けない 操作方式 ・ 電気開閉式(・ センサー式 ・ タッチスイッチ式) ・ 手動式 洗浄用水加温方式は(・ 瞬間方式 ・ 貯湯方式)とし、付加機能は図示による。	② 消火栓弁の耐圧 ③ 保温	1) 呼水タンクの保温 ※ 施工しない ・ 施工する 2) 充水タンクの保温 ※ 施工しない ・ 施工する 3) 消火配管の保温は次による。 (屋外露出、寒冷地は保温種別 e2・(ウ)・Ⅶ による) ○ 屋外露出部 ・ 施工しない ・ 施工する ・ 屋内消火栓 ※ 施工しない ・ 施工する ・ スプリンクラー ※ 施工しない ・ 施工する ・ 連結送水 ※ 施工しない ・ 施工する ・ 連結散水 ※ 施工しない ・ 施工する ※ 広範囲型2号消火栓 ・ 2号消火栓 ・ 易操作1号消火栓 ・ 1号消火栓 開閉弁の材質は ・ 鉄鋳製(要部青銅製) ・ ステンレス鋳物製 箱の材質は ※ 鋼板製 ・ ステンレス鋼板製																																							
9. ファンコイルユニット	冷温水管の接続部(往・還)にはボール弁を取付ける。 ※ 流量調整弁 ・ 定流量弁 ・ 取付ける (定流量弁の場合は ・ ダイアフラム式流量可変式 ・ カートリッジオリフィス形) 10. パッケージ形 11. マルチパッケージ形 空気調和機 12. 集中管理リモコン ・ 個別リモコン	1. 一般事項 2. 小便器用節水装置 3. 自動水栓 4. 大便器用洗浄弁 5. 温水洗浄便座 6. 水栓	型番変更等により参考型番が変更又は廃止されている場合、参考型番の同等品とする。 大便器、小便器には、標記板(アクリル板に印刷可)を取付ける。 形式は(※ 小便器一体型 ・ 小便器分離型)とする。 洗浄水量4リットル/回以下とする。 ※ 個別感知方式(※ AC電源 ・ 乾電池) ・ 手動式 電源種別は ※ AC電源 ・ 自己発電 ・ 乾電池 車椅子用洗面器に設ける自動水栓に手動スイッチを、 ※ 設ける ・ 設けない 操作方式 ・ 電気開閉式(・ センサー式 ・ タッチスイッチ式) ・ 手動式 洗浄用水加温方式は(・ 瞬間方式 ・ 貯湯方式)とし、付加機能は図示による。	4. 屋内消火栓 5. 屋外消火栓	※ 広範囲型2号消火栓 ・ 2号消火栓 ・ 易操作1号消火栓 ・ 1号消火栓 開閉弁の材質は ・ 鉄鋳製(要部青銅製) ・ ステンレス鋳物製 箱の材質は ※ 鋼板製 ・ ステンレス鋼板製																																							
10. パッケージ形 空気調和機 11. マルチパッケージ形 空気調和機 12. 集中管理リモコン ・ 個別リモコン	床置形にはサブドレンパンを設ける。材質等はドレンパンに準ずる。 インバーター機の表示された能力は、型番で選定する。 内外渡配線は、原則として冷媒管と共巻きとする。(エアコン含む) パッケージ形空気調和機の記載による。 リモコンの系統区分は図示による。	1. 一般事項 2. 小便器用節水装置 3. 自動水栓 4. 大便器用洗浄弁 5. 温水洗浄便座 6. 水栓	型番変更等により参考型番が変更又は廃止されている場合、参考型番の同等品とする。 大便器、小便器には、標記板(アクリル板に印刷可)を取付ける。 形式は(※ 小便器一体型 ・ 小便器分離型)とする。 洗浄水量4リットル/回以下とする。 ※ 個別感知方式(※ AC電源 ・ 乾電池) ・ 手動式 電源種別は ※ AC電源 ・ 自己発電 ・ 乾電池 車椅子用洗面器に設ける自動水栓に手動スイッチを、 ※ 設ける ・ 設けない 操作方式 ・ 電気開閉式(・ センサー式 ・ タッチスイッチ式) ・ 手動式 洗浄用水加温方式は(・ 瞬間方式 ・ 貯湯方式)とし、付加機能は図示による。	ガスを 1. 都市ガス設備 2. 配管材料 ※重複して適用の場合の使用区分は図示による	1) 都市ガス設備 2) 配管材料 ※重複して適用の場合の使用区分は図示による 3. ガス漏れ警報器 4. 充てん容器 5. バルク貯槽 6. ガスメーター 7. 容器廻りの配管 8. 容器転倒防止																																							
13. オイルポンプ	形式 ※ 渦流形 ・ 歯車形	給水設備 ① 配管材料 ※重複して適用の場合の使用区分は図示による	1) 一般配管用 2) 土間配管用 3) 地中配管用 ○ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管(SGP-VB・FVB) ・ 水道用硬質ポリ塩化ビニル管(HIVP) ・ 架橋ポリエチレン管 ○ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管(SGP-VD・FVD) ・ 水道用硬質ポリ塩化ビニル管(HIVP) ・ 架橋ポリエチレン管 ○ 水道用硬質ポリ塩化ビニル管(HIVP) ○ 水道配用水用ポリエチレン管 ・ 水道用ポリエチレン二層管 1) 公営水道に直結する配管に使用するものの耐圧は、10Kとする。 2) 受水タンク以降の配管に使用するものの耐圧は、5Kとする。 3) 給水引込部の(・ 止水栓 ・ 弁樹)は水道事業者指定品とする。 1) 親メーター ※ 借用 ・ 買取り (・ 直読 ・ 遠隔表示) 2) 子メーター ※ 買取り ・ 借用 (・ 直読 ・ 遠隔表示) 現地表示式(直読式)の表示機構は ※ 湿式7/10式 ・ 乾式7/10式 遠隔表示式は(※ バル式 ・ 電文式)発信器を備える。 1) 親メーター用 ※ 水道事業者の指定品 ・ 標準図(機材57) 2) 子メーター用 ※ 標準図(機材57) ・ 水道事業者の指定品 ・ 標準仕様書による ・ 水道事業者指定品 ・ 定流量弁を定水位調整弁の手前に設置する。 遮断弁の駆動方式は(※ 電気式 ・ 機械式)とする。 ※ 合成樹脂製 ・ ステンレス製 寸法 ※ 約70mm角全長約1300mm ・ 図示による 寸法 ※ 全長約1200mm ・ 図示による 1) 屋外の水栓は ・ キー式ハンドル ・ 寸法 ※ 全長約1200mm ・ 図示による 2) 台所流し用の水栓は泡沫式とする。 給水栓用配管の接続口を(※ 設ける ・ 設けない)ものとする。 2) 構式の場合は、連通管を設けるものとする。 ※ 別途工事 ・ 本工事 弁ツグ、散水栓ツグ等はコンクリート巻き仕上げとする。(但し舗装等の仕上げ部分は除く。)(施工の際は鉄筋又は、金網で補強を入れること。)	浄化槽設備 1. 処理種別及び方式 2. その他	・ 小規模合併処理 (・ 担体流動生物濾過方式 ・ 嫌気分離接触床方式) ・ 合併処理 () 図示による。																																							
14. 地下オイルタンク	1) 据付け方法は ※ 標準図(施工35)(二重殻タンク) ・ 標準図(施工36)(タンク室有り) 2) 保護被覆は ※ FRP ・ エポキシ樹脂 ・ アスファルト 3) 遠隔油量指示装置(液面計は(・ 抵抗変換式 ・ 磁歪式)で(・ 屋内 ・ 屋外)より油量監視用)を取付ける。 4) 基礎杭は ※ 不要 ・ 要(但し杭は ※ 別途工事 ・ 本工事) 5) 土留め工事は ※ 不要 ・ 要(・ 本工事 ・ 別途工事) 6) 油面計はゲージ式(側圧式)とする。 1) ※ 低圧ダクト ・ 高圧1ダクト ・ 高圧2ダクト 2) 長方形ダクトは ・ コーナーボルト工法 (共板フランジ又はスライドオンフランジ) (ただし、長辺が1500mmを超えるものは アングルフランジ工法とする) ・ アングルフランジ工法 3) 防火区画を貫通するダクトは、その貫通する部分の前後150mmを1.6mm厚鋼板製とする。 4) 厨房用ダクトの板厚は「火災予防条例準則の運用について」による。 1) シーリングディフューザーの接続は標準図(施工50)を参考とする。 2) 接続するダクトの施工が困難な場所はフレキシブルダクトを使用してもよい。 3) 線状吹出口には、長さ100×300×300Hの接続チャンパーを設ける。 4) 外壁に面するガラリにチャンパー等を設ける場合は、雨水等を自然に排出できるように勾配をつける。 ※重鉛鉄板製 ・ グラスウール製	排水設備 1. 配管材料 ※重複して適用の場合の使用区分は図示による	1) 屋外汚水管 (第1樹まで含む) ○ 硬質ポリ塩化ビニル管(VP) ・ 建築用耐火性硬質ポリ塩化ビニル管(FS-VP) ・ 小便器、大便器、洗面器及び掃除流しとの接続管は、塩ビ管(RF-VP)と(・する ・しない) 2) 屋内雑排水管 (第1樹まで含む) ○ 硬質ポリ塩化ビニル管(VP) ・ 建築用耐火性硬質ポリ塩化ビニル管(FS-VP) ・ 湯沸流し等の床上露出部分は、リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管(RF-VP)とする。 ・ 汚水合流系統の配管は ・ とする。	雨水利用設備 1. システム構成その他 2. 配管材料	図示による。 1) 一般配管用 2) 土間配管用 3) 地中配管用 ・ ポリ粉末鋼管(SGP-PA)(SGP-FPA) ・ ポリ粉末鋼管(SGP-PD)(SGP-FPD) ・ 水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管(HIVP) 図面に特記なき場合の耐圧は、5Kとする。 ※ バル式 ・ 直読式 ・ ナイフ仕切弁 ・ 偏心式プラグ弁 ・ バタフライ弁 目幅の有効間隔は(※ 5mm ・ mm)とする。 構成その他は図示による。																																							
15. オイルサービスタンク 16. ダクト	1) 据付け方法は ※ 標準図(施工35)(二重殻タンク) ・ 標準図(施工36)(タンク室有り) 2) 保護被覆は ※ FRP ・ エポキシ樹脂 ・ アスファルト 3) 遠隔油量指示装置(液面計は(・ 抵抗変換式 ・ 磁歪式)で(・ 屋内 ・ 屋外)より油量監視用)を取付ける。 4) 基礎杭は ※ 不要 ・ 要(但し杭は ※ 別途工事 ・ 本工事) 5) 土留め工事は ※ 不要 ・ 要(・ 本工事 ・ 別途工事) 6) 油面計はゲージ式(側圧式)とする。 1) ※ 低圧ダクト ・ 高圧1ダクト ・ 高圧2ダクト 2) 長方形ダクトは ・ コーナーボルト工法 (共板フランジ又はスライドオンフランジ) (ただし、長辺が1500mmを超えるものは アングルフランジ工法とする) ・ アングルフランジ工法 3) 防火区画を貫通するダクトは、その貫通する部分の前後150mmを1.6mm厚鋼板製とする。 4) 厨房用ダクトの板厚は「火災予防条例準則の運用について」による。 1) シーリングディフューザーの接続は標準図(施工50)を参考とする。 2) 接続するダクトの施工が困難な場所はフレキシブルダクトを使用してもよい。 3) 線状吹出口には、長さ100×300×300Hの接続チャンパーを設ける。 4) 外壁に面するガラリにチャンパー等を設ける場合は、雨水等を自然に排出できるように勾配をつける。 ※重鉛鉄板製 ・ グラスウール製	排水設備 1. 配管材料 ※重複して適用の場合の使用区分は図示による	1) 屋外汚水管 (第1樹まで含む) ○ 硬質ポリ塩化ビニル管(VP) ・ 建築用耐火性硬質ポリ塩化ビニル管(FS-VP) ・ 小便器、大便器、洗面器及び掃除流しとの接続管は、塩ビ管(RF-VP)と(・する ・しない) 2) 屋内雑排水管 (第1樹まで含む) ○ 硬質ポリ塩化ビニル管(VP) ・ 建築用耐火性硬質ポリ塩化ビニル管(FS-VP) ・ 湯沸流し等の床上露出部分は、リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管(RF-VP)とする。 ・ 汚水合流系統の配管は ・ とする。	雨水利用設備 1. システム構成その他 2. 配管材料	図示による。 1) 一般配管用 2) 土間配管用 3) 地中配管用 ・ ポリ粉末鋼管(SGP-PA)(SGP-FPA) ・ ポリ粉末鋼管(SGP-PD)(SGP-FPD) ・ 水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管(HIVP) 図面に特記なき場合の耐圧は、5Kとする。 ※ バル式 ・ 直読式 ・ ナイフ仕切弁 ・ 偏心式プラグ弁 ・ バタフライ弁 目幅の有効間隔は(※ 5mm ・ mm)とする。 構成その他は図示による。																																							
17. チャンパー等	・ グリスエクストラクター ・ グリスフィルター 標準仕様書によるほか図示した箇所及び下記の箇所に取付ける。 ・ 空調機のサプライチャンパーからの分岐ダクト ・ 外気取入れダクト 標準仕様書によるほか図示した箇所及び下記の箇所に取付ける。 ・ 空気調和機、全熱交換器廻りの送気ダクト、外気ダクト及び給気ダクト 機器付属以外の温度計は ※ バイメタル式温度計 ・ ガード付きL形温度計 標準図によるほか図示した箇所に取付ける。 ・ メカニカル形 ・ 風速センサー形 1) エア溜まりを生ずるとされる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置にエア抜き弁装置(※ 手動 ・ 自動)を設ける。 2) 自動エア抜き弁装置は、標準図(施工39(g))による。 3) 機械室の手動式エア抜き配管で、特記のない場合の保温範囲は原則として分岐部より2mとする。	排水設備 1. 配管材料 ※重複して適用の場合の使用区分は図示による	1) 屋外汚水管 (第1樹まで含む) ○ 硬質ポリ塩化ビニル管(VP) ・ 建築用耐火性硬質ポリ塩化ビニル管(FS-VP) ・ 小便器、大便器、洗面器及び掃除流しとの接続管は、塩ビ管(RF-VP)と(・する ・しない) 2) 屋内雑排水管 (第1樹まで含む) ○ 硬質ポリ塩化ビニル管(VP) ・ 建築用耐火性硬質ポリ塩化ビニル管(FS-VP) ・ 湯沸流し等の床上露出部分は、リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管(RF-VP)とする。 ・ 汚水合流系統の配管は ・ とする。	雨水利用設備 1. システム構成その他 2. 配管材料	図示による。 1) 一般配管用 2) 土間配管用 3) 地中配管用 ・ ポリ粉末鋼管(SGP-PA)(SGP-FPA) ・ ポリ粉末鋼管(SGP-PD)(SGP-FPD) ・ 水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管(HIVP) 図面に特記なき場合の耐圧は、5Kとする。 ※ バル式 ・ 直読式 ・ ナイフ仕切弁 ・ 偏心式プラグ弁 ・ バタフライ弁 目幅の有効間隔は(※ 5mm ・ mm)とする。 構成その他は図示による。																																							
18. 吹出口・吸込口のボックス 19. グリス除去装置 20. 風量測定口 21. 温度計 22. 圧力計 23. 定風量・変風量 ユニット 24. 冷温水管等のエア抜き	・ グリスエクストラクター ・ グリスフィルター 標準仕様書によるほか図示した箇所及び下記の箇所に取付ける。 ・ 空調機のサプライチャンパーからの分岐ダクト ・ 外気取入れダクト 標準仕様書によるほか図示した箇所及び下記の箇所に取付ける。 ・ 空気調和機、全熱交換器廻りの送気ダクト、外気ダクト及び給気ダクト 機器付属以外の温度計は ※ バイメタル式温度計 ・ ガード付きL形温度計 標準図によるほか図示した箇所に取付ける。 ・ メカニカル形 ・ 風速センサー形 1) エア溜まりを生ずるとされる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置にエア抜き弁装置(※ 手動 ・ 自動)を設ける。 2) 自動エア抜き弁装置は、標準図(施工39(g))による。 3) 機械室の手動式エア抜き配管で、特記のない場合の保温範囲は原則として分岐部より2mとする。	排水設備 1. 配管材料 ※重複して適用の場合の使用区分は図示による	1) 屋外汚水管 (第1樹まで含む) ○ 硬質ポリ塩化ビニル管(VP) ・ 建築用耐火性硬質ポリ塩化ビニル管(FS-VP) ・ 小便器、大便器、洗面器及び掃除流しとの接続管は、塩ビ管(RF-VP)と(・する ・しない) 2) 屋内雑排水管 (第1樹まで含む) ○ 硬質ポリ塩化ビニル管(VP) ・ 建築用耐火性硬質ポリ塩化ビニル管(FS-VP) ・ 湯沸流し等の床上露出部分は、リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管(RF-VP)とする。 ・ 汚水合流系統の配管は ・ とする。	雨水利用設備 1. システム構成その他 2. 配管材料	図示による。 1) 一般配管用 2) 土間配管用 3) 地中配管用 ・ ポリ粉末鋼管(SGP-PA)(SGP-FPA) ・ ポリ粉末鋼管(SGP-PD)(SGP-FPD) ・ 水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管(HIVP) 図面に特記なき場合の耐圧は、5Kとする。 ※ バル式 ・ 直読式 ・ ナイフ仕切弁 ・ 偏心式プラグ弁 ・ バタフライ弁 目幅の有効間隔は(※ 5mm ・ mm)とする。 構成その他は図示による。																																							

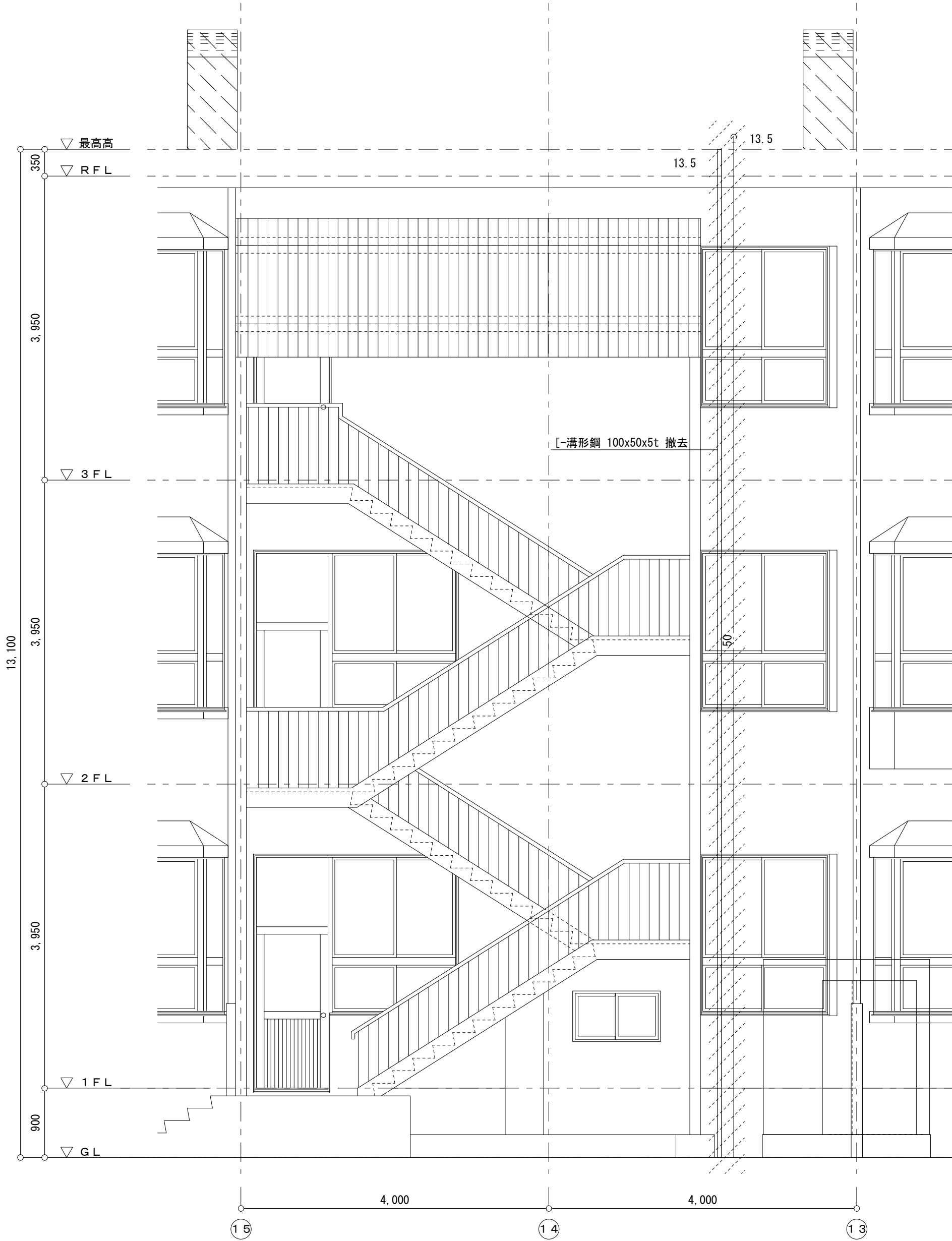


凡例（既設）

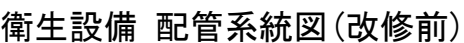
記 号	名 称	管 種	備 考
-----	既設給水管	水道用硬化ビニルライニング鋼管	SGP-VB
-----	既設給水管	水道用硬化ビニルライニング鋼管	SGP-VD ※土間埋設部
-----	既設揚水管	水道用硬化ビニルライニング鋼管	SGP-VB
-----	既設給水管（井水）	水道用硬質ポリ塩化ビニル管	HIVP
-----	既設排水管	配管用炭素鋼鋼管	SGP
——X——	既設消火管	配管用炭素鋼鋼管	SGP
////////	撤去・取外し表示		
- ✕ - ✕ - ✕ -	放棄表示		

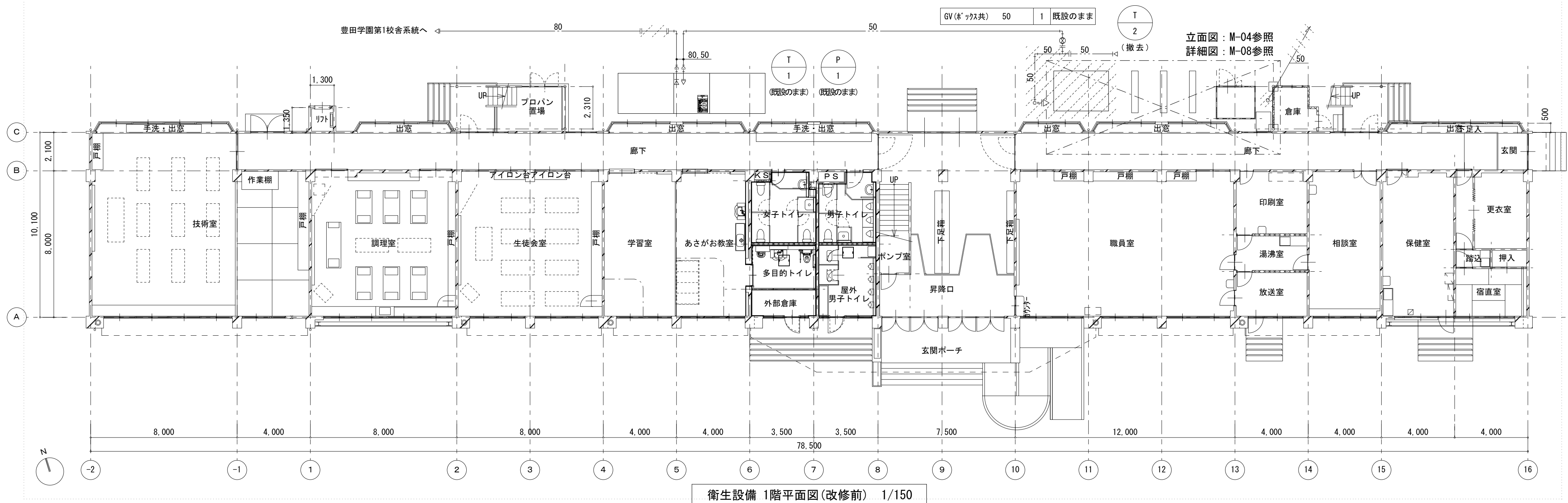
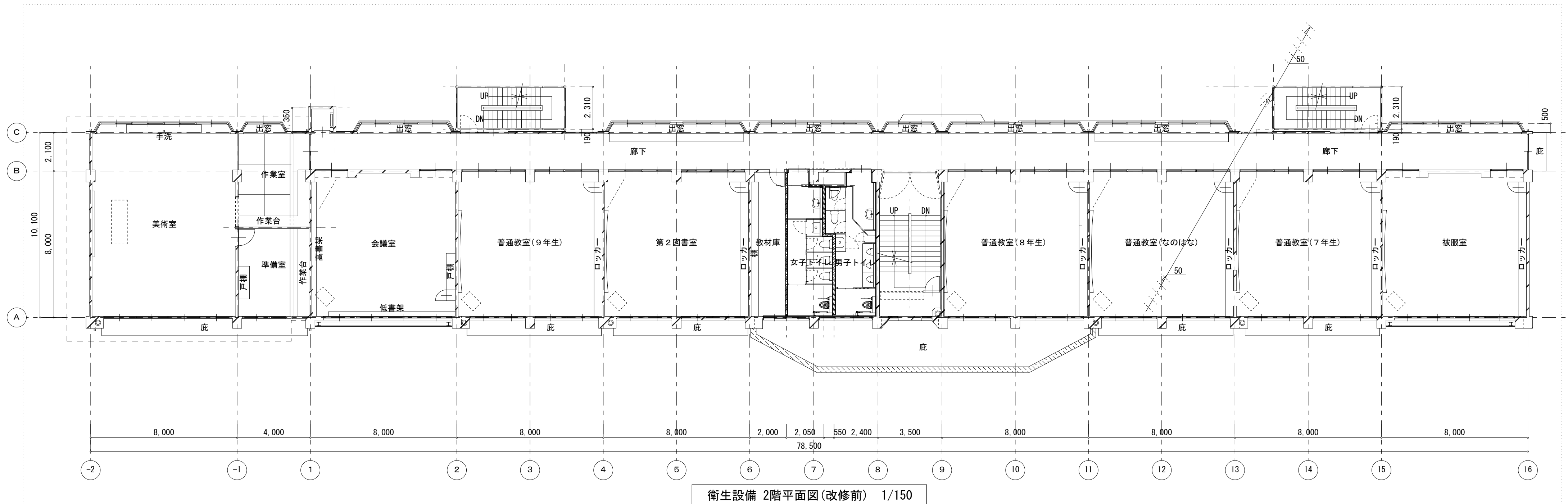
既設機器表

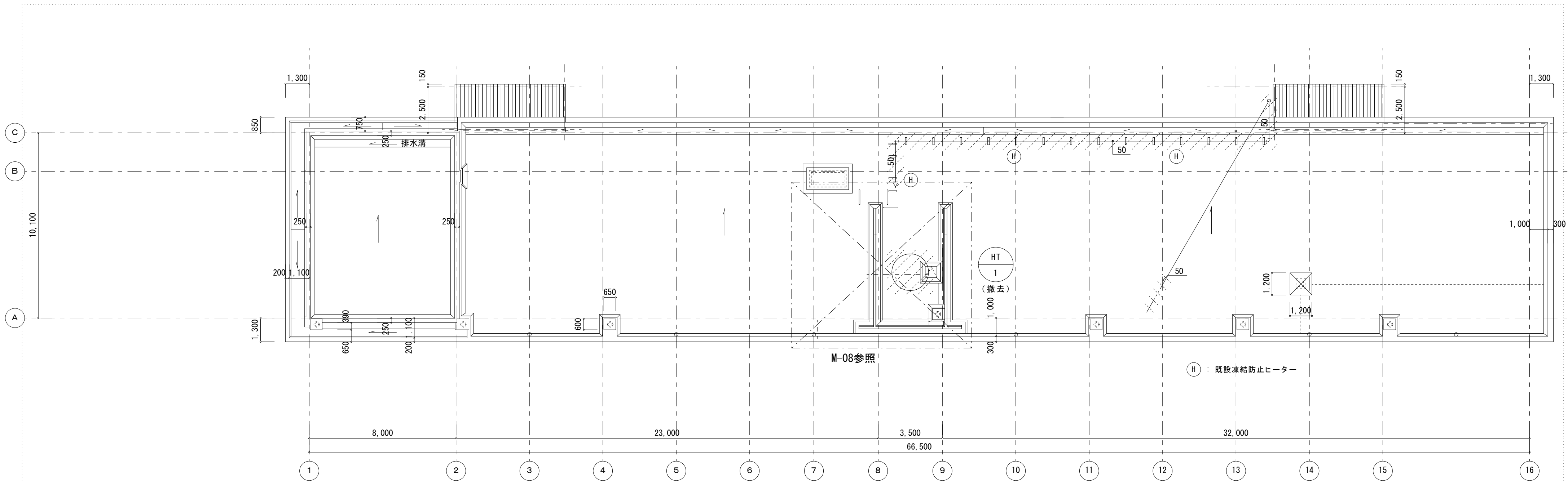
記 号	名 称	仕 様	電 源	設置場所	数量	備考
T-1	受水槽	形 式：FRP製パネルタンク複合板（2槽式）		屋外	1	既設のまま
		有効容量：20m3				
		付属品：溶融亜鉛メッキ架台、マンホール				
		内外タラップ他標準付属品一式				
T-2	受水槽	形 式：FRP製パネルタンク複合板		屋外	1	撤去
		有効容量：10m3				
		寸 法：2.0×3.0×2.0H 1660kg(推定)				
HT-1	高置水槽	形 式：エスロン球形タンク		屋上	1	撤去
		寸 法：4.0m3 950kg(推定) 水槽部				
		寸 法：4.5×4.5×3.5H 2260kg(推定) 架台部				
P-1	加圧給水ポンプ	形 式：推定末端圧力一定給水ユニット（自動交互運転）	3φ×200V	1階 ポンプ室 （第1校舎側）	1	既設のまま
		能 力：65φ×450L/min×20m×3.7kW				
		付属品：制御盤、標準付属品一式				
		【株式会社川本製作所：KFE65A3.7】				
P-2	揚水ポンプ	形 式：渦巻ポンプ	3φ×200V	1階 ポンプ室 （第2校舎側）	2	撤去
		重 量：99kg				
		【株式会社川本製作所：M50-2-62.2(H)-e】				
P-3	次亜塩素酸ナトリウム 注入ポンプ	形 式：自動エアー抜仕様		1階 ポンプ室 （第2校舎側）	1	撤去
		能 力：300ml x 20W				
		【株式会社オーヤラックス：FSD-1D】				
MK-1	薬液タンク	形 式：ポリエチレン製丸形タンク		1階 ポンプ室 （第2校舎側）	1	撤去
		容 量：50L				



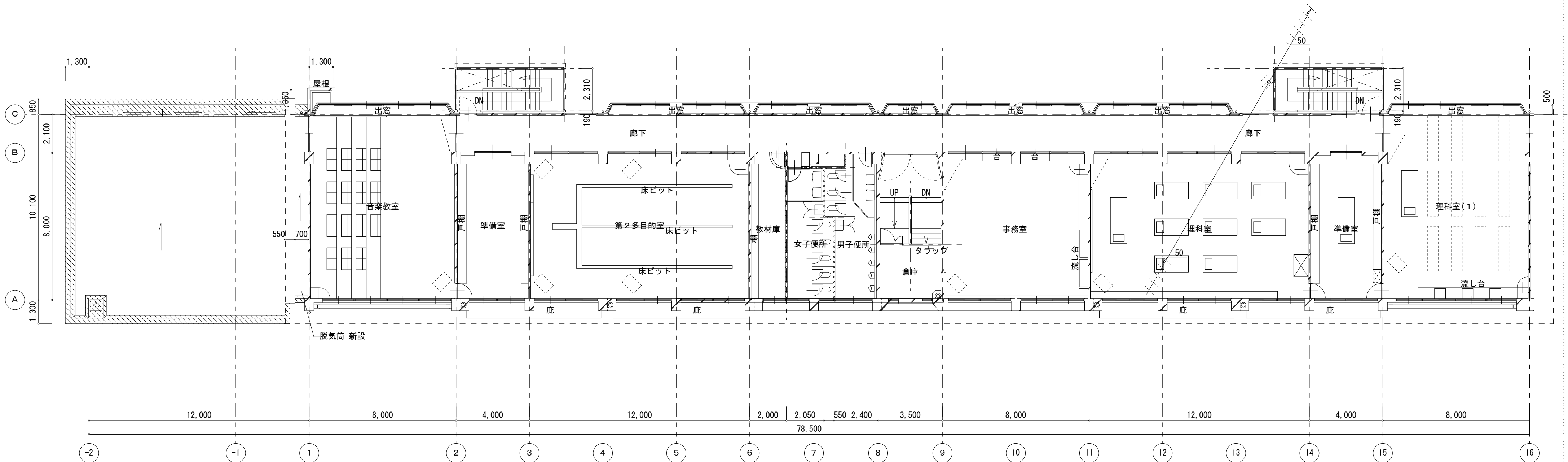
衛生設備 立面図(改修前) 1/50



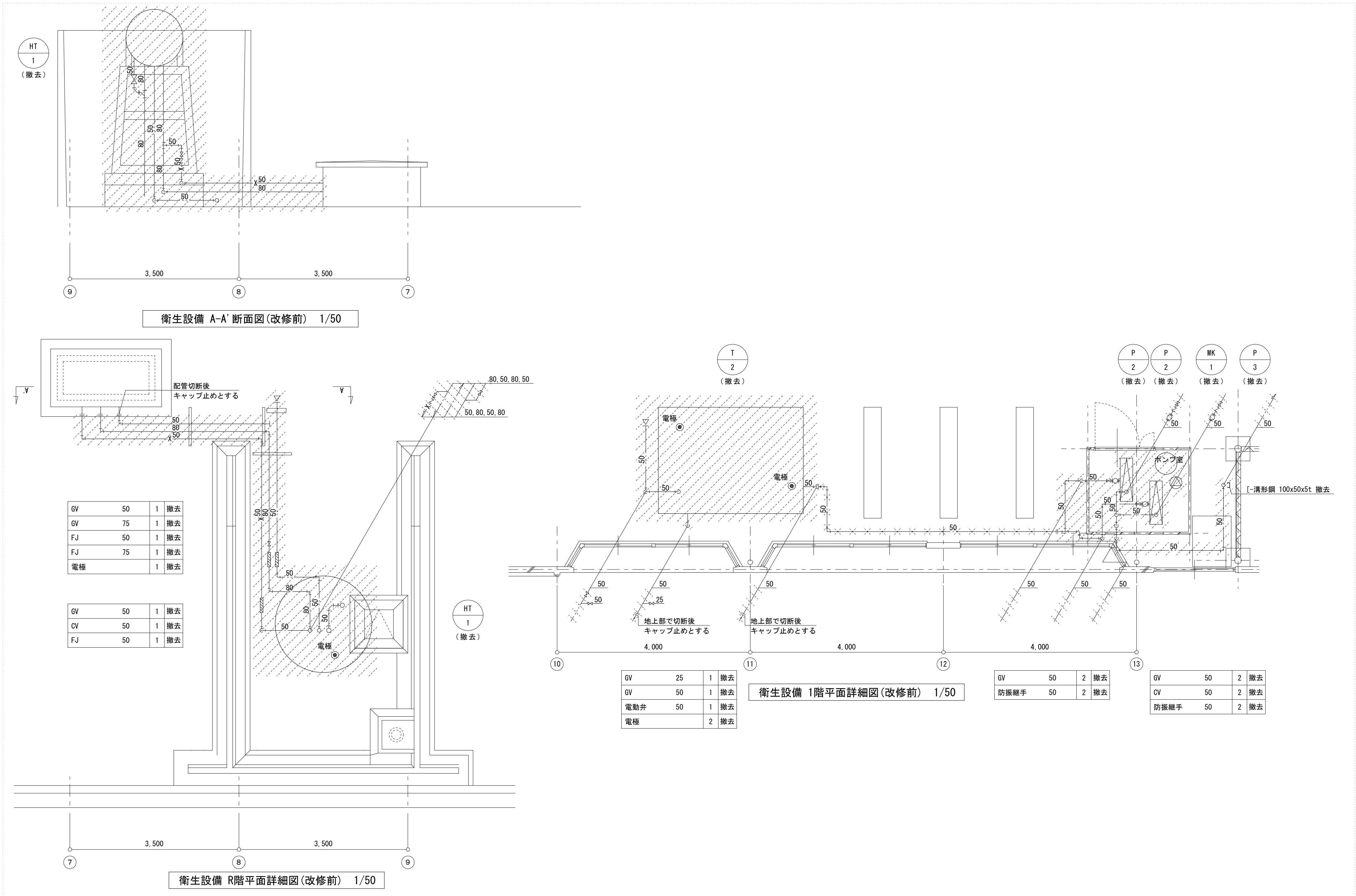




衛生設備 R階平面図(改修前) 1/150



衛生設備 3階平面図(改修前) 1/150



凡例・

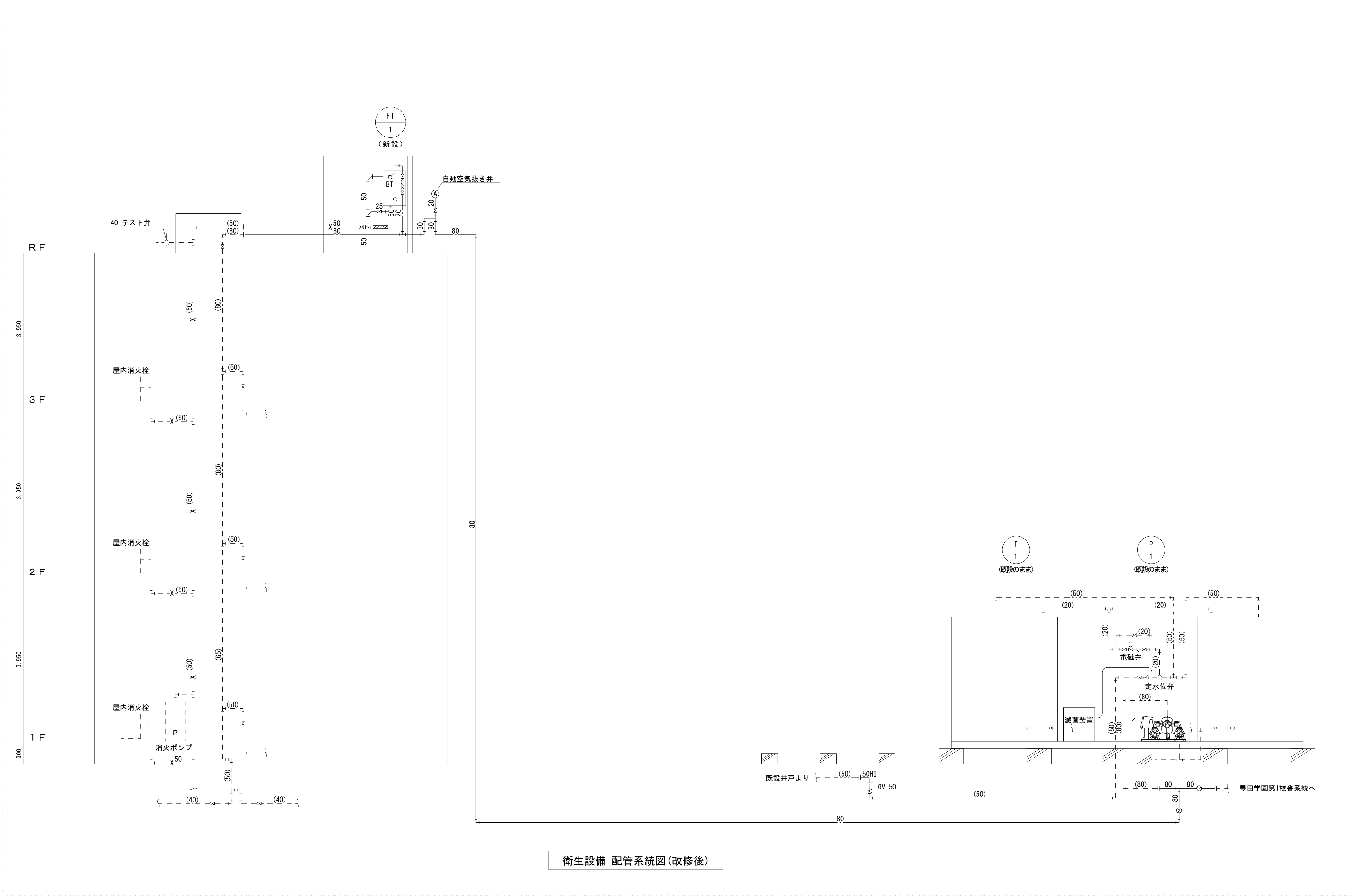
記 号	名 称	管 種	備 考
—— - ——	給水管	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管	SGP-VD (JWWA K 116) ※土中埋設部
—— - - - ——	給水管 (井水)	水道用硬質ポリ塩化ビニル管	HIVP (JIS K 6742) ※土中埋設部
—— - ——	給水管	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管	SGP-VB (JWWA K 116)
—————	排水管	硬質ポリ塩化ビニル管	VP (JIS K 6741)
—— X ——	消火管	配管用炭素鋼鋼管 (白)	SGP (JIS G 3452)
—— ⊕ ——	弁類		JIS 5K 材質、形、サイズは図示による
—— ⊥ — - -	接続替表示		既設管と新設管の接続
始点ﾌﾟﾗｸﾞ ﾀﾞ----- ﾀﾞ 終点 ＜-----＞	凍結防止ヒーター		ヒーター巻き箇所を示す ※ヒーター部は保温共巻とする
●	埋設表示	鉄製・舗装部	
- - - - - () -	既設配管	記号・名称・管種等はM-03の凡例 (既設) 参照	

機器表 (改修後)

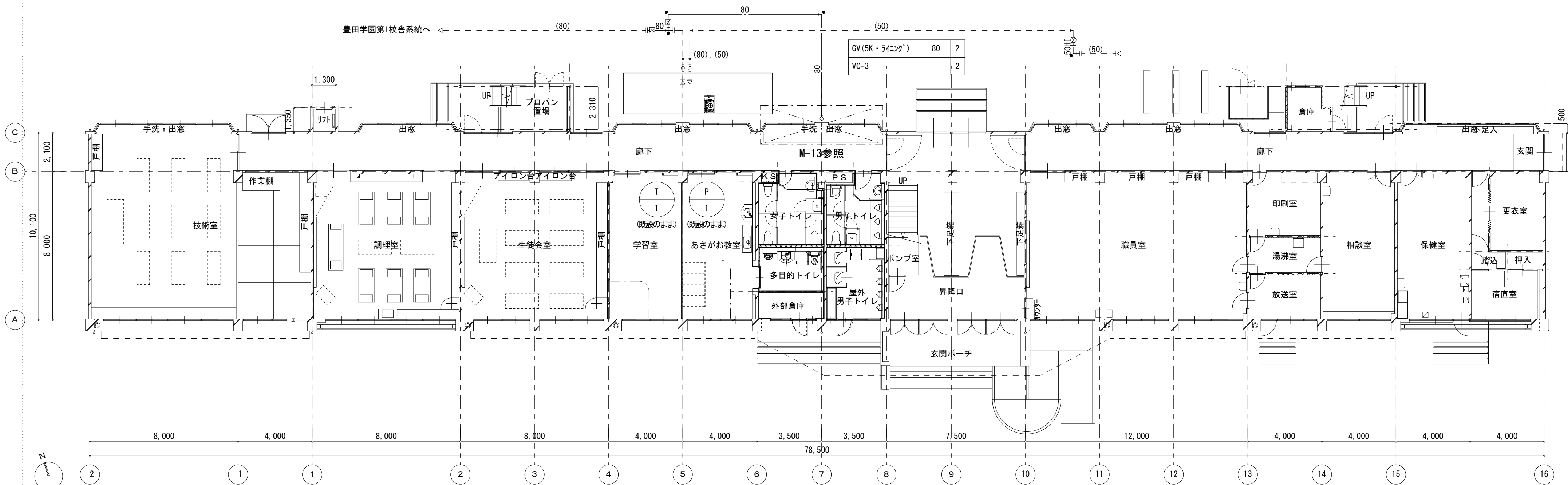
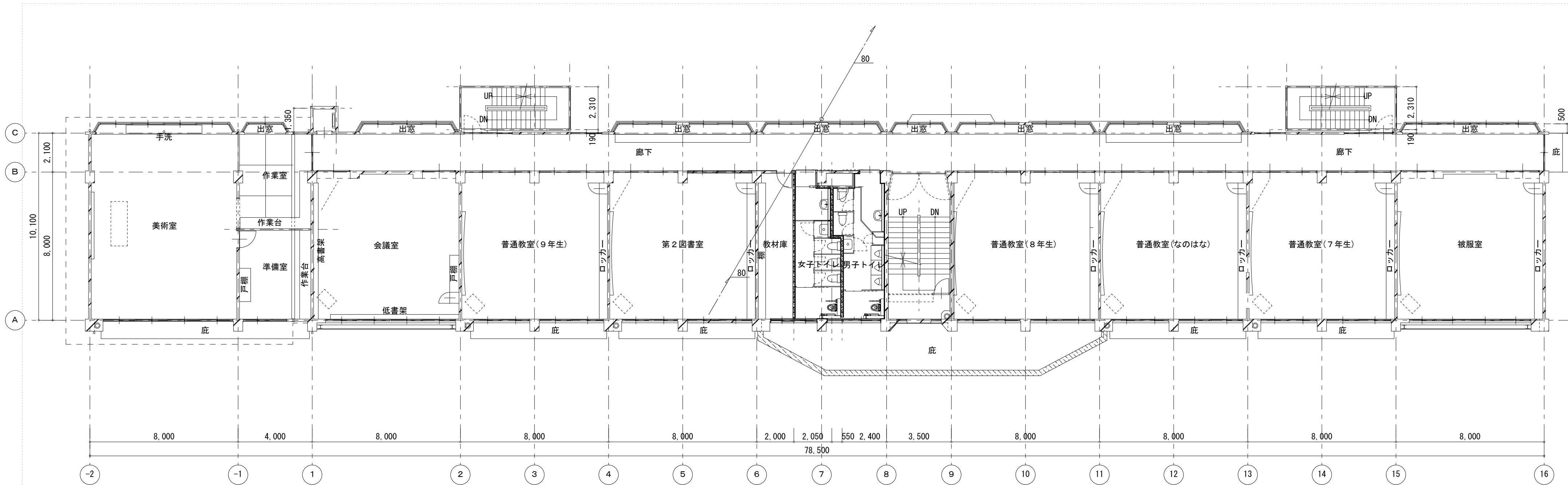
記 号	名 称	仕 様	電 源	設置場所	数量	備考
F T - 1	消火用充水タンク (公共建築工事標準仕様)	形 式：ステンレス鋼板製 (SUS304) 寒冷地仕様		屋上	1	新設
		有効容量：200L (参考寸法 600×600×900H)				
		付属品：点検口蓋、電極取付穴 設計用水平震度：2.0G				
		壁面取付架台 (溶融垂鉛めっきHDZT49)				
T - 1	受水槽	形 式：FRP製パネルタンク複合板 (2槽式)		屋外	1	既設のまま
		有効容量：20m3				
		付属品：溶融垂鉛メッキ架台、マンホール				
		内外タラップ他標準付属品一式				
P - 1	揚水ポンプ	形 式：推定末端圧力一定給水ユニット (自動交互運転)	3φ×200V	1階 ポンプ室 (第1校舎側)	1	既設のまま
		能 力：65φ×450L/min×20m×3.7kW				
		付属品：制御盤、標準付属品一式				
		【株式会社川本製作所：KFE65A3.7】				

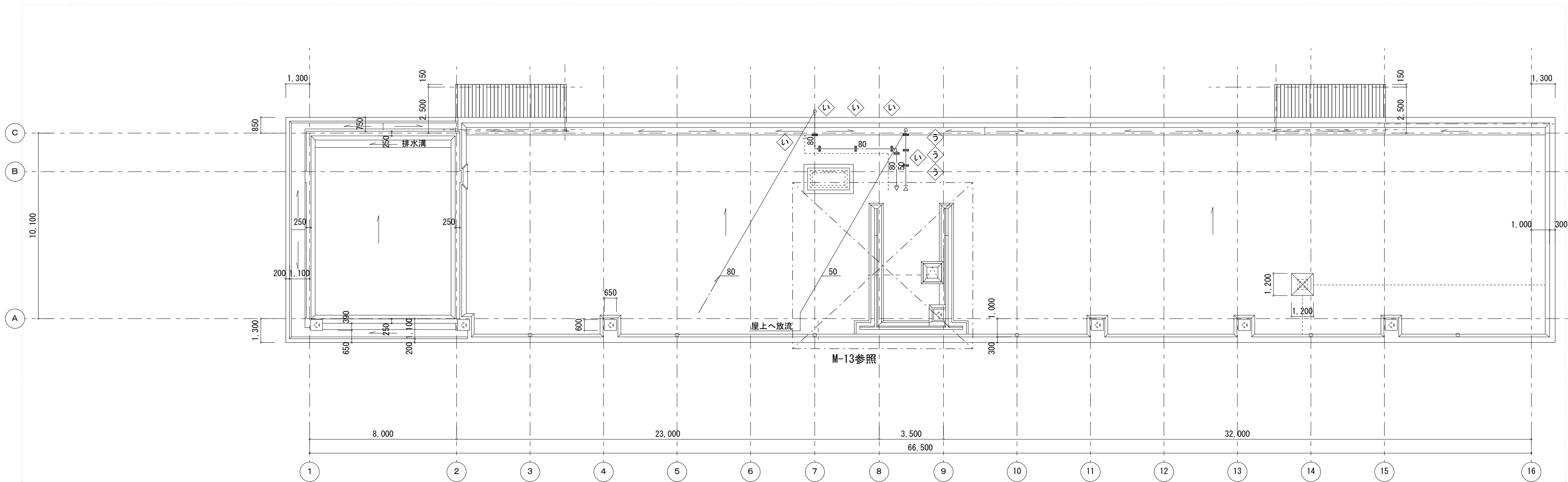
衛生器具表

器具名	付属品・摘要	計 量 単 位
凍結防止ヒーター (H4)	自己温度制御凍結防止帯 (参考消費電力) AC100V-56W 電熱部4m	1
凍結防止ヒーター (H10)	自己温度制御凍結防止帯 (参考消費電力) AC100V-140W 電熱部10m	1
凍結防止ヒーター (H20)	自己温度制御凍結防止帯 (参考消費電力) AC100V-280W 電熱部20m	2

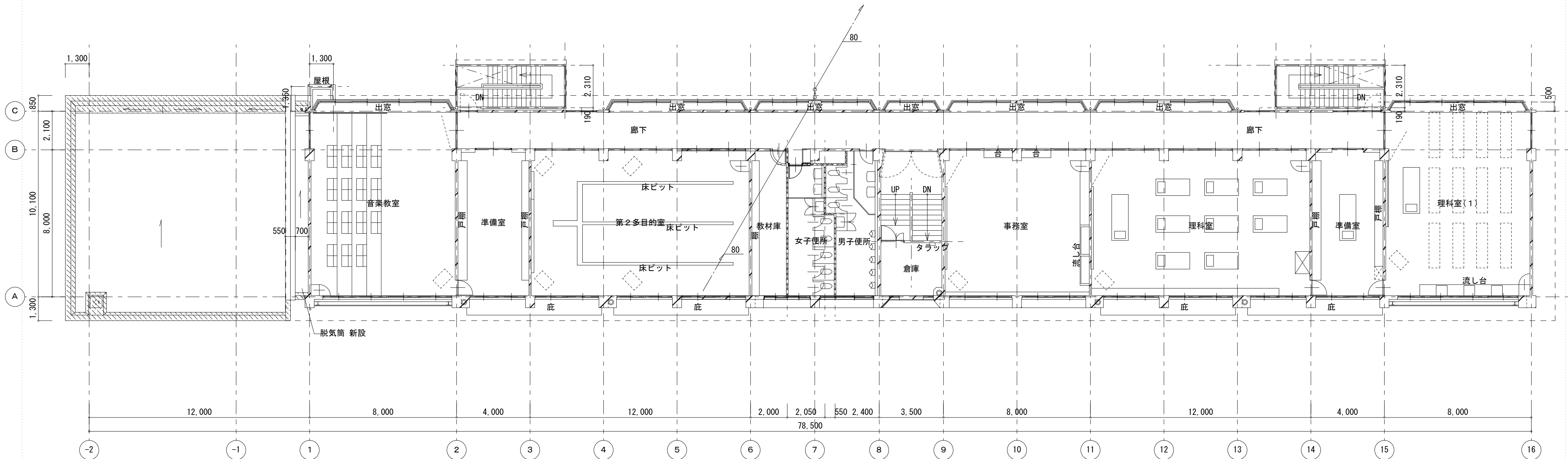


衛生設備 配管系統図(改修後)

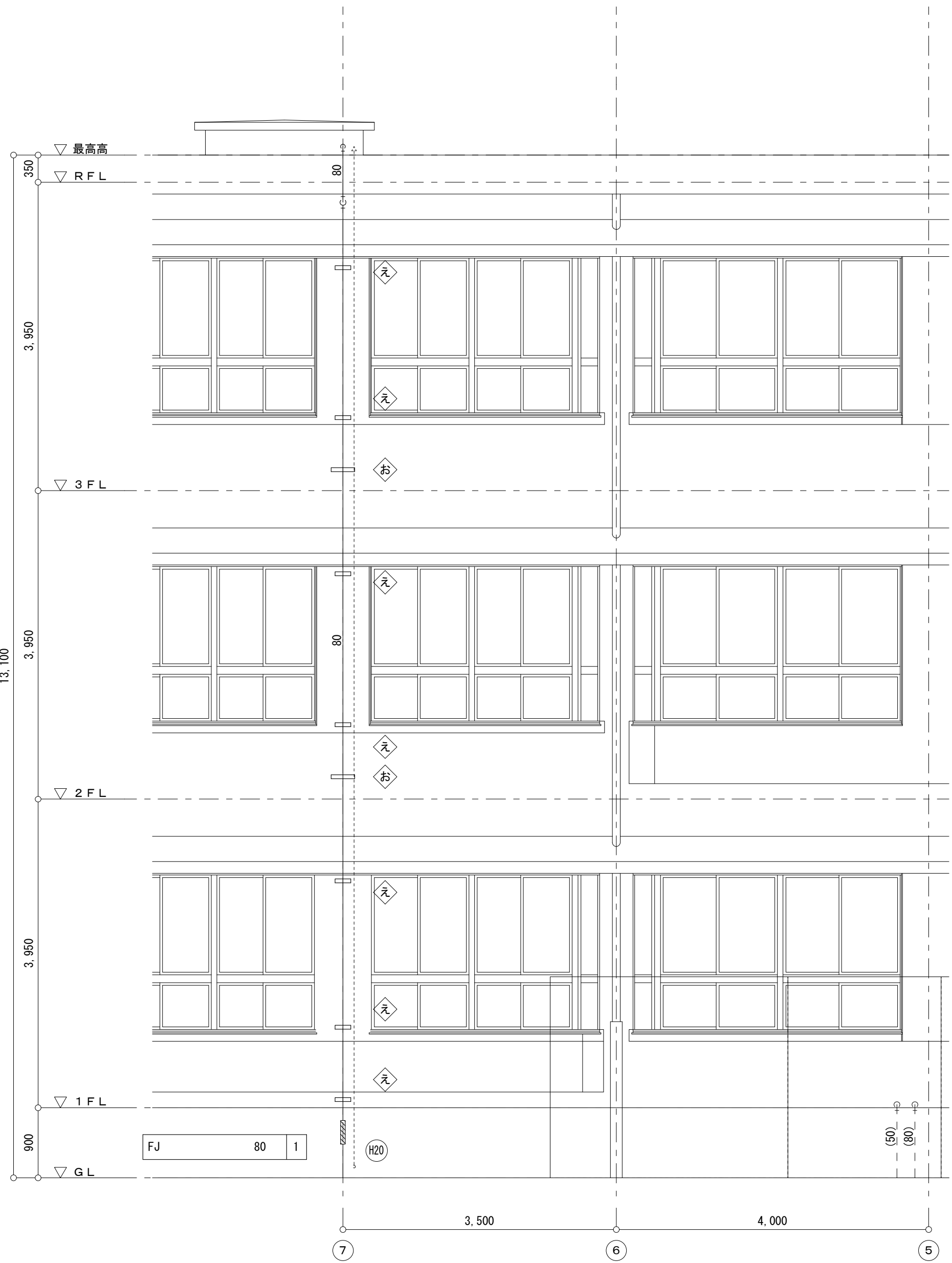
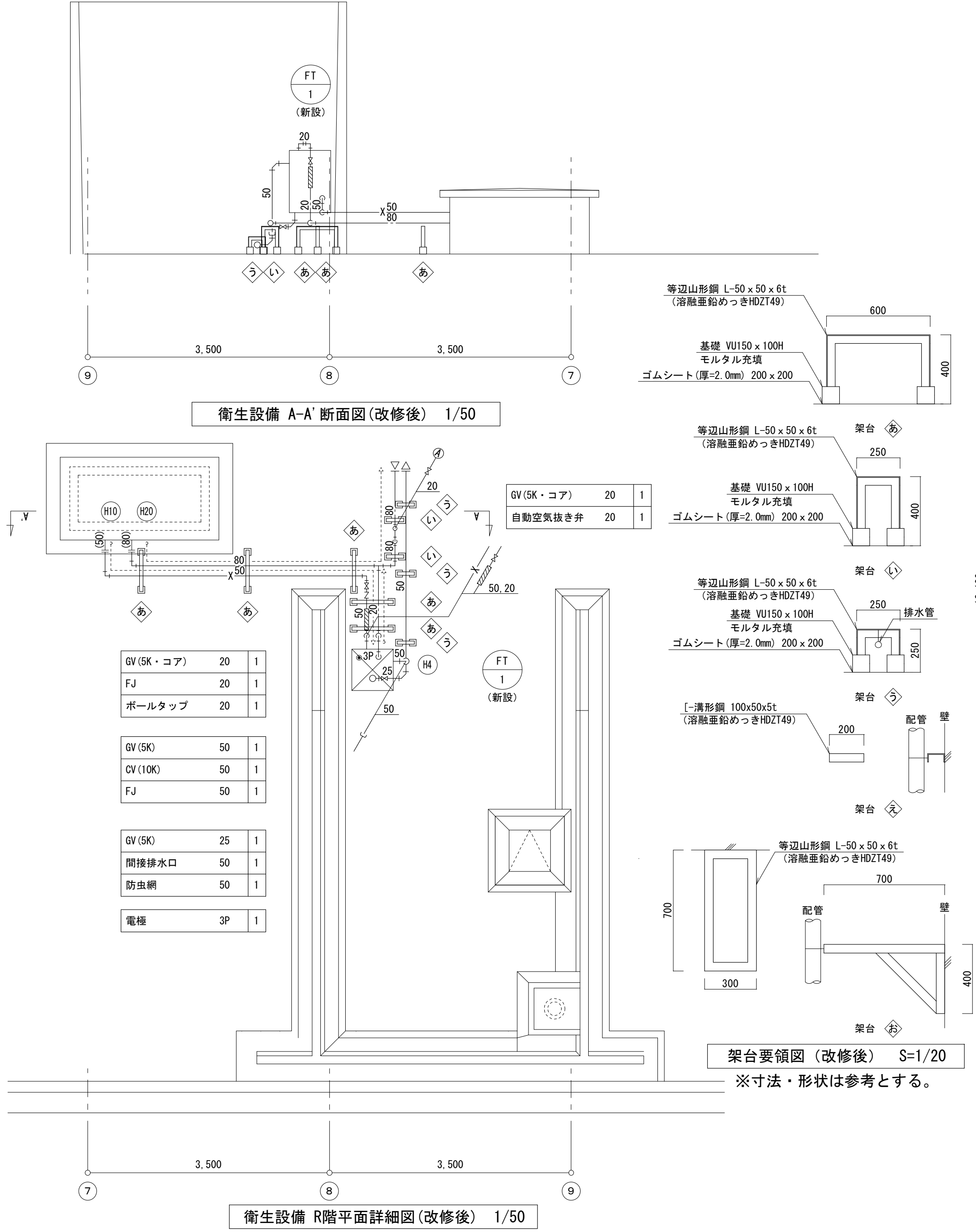




衛生設備 R階平面図(改修後) 1/150



衛生設備 3階平面図(改修後) 1/150



T
1
(既設のまま)